NEC

MultiImpact 750/850A

ラインプリンタ

ユーザーズマニュアル

808-884445-601-A
第7版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

プリンタを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。
このユーザーズマニュアルには製品のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

⚠ 警告	**人が死亡する、または重傷**を負うおそれがあることを示します。
⚠ 注意	**火傷やけがのおそれ、および物的損害**の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		**火傷**を負うおそれがあることを示します。		**けが**をするおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		**発煙または発火**のおそれがあることを示します。		**感電**のおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。				

行為の禁止　行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。**感電**のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**のおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。**感電や発火**のおそれがあります。				

行為の強制　行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
	この注意事項および指示を守らないと、プリンタが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
	この注意事項および指示を守らないと、プリンタが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、MultiImpactは、日本電気株式会社の登録商標です。
PrinterSignalStationはNECソリューションイノベータ株式会社の登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. プリンタの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
5. 運用した結果の影響については3項および4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

© NEC Corporation, NEC Embedded Products, Ltd. 2005-2017
日本電気株式会社、NECエンベデッドプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultiImpact 750/850Aは最高1000行／分（高速モード時）の高速印刷を実現し、最大8枚綴りの複写伝票に印刷可能（濃度3選択時）なプリンタです。

本書の概要

安全にお使いいただくために

プリンタを安全にお使いいただくためにあらかじめ知っておいていただきたい注意事項について説明しています。

1章　プリンタの設置

プリンタを設置し、プリンタケーブルでコンピュータとつなぐまでの手順を説明しています。また、用紙のセット方法、インクリボンのセット方法についても説明しています。

2章　MultiImpact 750/850Aを使いこなそう

操作パネル上のスイッチやランプの機能について説明しています。また操作パネルを使ってプリンタが持っている様々な便利機能を使用環境に応じて変更する方法について説明しています。

3章　オプション

プリンタの機能をさらに活用していただくため、豊富に用意されたオプション品について説明しています。

4章　日常の保守

プリンタをいつも良好に使用していただくためのお手入れの仕方について記載しています。また、交換用インクリボン（黒）およびインクリボン（黒）の交換方法やプリンタを運搬するときの準備についても記載しています。

5章　故障かな？と思ったら

プリンタが思うように動作しなかったり、印刷の状態が良くなかったりしたときは、この章をお読みください。

付録

プリンタの仕様、用紙の規格、用紙の設計に関する注意事項、印刷範囲、初期状態に関する情報を記載しています。

MultiImpact 750/850Aの特長

MultiImpact 750/850Aの主な特長を簡単に説明します。

- 高速印刷*1　— 最高1000行／分の高速印刷を実現 —

  漢字／英数カナモードで標準印刷で毎分850行、高品位印刷で毎分650行、高速印刷で毎分1000行の印刷が可能です。

- 高複写力*2　— 最大8枚綴りの複写伝票に印刷可能 —

  普通紙の連続紙（帳票用紙）のほかに、タック紙、複写式の用紙が印刷可能です。印刷濃度を3種類設定でき、最大8枚綴り（オリジナル＋7枚）の複写伝票に印刷が可能です。

- アウトラインフォント印刷

  明朝体、ゴシック体の拡大文字を輪郭のなめらかな美しいアウトラインフォントで印刷が可能です。

- 多彩なフォント内蔵

  英数カナ文字（1バイト系文字）は標準フォントのほかにイタリック、クーリエ、ゴシック、およびOCR-B相当を内蔵しています。

- バーコードが印刷可能

  NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、郵便カスタマバーコードを印刷できます。

- 各種ネットワークOSに対応

  標準で100BASE-TX、10BASE-Tに対応。

- リモートパネル

  プリンタの各種設定をコンピューターの画面上で行うことができます。
  リモートパネルによるプリンタの設定機能は、ネットワーク上のプリンタであっても区別なく使用できます。リモートパネルの詳細は、プリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているソフトウェアマニュアルおよびオンラインマニュアルを参照してください。

- PrinterSignalStation

  プリンタの状態（用紙なし、エラーなど）や印刷の進行状況を確認することができます。
  PrinterSignalStationの詳細は、プリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているソフトウェアマニュアルおよびオンラインマニュアルを参照してください。

＊1　「仕様」(88 ページ）参照
＊2　「用紙規格」(93 ページ）参照

目次

安全にかかわる表示 ii
はじめに v
本書の概要 v
MultiImpact 750/850A の特長 vi

安全にお使いいただくために 1

警告ラベルについて 2
安全上のご注意 3
正しく動作させるために 7

ユーザーサポートについて 9

保証について 10
修理を依頼される前に 11
プリンタの寿命について 11
有寿命部品について 12
補修用部品について 12
情報サービスについて 12

1章　プリンタの設置 13

1 付属品を確認する 14
2 設置に必要なスペースを用意する 15
設置してはいけない場所 16
3 設置に必要な専用電源コンセントを用意する 17
4 ペーパスタッカ部の設定をする 18
5 プリンタを設置する 19
6 各部の名称を確認する 20
7 交換用インクリボン（黒）を取り付ける 23
8 電源コードを接続する 27
9 用紙をセットする 28
用紙について 28
用紙のセット方法 29
印刷に関する注意 33
10 テスト印刷を行う 34
11 コンピュータに接続する 35
12 ネットワークに接続する 37
LAN ケーブルの取り付け 37
コンフィグレーション印刷による動作確認 39
13 ソフトウェアをインストールする 40
Windows OS をお使いの方へ 40

プリンタの廃棄とインクリボンの処理について 41
プリンタを廃棄する 41
インクリボンの処理について 41
プリンタを運搬するときは 42

2章　MultiImpact 750/850A を使いこなそう 43

操作パネル 43
ランプ 44
スイッチ 45
液晶ディスプレイ 47
知っていると便利な機能 48
テスト印刷 48
受信データの HEX ダンプ 50
強制リセット 50
プリンタの設定を変更する 51
メニューモード機能 51
メニューモードでパラメータを表示・変更する 51
各機能項目の説明 54
メモリスイッチ設定モード 56
メモリスイッチの変更方法 58
メモリスイッチの機能 59
設定内容をリセットする 61
設定内容を印刷する 62

3章　オプション 63

オプション・消耗品の紹介 64
オプション 64
消耗品 65

4章　日常の保守 67

清掃 67
交換用インクリボン（黒）の交換 69
インクリボン（黒）の交換 74
リボンセパレータの点検 77

5章　故障かな？と思ったら .79

印刷がおかしいときは.....79
リボン交換表示.....81
エラー表示.....81
有寿命部品表示.....82
紙づまりのときは.....83
インクリボンづまりのときは.....85

付録 87

仕様.....88
文字構造（基本ドット構成）.....91
用紙規格.....93
用紙設計に関する注意事項.....94
連続紙に関する注意.....94
タック紙（ラベルシール）に関する注意.....97
封筒用紙の規格.....100
印刷範囲.....102
初期状態.....103

索引.....105

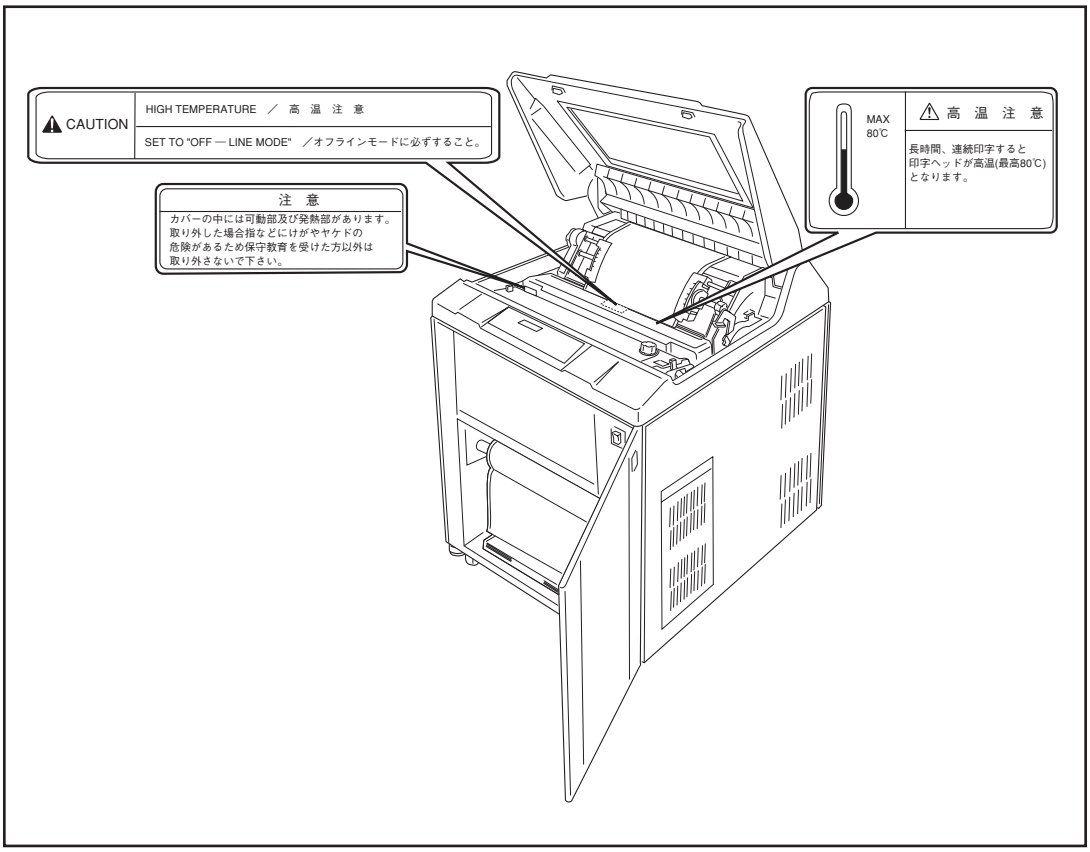
安全にお使いいただくために

ここでは、ラインプリンタMultiImpact 750/850Aを安全にお使いいただくために必要な情報を記載しています。お使いになる前にお読みになり、この内容を理解した上でお使いください。

警告ラベルについて

ラインプリンタMultiImpact 750/850Aを安全にお使いいただくために、プリンタ内の危険性を秘める部品および周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口までご連絡ください。
これらの警告内容については、次の項目「安全上のご注意」で説明しますが、本書内の該当する操作手順中でも随時説明しています。



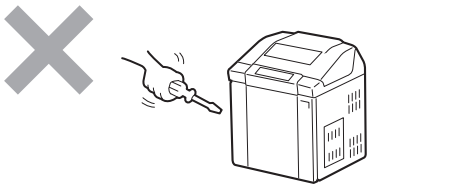
警告ラベルの位置

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示について」を参照してください。

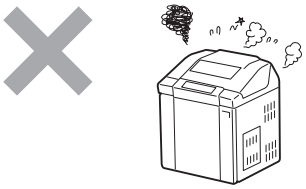
⚠ 警告

分解・修理・改造はしない



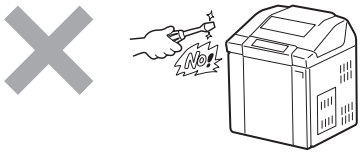
マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源プラグをコンセントから抜く



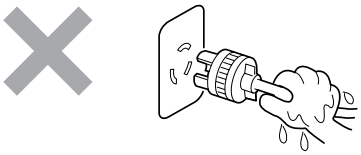
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFF（○側）にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない



通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない



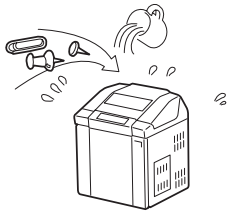
ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

⚠ 注 意

壊れた液晶ディスプレイには触らない

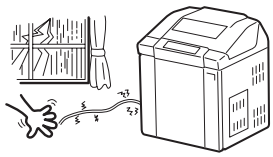
壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して医師に相談してください。

プリンタ内に異物を入れない



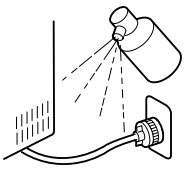
プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源スイッチをOFF（「○」側）にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。（もし取り除けない場合は、分解したりしないでお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に連絡してください。）

雷が鳴りだしたらプリンタに触らない



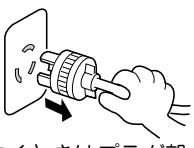
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また、雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンタには触らないでください。

電源コードに薬品類をかけない



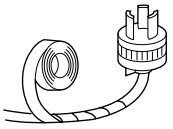
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

電源コードを抜くときは電源コードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない

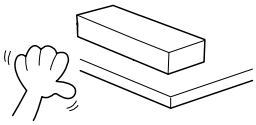


電源コードが破損した場合はビニールテープなどで補修して使用しないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードと取り替えてください。

巻き込み注意

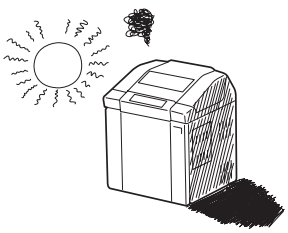
プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

目や口にインクを入れない



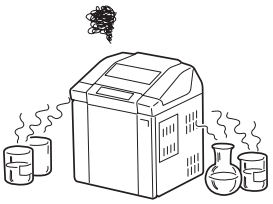
インクリボンのインクを目や口に入れないでください。インクが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

直射日光の当たるところには置かない



プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンタが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない



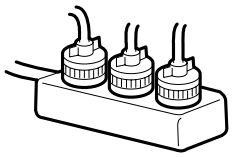
- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置しないでください。
- 装置内部のプリント基板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に相談してください。

不安定な場所に置かない

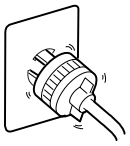
プリンタを不安定な場所には置かないでください。プリンタが破損するおそれがあるばかりでなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

電源コードを たこ足配線にしない



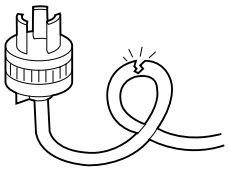
コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない



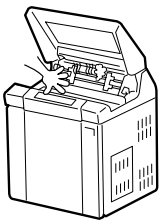
電源プラグは根元までしっかりと差し込んでロックしてください（27ページ参照）。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となることがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない



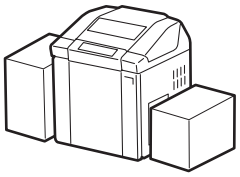
電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

連続印刷後はプリンタ内部に触れない



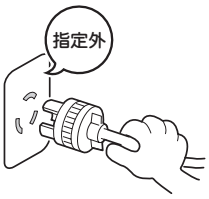
長時間印刷した後は、印刷ハンマが高温になっていますので、印刷ハンマおよびリボンセパレータなどプリンタ内部には手を触れないでください。

通気孔をふさがない



プリンタの左側面には通気孔があります。プリンタを壁につけたり物を置いたりして、通気孔をふさがないようにしてください。内部の温度が上がり、プリンタが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

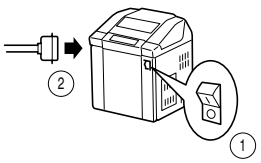
100V以外のコンセントに差し込まない



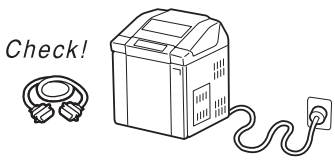
電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

正しく動作させるために

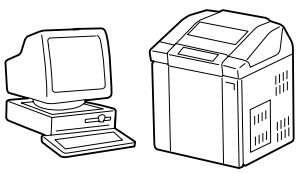
プリンタを正しく動作させるために、次に示す注意事項を守ってください。



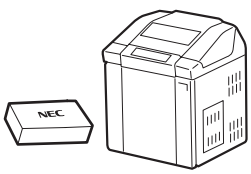
プリンタケーブルやオプションの取り付け、取り外しを行う前に電源スイッチをOFF（「○」側）にしてください。電源が入ったまま行うと誤動作するようになったり、故障したりすることがあります。



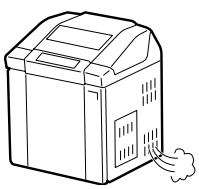
用意したプリンタケーブルがお客様のコンピュータに合っていることを確認してください。（プリンタケーブルについては、67ページを参照してください。）



ご使用になる各OS環境に合った方法でコンピュータ側からプリンタを指定してください。（各OS別の指定方法についてはソフトウェアマニュアルを参照してください。）

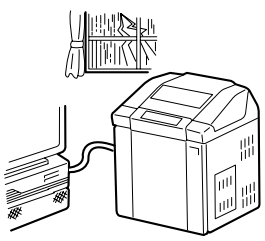


インクリボンやオプションは専用のものをお使いください。専用以外のものは、たとえ取り付けることができても正常に動作しないばかりか、プリンタ本体が故障することがあります。（詳しくは、「3章 オプション」（63ページ）をお読みください。）

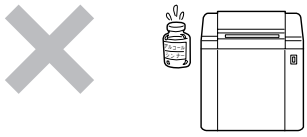


プリンタの周りに物を置いてプリンタの通気孔をふさがないでください。また通気孔の横に物を置かないでください。プリンタ内の温度が異常に高くなり、正しく動作しなくなることがあります。

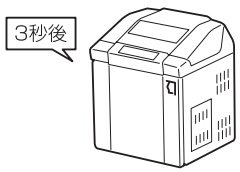
定期的にプリンタを清掃してください。（清掃の内容は「4章 日常の保守」（67ページ）で説明しています。）定期的な清掃は印刷品位を保つだけでなく、さまざまな故障の発生を未然に防ぐ効果もあります。



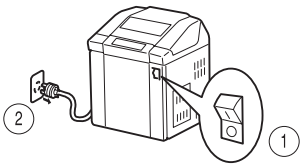
落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として交流無停電電源装置等を使用することをお勧めします。



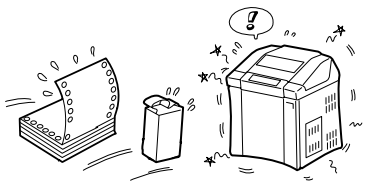
清掃するときにシンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。



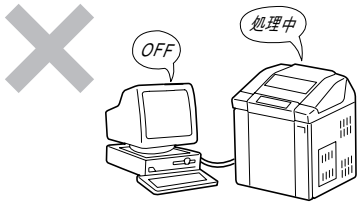
接続したプリンタの電源スイッチを一度OFF（「○」側）にしてから再びON（「｜」側）にする場合は、3秒以上たってからにしてください。



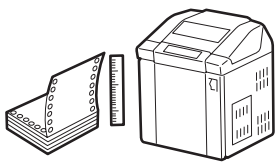
電源コードの抜き差しは、必ずプリンタの電源スイッチをOFF（「○」側）にしてから、プラグ部分を持って行ってください。



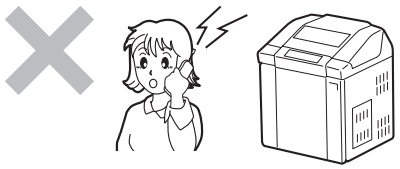
印刷ハンマやプラテンを傷つけないよう、必ず用紙とインクリボンをセットした状態で印刷してください。



プリンタに未処理データが残っている状態で上位装置の電源をOFF（「○」側）にすると、未処理データがクリアされますので注意してください。



印刷する用紙が規格に合っていることを確認してください。（用紙の種類については1章の「9　用紙をセットする」（28ページ）に、規格については付録の「用紙規格」（93ページ）で説明しています。）良質な用紙を使うことは印刷品位を高めるだけでなく、紙づまりなどの発生を抑える効果もあります。



携帯電話および、PHSをプリンタの近くで使用しないでください。プリンタが誤動作するおそれがあります。

ユーザーサポートについて

お買い求めになられたMultiImpact 750/850Aの製品に提供されるサポートの内容について説明します。

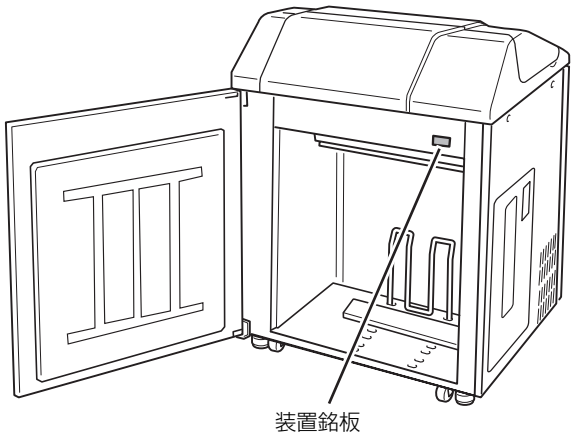
保証について

プリンタには「保証書」が付いています。「保証書」はプリンタをお買い求めの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については「保証書」をご覧ください。

保証期間後の保守サービスについては、プリンタをお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口へお問い合わせください。

✔チェック

本体の背面に製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名が明記された装置銘板が貼ってあります（下図参照）。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また装置銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンタが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



装置銘板の位置

修理を依頼される前に

「故障かな？」と思ったら、修理を依頼される前に以下の手順を実行してください。

❶ **電源コードおよびプリンタケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。**

❷ **定期的な清掃を行っていたか、またインクリボンなどの消耗品の交換は確実に行われていたかを確認してください。**

❸ **「5章 故障かな？と思ったら」（79ページ）をご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処置を行ってください。**

以上の処置を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。その際に液晶ディスプレイのアラーム表示もお知らせください。故障時の液晶ディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。

なお保証期間中の修理は、「保証書」を添えてお申し出ください。本プリンタは出張修理対象品ですので、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡くだされば修理に伺います。

重要

海外でのご使用について

MultiImpact 750/850Aは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合はNECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

プリンタの寿命について

MultiImpact 750/850Aの製品寿命は使用年数5年またはラインカウンタで約468,000カウントのいずれかに到達した場合です。

有寿命部品について

プリンタの機能・性能を維持するために、交換*1 を必要とする部品があり、これを「有寿命部品（有償）」と呼びます。
有寿命部品（有償）の推奨交換周期（交換の目安）*2 は、印刷行数（ラインカウント数）によって設定されています。
本製品の有寿命部品（有償）と、その推奨交換周期（交換の目安）は次のとおりです。

MultiImpact 750/850A

部品名	推奨交換周期（交換の目安） ラインカウント数	液晶ディスプレイの表示 ［部品番号］［部品名］
トラクタL	24,000	01　トラクタL
トラクタR	24,000	02　トラクタR
ハンマキコウブ	36,000	03　ハンマキコウブ
リボンセパレータ	12,000	05　リボンセパレータ
タイミングベルト265	24,000	08　タイミングベルト265
タイミングベルト140	24,000	09　タイミングベルト140

補修用部品について

プリンタの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

情報サービスについて

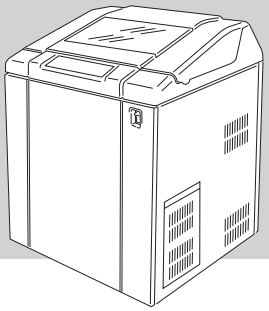
またNEC製品に関する最新情報を、下記で提供しています。

インターネットの Web ページ	NECコーポレートサイト（http://jpn.nec.com/）

*1　有寿命部品（有償）の交換は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に依頼してください。

*2　各有寿命部品（有償）の推奨交換周期（交換の目安）は、15 × 11 インチ用紙（坪量 64g/m^2 の 1 枚綴りの連続紙）を使用し、1 行に ANK 文字 136 桁、22 ℃、55% の温湿度環境で連続印刷した場合の印刷行数（ラインカウント数）です。実際の印刷可能行数（ラインカウント数）は、用紙サイズ、用紙種類、使用環境など使用条件により変動し、推奨交換周期（交換の目安）と大きく異なることがあります。

1章
プリンタの設置



この章では、プリンタを設置し、印刷の準備が整うまでの手順について説明しています。

1 付属品を確認する
↓
2 設置に必要なスペースを用意する
↓
3 設置に必要な専用電源コンセントを用意する
↓
4 ペーパスタッカ部の設定をする
↓
5 プリンタを設置する
↓
6 各部の名称を確認する
↓
7 交換用インクリボン（黒）を取り付ける
↓
8 電源コードを接続する
↓
9 用紙をセットする
↓
10 テスト印刷を行う
↓
11 コンピュータに接続する
↓
12 ネットワークに接続する
↓
13 ソフトウェアをインストールする

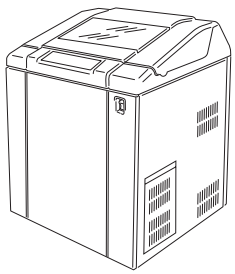
この章の終りにはプリンタを運搬するとき、またプリンタを廃棄するときの注意事項が記載されています。

サービス担当者による各種セットアップには、別途設置料金が必要です。

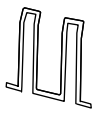
1 付属品を確認する

プリンタ本体と付属品は以下のとおりです。すべてそろっていることを確認してください。万一足りないものがあったり損傷が見つかったりした場合には、販売店にご連絡ください。

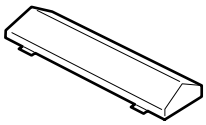
□ MultiImpact 750/850A
ラインプリンタ本体



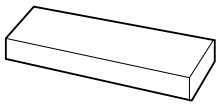
□ リアフェンス



□ カールコレクタ

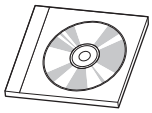


□ 交換用インクリボン（黒）
（PR750/850-02相当品）

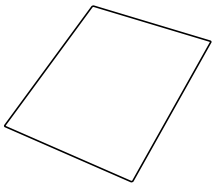


□ ユーザーズマニュアル
（本書）

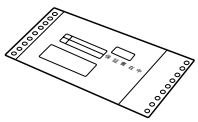
□ プリンタソフトウェア
CD-ROM



□ ソフトウェアの
ご使用条件



□ 保証書

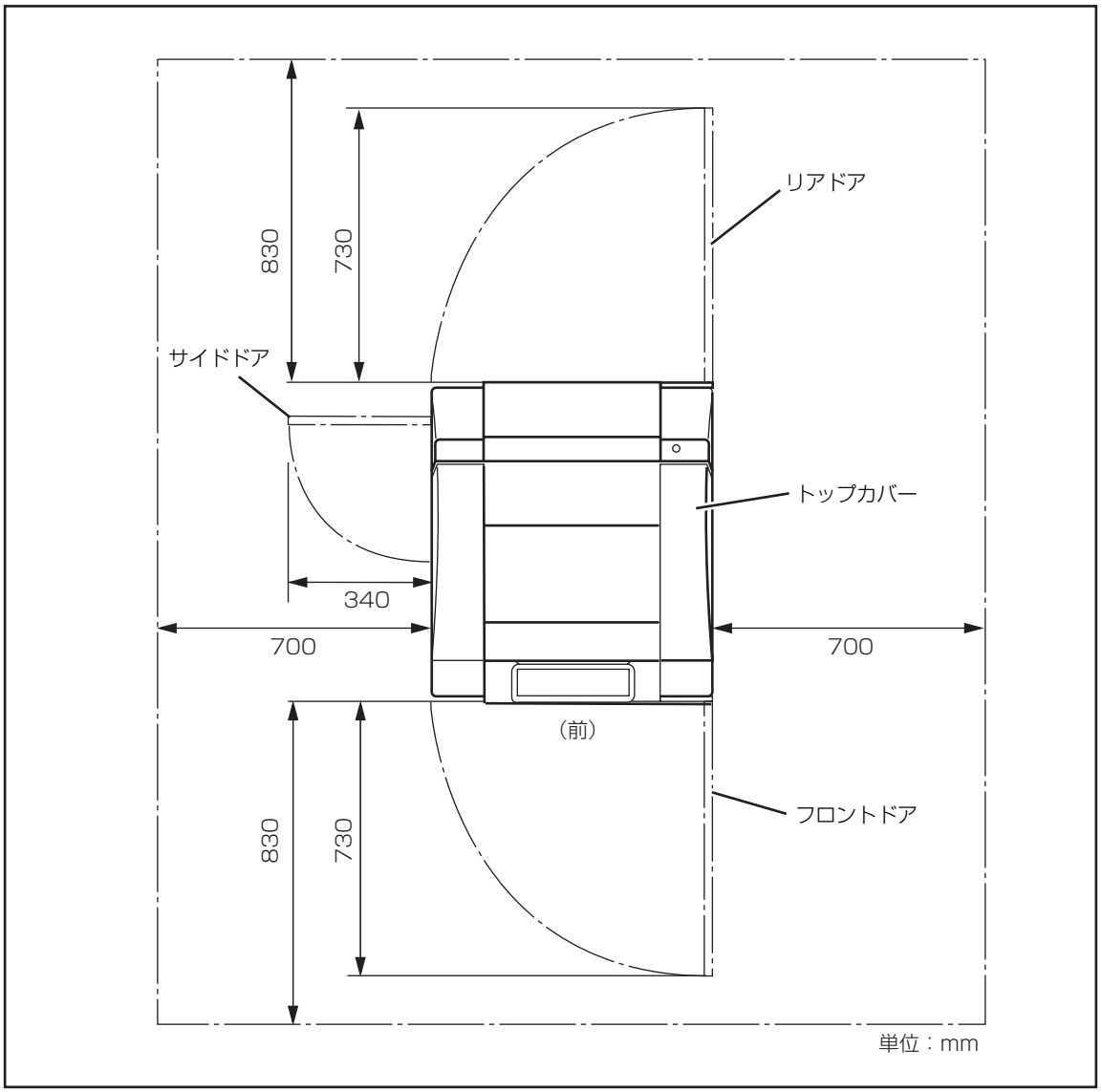


お使いになる前に、次のことを忘れずに行ってください。

- 保証書は大切に保管してください。
- 包装材はプリンタを運搬するときに必要となりますので、保存しておいてください。
- プリンタケーブル（インタフェースケーブル）は付属しておりません。本書の「3章 オプション」（63ページ）を参照して適切なプリンタケーブルを別途お買い求めください。

2 設置に必要なスペースを用意する

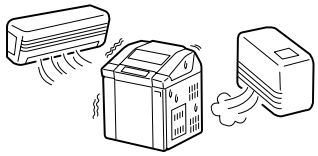
MultiImpact 750/850Aの設置に必要なスペースは次のとおりです。MultiImpact 750/850Aを安全に、快適にご使用いただくためには、次ページの「設置してはいけない場所」をよくお読みになり、下図に示すスペースを確保し、風通しのよい場所に設置してください。



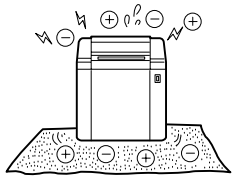
設置・保守に必要なスペース（上面図）

設置してはいけない場所

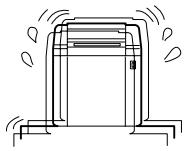
次のような場所には設置しないでください。



直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）には設置しないでください。また温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。

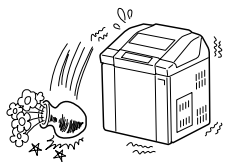


じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。

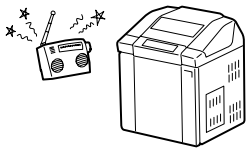


強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。

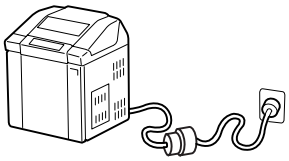
腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。



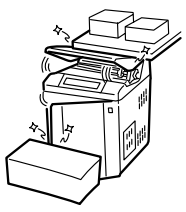
上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しないことがあります。



ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンタのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。



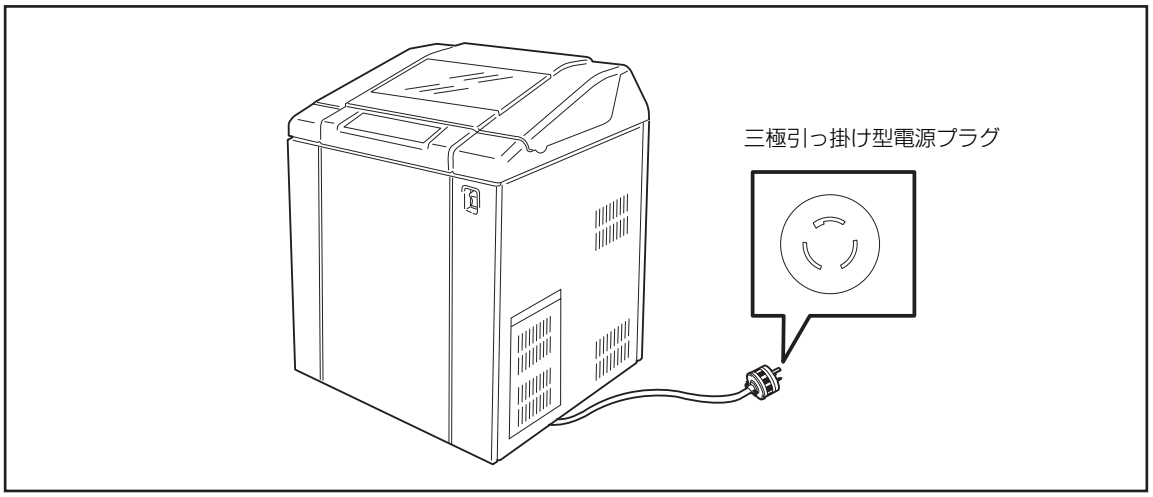
プリンタはコンセントから電源コード（約4m）で届く場所に設置してください。延長コードは決して使わないでください。



操作および保守に必要なスペースを確保してください。

3 設置に必要な専用電源コンセントを用意する

MultiImpact 750/850Aの電源プラグは、三極引っ掛け型電源プラグを使用しています。下記仕様にあった専用コンセントの設置が必要となります。専用コンセントの設置は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口におたずねください。

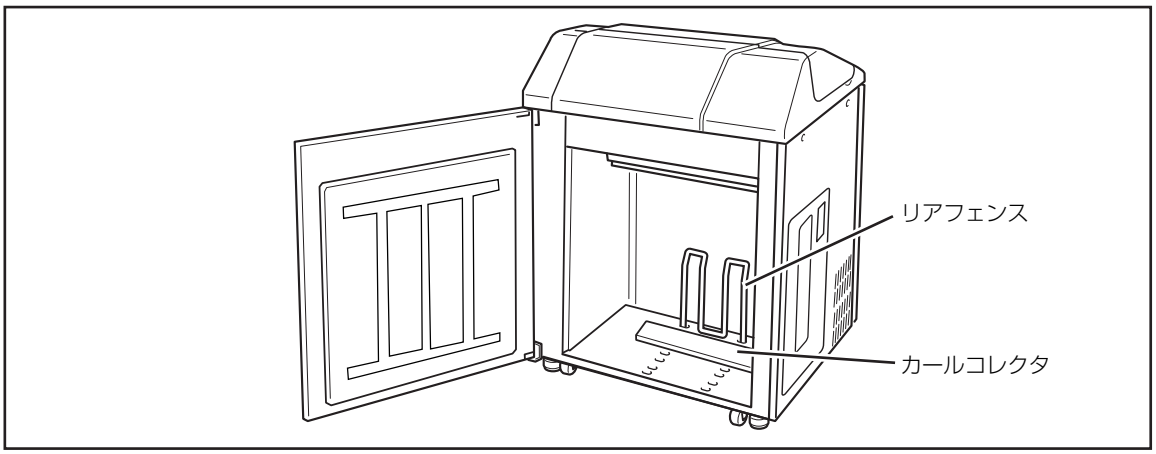


項目		仕様
所要コンセント		定格250V、30A 接地型三極引っ掛け型接続器 ※ 電源コンセントは接地極がD種接地工事（旧第3種接地工事）を行ったものを使ってください。
電源仕様	入力電源	AC100 V ± 10V
	周波数	50/60 Hz ± 1 Hz
	消費電力	動作時最大： 2115W（2200VA） 動作時平均： 1130W（1190VA） 待機時： 195W（200VA）
	電源プラグ	三極引っ掛け型（松下電工製WF6330相当品） NEMA L6-30P 準拠
	電源コード	4m

専用コンセントの設置作業はサービス担当者が行います。別途料金が必要です。

4 ペーパスタッカ部の設定をする

使用する用紙の折りたたみ長さに応じてリアフェンスとカールコレクタを指定の位置に取り付けます。



リアフェンス位置

用紙長	フェンス位置
203.2mm（8インチ）以下	8
228.6mm（9インチ）	9
254mm（10インチ）	10
279.4mm（11インチ）	11
304.8mm（12インチ）	12
330.2mm（13インチ）	13
355.6mm（14インチ）	14

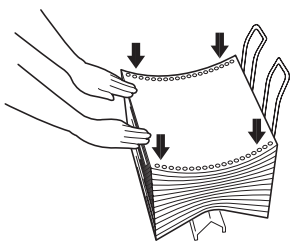
カールコレクタ位置

用紙長	フェンス位置
228.6mm（9インチ）以下	9以下
254～304.8mm（10～12インチ）	10～12
330.2～335.6mm（13～14インチ）	13～14

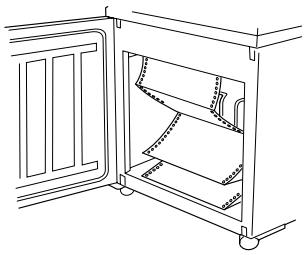
✔チェック

- カールコレクタ上に積み重ねられた用紙が折り目部でふくらむと用紙がキャビネット内ですぐ一杯になってしまいます。用紙がふくらんだら、約500ページ（複写紙の場合は100ページ）に1回手で押しつけて平らにしてください。折りたたみが改善されます。

  また、用紙は印刷ごとに取り去り、カールコレクタ上に用紙をためないでください。



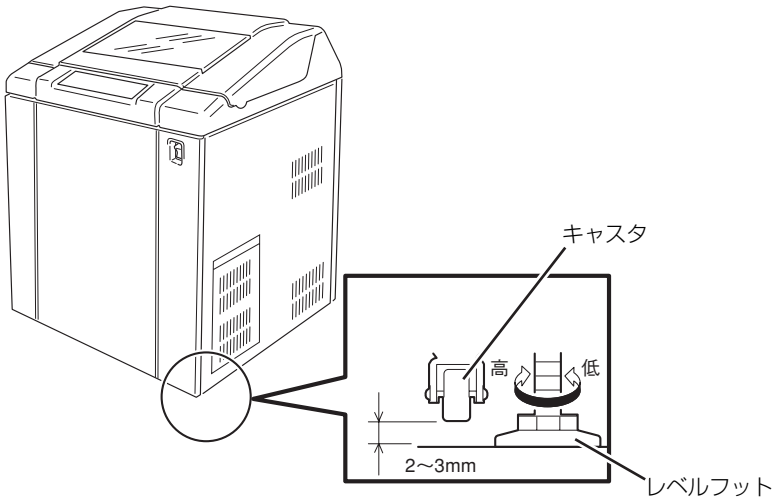
- 印刷が始まったら、リアドアを開けて、印刷直後の先頭ページがキャビネット内の用紙スタック部に正常に入っていることを確認してください。また、用紙がミシン目の折り方向に合って折りたたまれていることを確認してください。



5 プリンタを設置する

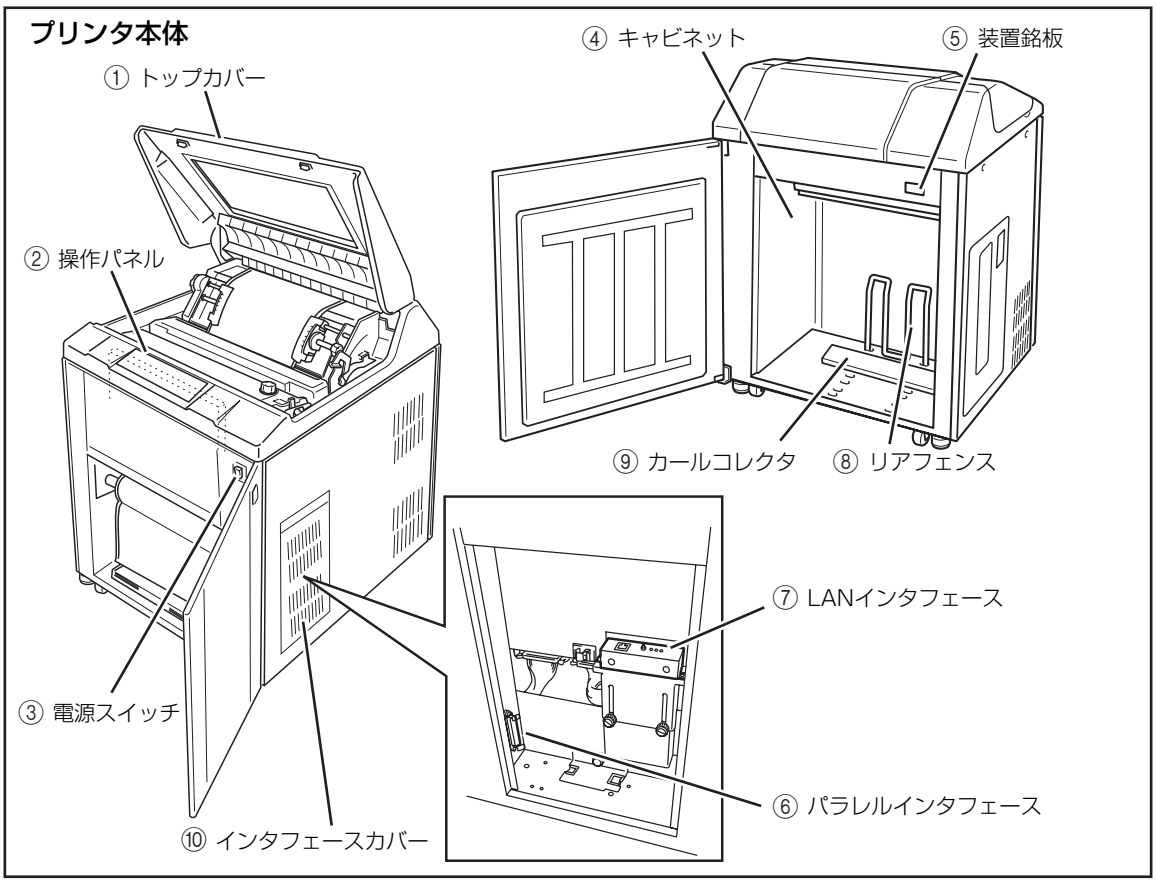
キャビネット底部の4か所にレベルフットが付いています。プリンタの固定、騒音対策、および印刷品質の確保のためにこのレベルフットを必ず下げて使用してください（キャスタと床の間を最低2～3mm空けるようにしてください）。

なお、レベルフットの調整には対辺24mm（M16）のレンチを使用します。



6 各部の名称を確認する

プリンタの各部の名称とはたらきについて説明します。プリンタを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。



① トップカバー：　印刷動作時の保護、防音のためのカバーです。インクリボンの取り付け、用紙をセットする際に開閉します。

② 操作パネル：　操作に必要なスイッチや、プリンタの状態を表示する液晶ディスプレイ、ランプがあります（2章の「操作パネル」（43ページ）参照）。

③ 電源スイッチ：　プリンタの電源をON（「｜」側）、OFF（「○」側）するスイッチです。

④ キャビネット：　用紙を収納する箱です。プリンタの前後に用紙を出し入れするためのドアがあり、印刷前の用紙はプリンタの前面側にストックされ、印刷後の用紙はプリンタ背面側にスタックされます。

⑤ 装置銘板：　製品型式、定格が記載されています。

⑥ パラレルインタフェース：　プリンタを直接コンピュータに接続するために、パラレルインタフェースのプリンタケーブルを接続するインタフェースです。

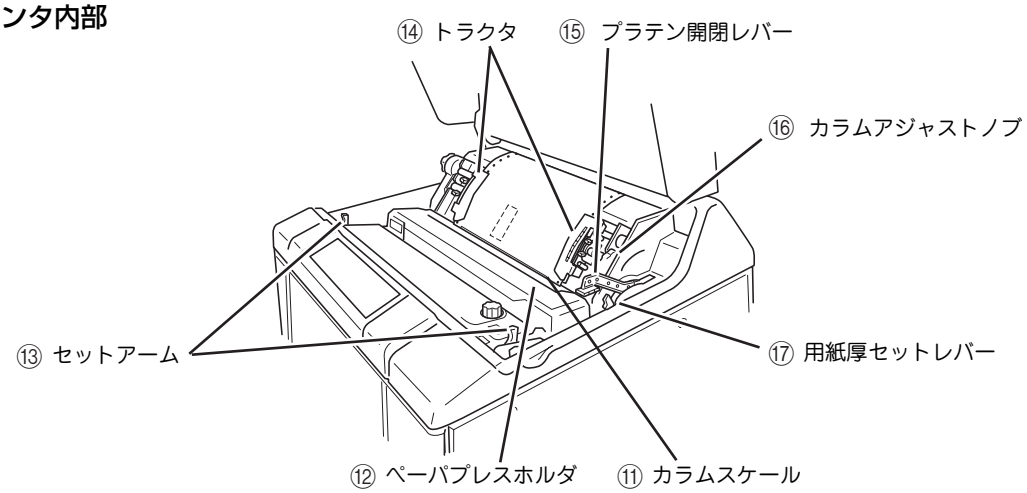
⑦ LANインタフェース：　プリンタをネットワークに接続するために LAN ケーブルを接続するインタフェースです。

⑧ リアフェンス：　連続紙が正しくスタックするように用紙端をそろえるレバーです。

⑨ カールコレクタ：　スタックした用紙のふくらみを修正する台です。

⑩ インタフェースカバー：　プリンタケーブルおよびLANケーブルを接続する際、取り外すカバーです。

プリンタ内部



⑪ カラムスケール：　印刷桁の水平方向位置合わせをするときに使用します。

⑫ ペーパプレスホルダ：　インクリボンの取り付け、取り外しのときに開閉します。

⑬ セットアーム：　インクリボンを交換するときに使用します。

⑭ トラクタ：　用紙の送り機構です。トラクタカバー、トラクタピン、ロックレバーなどから構成されています。

⑮ プラテン開閉カバー：　用紙やインクリボンの交換など、オペレータがメンテナンスするときにプラテンを開閉するレバーです。

⑯ カラムアジャストノブ：　水平方向の用紙位置を微調整するノブです。

⑰ 用紙厚セットレバー：　使用する用紙の厚さに応じて、印刷ヘッドの位置を調整するレバーです。実際の設定位置は印刷結果を見てレバー位置を調整してください。設定の目安は次のとおりです。

用紙厚設定の目安

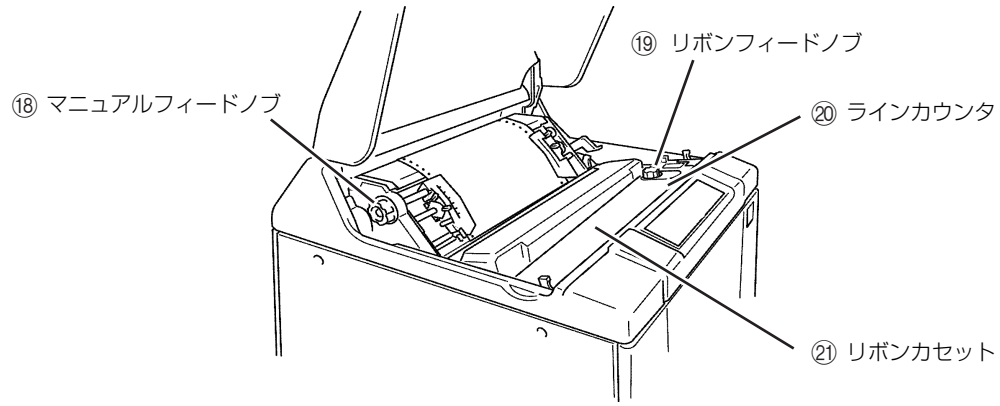
6部～8部紙を使用するときは［濃度選択］スイッチを使って印刷することをお勧めします（「［濃度選択］スイッチ」（46ページ）参照）。用紙にインクリボンの汚れが付くようなときは用紙厚セットレバーを7の方へ、文字が薄くて不鮮明なときは用紙厚セットレバーを1の方へ1段階動かしてください。

印刷用紙の種類と坪量（四六判の連量）*		用紙厚セットレバー位置
1部紙	64～81.4g/m^2(55～70kg)	1+1/2～2
	104.7～127.9g/m^2(90～110kg)	2～3
2部紙	34.9～39.5g/m^2(30～34kg)	2～3
3部紙	34.9～39.5g/m^2(30～34kg)	2～3
4部紙	34.9～39.5g/m^2(30～34kg)	3～4
5部紙	34.9～39.5g/m^2(30～34kg)	3～4
6部紙	34.9～39.5g/m^2 (30～34kg)	3～5
7部紙	34.9～39.5g/m^2 (30～34kg)	4～6
8部紙	34.9～39.5g/m^2 (30～34kg)	4～6

* 詳しくは、付録の「用紙規格」（93ページ）をご覧ください。

注) ご使用になる用紙の厚さにより、その都度、用紙厚セットレバーの位置を変更して印刷してください。

プリンタ内部（続き）



⑱ マニュアルフィードノブ：　用紙を手で送るノブです。

⑲ リボンフィードノブ：　インクリボンをセットしたとき、リボンのたるみを取るためのノブです。

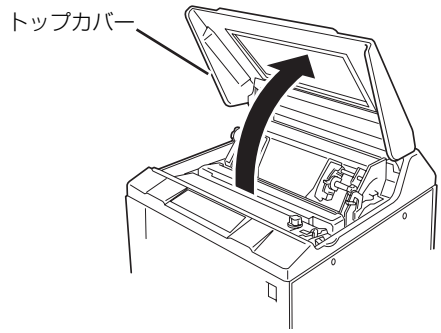
⑳ ラインカウンタ：　各機構部品の寿命を判断するカウンタです。保守員が使用します。

㉑ リボンカセット：　交換用インクリボンを収納するカセットです。交換用インクリボン交換時に取り外します。このプリンタに使用できる交換用インクリボン（黒）は、PR750/850-02です。

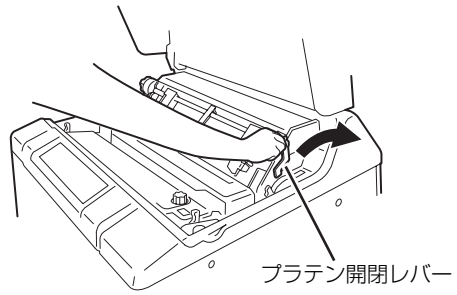
7 交換用インクリボン（黒）を取り付ける

MultiImpact 750/850Aに使用できる交換用インクリボン（黒）は、PR750/850-02です。交換用インクリボンは、必ず指定品を使用してください。

❶ **トップカバーを開ける。**



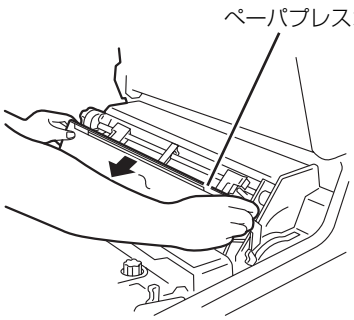
❷ **プラテン開閉レバーを後ろへ押してプラテンを開ける。**



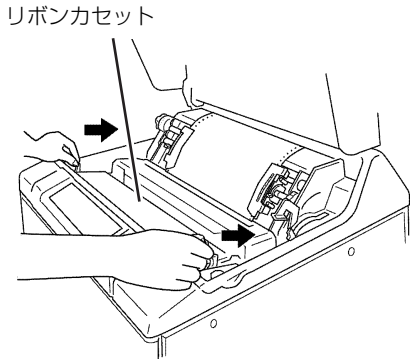
❸ **ペーパプレスホルダを開ける。**

⚠ 注意

カバーの中にある機構部は、けがをするおそれがありますので取り外さないでください。

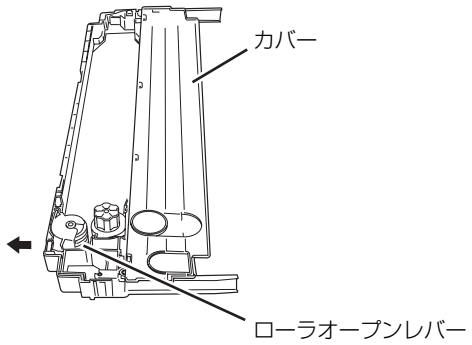


❹ **左右のセットアームを矢印の方向に押してリボンカセットを取り外す。**

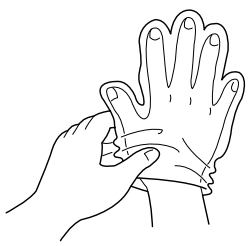


❺ **リボンカセットのカバーを開ける。**

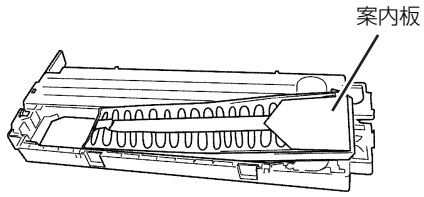
❻ **ローラオープンレバーを矢印の方向に「カチッ」とロックするまで引く。**



❼ **リボンに直接手を触れると手が汚れるので、交換用インクリボン（黒）に添付の手袋を着用する。**



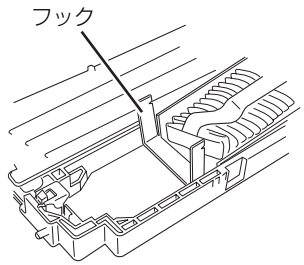
❽ **交換用インクリボン（黒）の上ぶたを外して、案内板が右側になるようにリボンカセット内に置く。**



❾ **交換用インクリボン（黒）の内箱の左側にあるフックを外して開ける。**

✔チェック

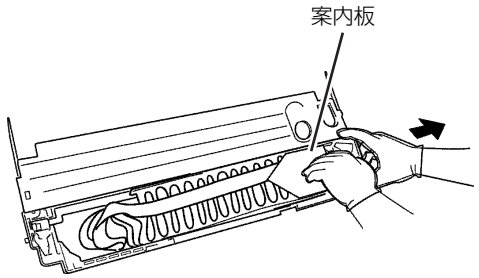
リボンを取り付けるとき、よれたりねじれたりしないように注意してください。



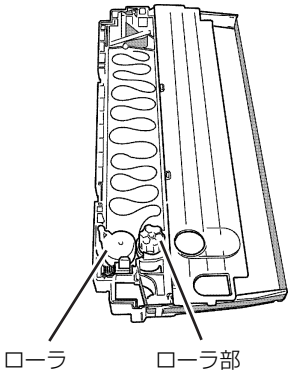
❿ **交換用インクリボン（黒）の案内板を押さえながら、内箱を矢印方向に引き抜く。**

✔チェック

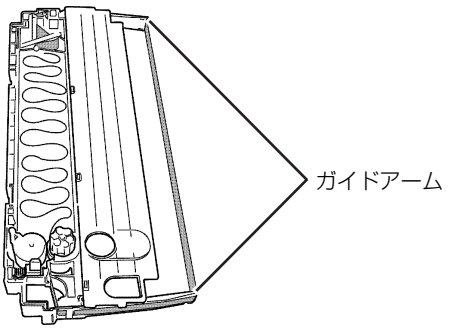
内箱を引き抜いたら、案内板を取り外してください。

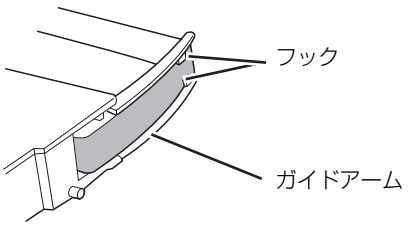


⓫ **ローラとローラ部の間にリボンを通す。**

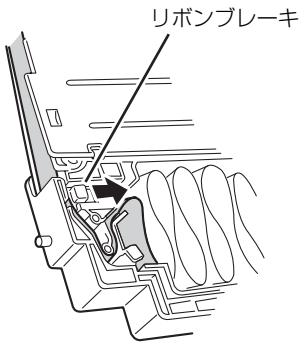


⓬ **左右のガイドアームにリボンをかける。このときガイドアーム先端のフックに正しくかける。**



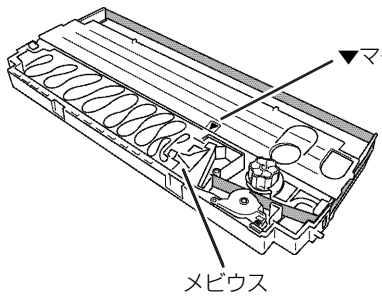


⓭ **リボンブレーキを矢印方向に押しながら、リボンを通す。**

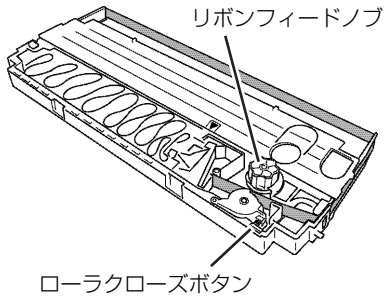


⓮ **メビウスをリボンカセットカバーにある▼マークまで移動する。**

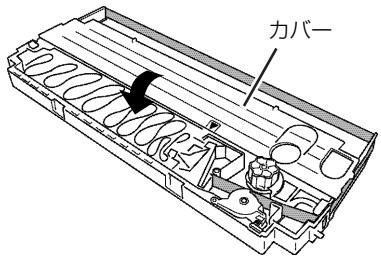
このとき倒れているリボンがあったら起こし、きちとセットされていることを確認してください。



⓯ **ローラクローズボタンを押してローラを閉じ、リボンフィードノブを時計回りに回し、リボンのたるみを取る。**



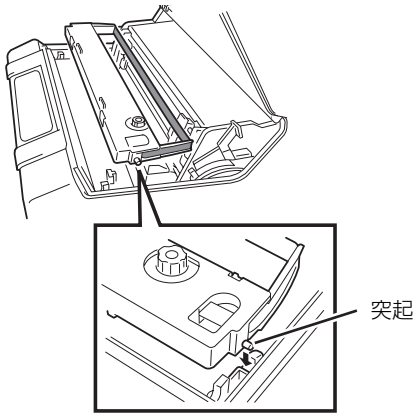
⓰ **カバーを閉じる。**



⓱ **リボンカセットの左右両側にある突起を矢印のように溝に入れてセットする。**

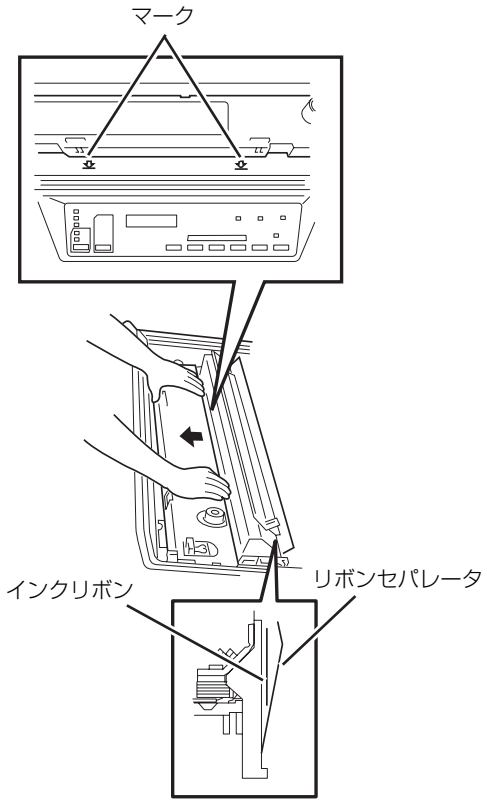
✔チェック

左右のガイドアームが内側に倒れて装置にセットしづらい場合は、ガイドアームを少し開いてからセットしてください。



⓲ **リボンカセットを「カチッ」とロックするまで手前に引く。**

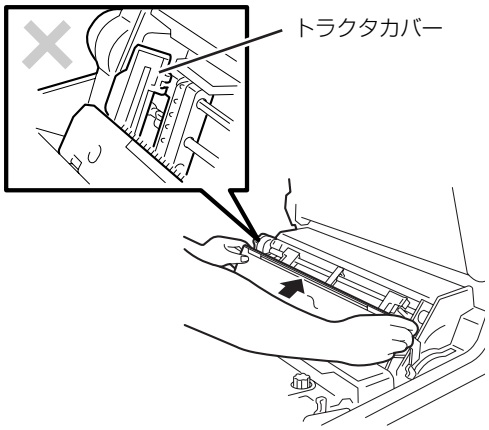
リボンがリボンセパレータの手前側に入っていること、およびマークが左右とも隠れていることを確認してください。



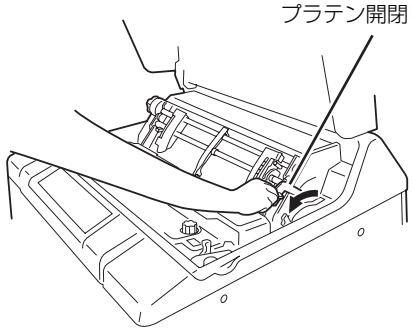
⑲ **ペーパプレスホルダを閉じる。**

✔チェック

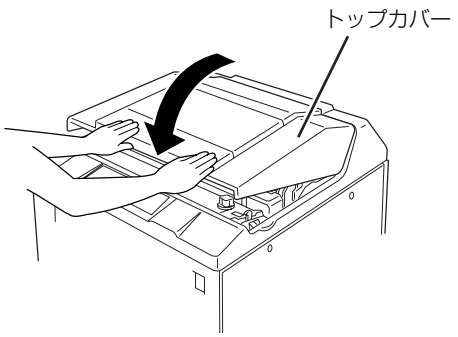
このとき、トラクタカバーが開いていると、ペーパプレスホルダは閉じません。必ずトラクタカバーを閉じてください。



⑳ **プラテン開閉レバーを手前に引いてプラテンを閉じる。**

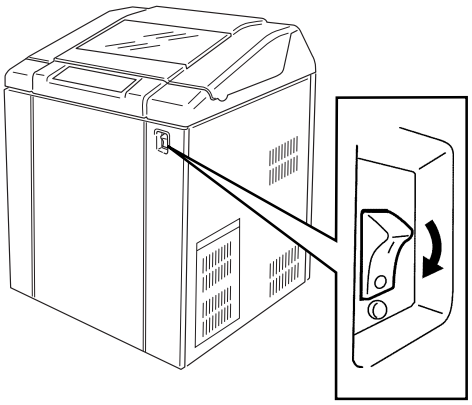


㉑ **トップカバーを閉じる。**

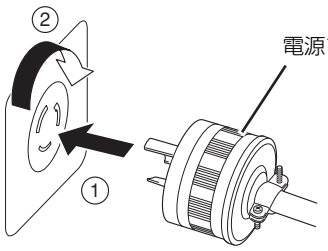


8 電源コードを接続する

❶ プリンタ正面右にある電源スイッチがOFF（「○」側）になっていることを確認する。



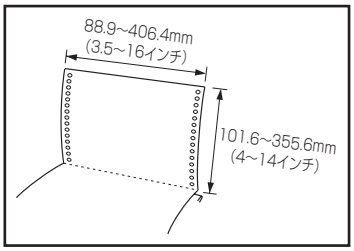
❷ 電源プラグを三極引っ掛け電源コンセントへ根元までしっかりと差し込み（①）、時計方向に回してロックする（②）。



9 用紙をセットする

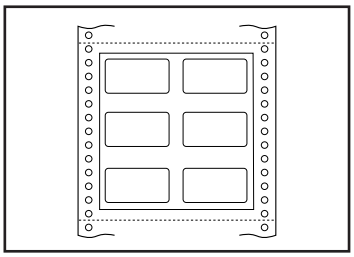
用紙について

MultiImpact 750/850Aで使用できる用紙の種類やサイズは次のとおりです。詳しくは、付録の「用紙規格」（93ページ）または「用紙設計に関する注意事項」（94ページ）をお読みください。



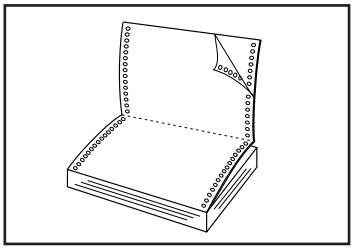
連続紙：

連続紙はミシン目で折りたたんだ状態で保存されています。ミシン目の間隔は、縦方向に279.4mm（11インチ）のものと304.8mm（12インチ）のものが一般的です。幅は、254mm（10インチ）のものと381mm（15インチ）のものが一般的です。用紙の規格については、付録の「用紙規格」（93ページ）をご覧ください。



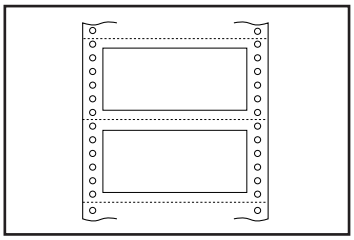
タック紙（ラベルシール）：

連続紙の台紙上にラベルシールを貼り付けてある用紙をトラクタを使って連続的に送ることができます。サイズは連続紙と同じです。タック紙使用時の注意事項については付録の「用紙設計に関する注意事項」（94ページ）をご覧ください。



複写式連続紙：

感圧紙または裏カーボン紙はオリジナル（上層紙）を含めて8枚までの複写式連続紙が使用できます。用紙のサイズは一般的な連続紙と同じです。用紙の規格については、付録の「用紙規格」（93ページ）をご覧ください。



封筒用紙：

上紙、中紙、下紙の3枚からなる帳票タイプの封筒用紙です。サイズは連続紙と同じです。封筒用紙使用時の注意事項については付録の「用紙設計に関する注意事項」（94ページ）をご覧ください。

✔チェック

- 用紙を包装箱やビニールなどに入れたままキャビネットの中にセットすると、用紙ジャムや文字詰りの原因となる場合がありますので、必ず包装箱やビニールなどから出してセットしてください。また、折りたたみ長さが短い用紙はキャビネットの奥にセットしないで、装置手前側にセットしてください。
- 用紙の質については、一般的な連続紙を使う場合はほとんど問題ありません。複写式の用紙など特殊な用紙を使うときには、付録の「用紙規格」（93ページ）をご覧ください。
- 用紙の印刷可能範囲については、付録の「印刷範囲」（102ページ）をご覧ください。

用紙のセット方法

ここでは、用紙のセット方法について説明します。このMultiImpact 750/850Aで使用できるのは、連続紙（フィードホール付き連続用紙）のみです。用紙のサイズや印刷可能範囲については、付録の「用紙規格」（93ページ）および「印刷範囲」（102ページ）を参照してください。

連続紙はトラクタにセットして使用します。トラクタフィーダは、主に次の部分から構成されています。

① トラクタ

トラクタカバー、トラクタピン、トラクタロックレバーなどから構成される連続紙の送り機構です。

①-① トラクタカバー

トラクタピンにセットした連続紙を押さえます。また、印刷したい行を設定するためのラインマークがトラクタカバー上についています。

①-② トラクタピン

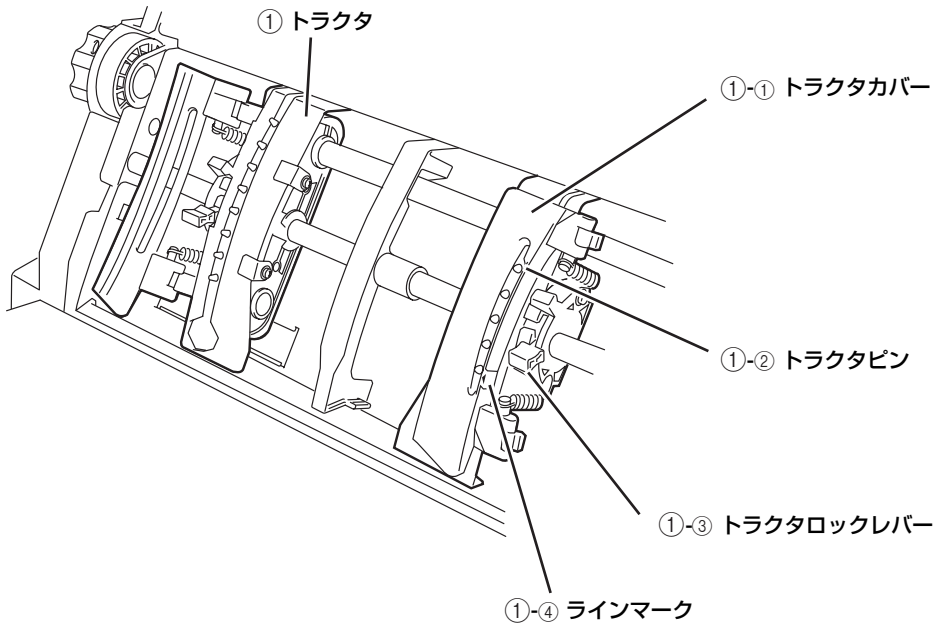
連続紙の左右端の穴をこのピンに合わせてセットすることにより、正確な用紙送りができます。

①-③ トラクタロックレバー

トラクタの位置を固定するレバーです。レバーをつまむとロックは解除され、離すとロックされます。

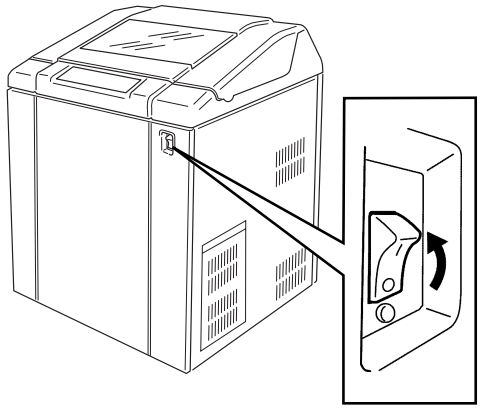
①-④ ラインマーク

用紙をセットする際に、印刷位置を合わせます。

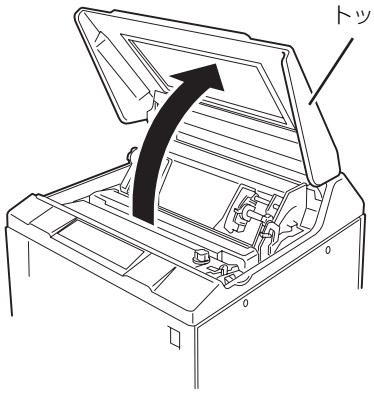


次の手順で用紙をセットします。

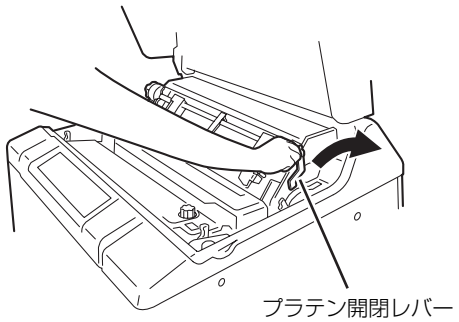
❶ プリンタ正面右にある電源スイッチをON（「｜」側）にする。



❷ トップカバーを開ける。



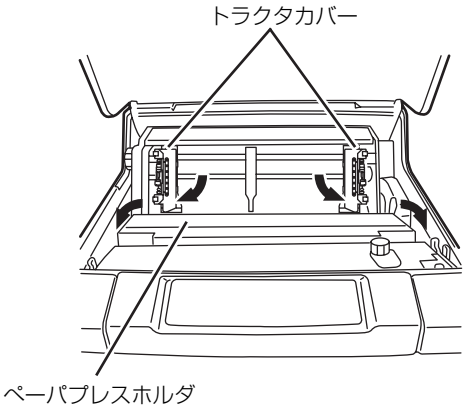
❸ プラテン開閉レバーを後ろへ押してプラテンを開ける。



❹ ペーパプレスホルダを開けた後、左右のトラクタカバーを開ける。

⚠注意

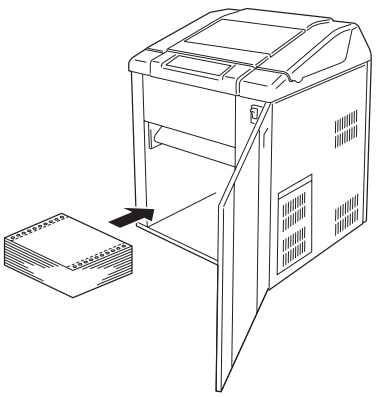
トラクタカバーに手をはさまないようにご注意ください。



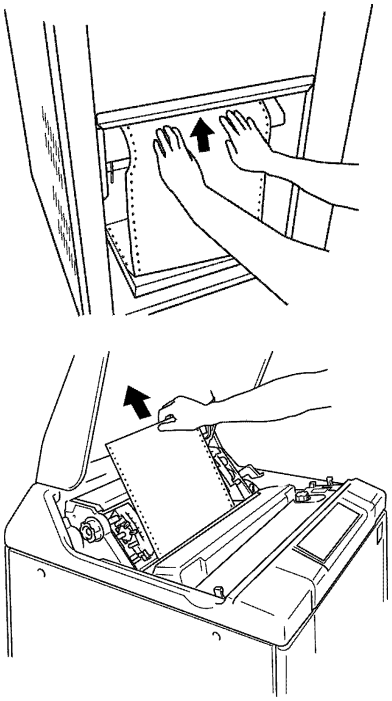
❺ キャビネットのフロントドアを開け、用紙をキャビネットの中に入れる。

✔チェック

用紙を包装箱およびビニールなどから出してキャビネットのなかにセットしてください。また、折りたたみ長さが短い用紙はキャビネットの奥にセットしないで、装置手前側にセットしてください。



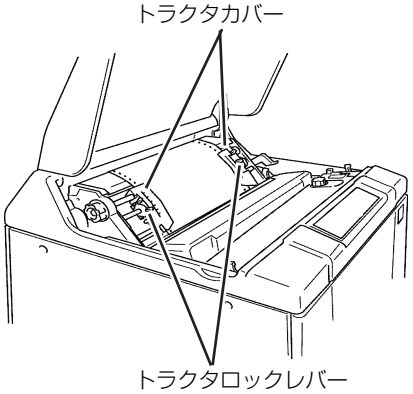
❻ **印刷面を上にして用紙挿入部から手で挿入し、トラクタのところに出てきたら、用紙を引き上げる。**



❼ **左右のトラクタロックレバーをつまみながらトラクタを左右に動かして、用紙の幅に合わせる。次に、トラクタロックレバーのつまみを離した後、用紙のフィードホールを左右のトラクタピンに合わせ、トラクタカバー、ペーパプレスホルダの順に閉じる。**

⚠ 注意

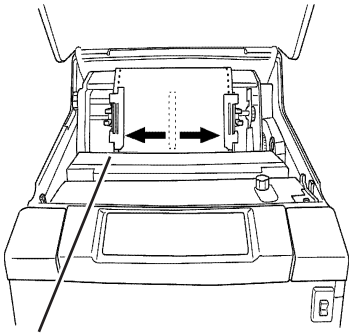
トラクタカバーに手をはさまないようにご注意ください。



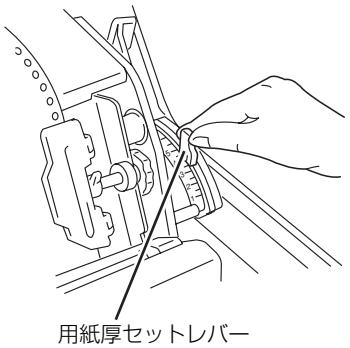
❽ **ペーパプレスホルダ部の目盛り（カラムスケール）を参照しながら用紙を張り過ぎないようにトラクタ位置を決める。**

✔チェック

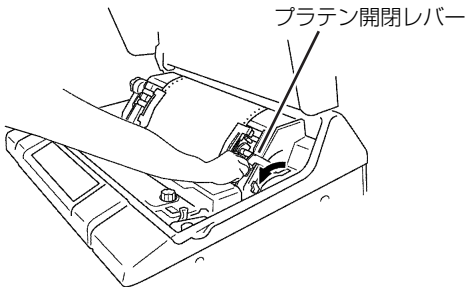
トラクタを左右に動かす際は、トラクタロックレバーをつまみながら行ってください。トラクタロックレバーから手を離すと、トラクタは固定されます。



❾ **使用する用紙の厚さに合わせて用紙厚セットレバーを適正な位置にセットする（「用紙厚設定の目安」（21ページ）参照）。**

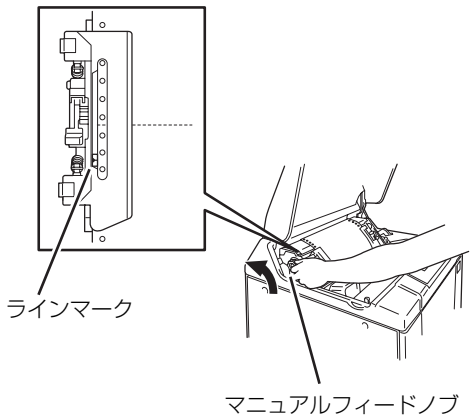


❿ **プラテン開閉レバーを手前に引いてプラテンを閉じる。**



⓫ ［用紙微調（▲）］スイッチを押す、またはマニュアルフィードノブを回して印刷したい行の上ラインを、左右のトラクタのラインマーク（▶◀）に合わせる。

印刷結果は文字の上端がその行のラインと一致します。

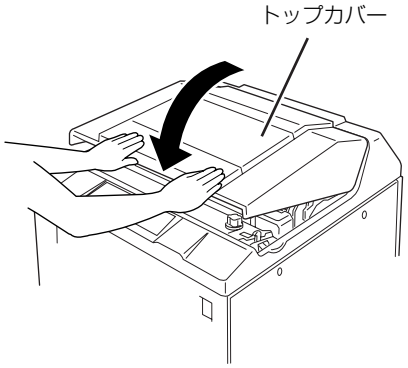


✔チェック

- ［用紙微調］スイッチでラインマークに合わせるときは最後に［用紙微調（▲）］スイッチを押して調整してください。最後の調整が［用紙微調（▼）］スイッチで終わると、微妙に用紙がたるんだ状態になり印刷品質が悪くなる場合があります。
- マニュアルフィードノブでは、用紙を逆フィードできません。必ず順方向にフィードさせて、ラインマークに合わせてください。
- 用紙長 152.4mm（6 インチ）以下の用紙を使用する場合は、左右のトラクタのラインマーク（▶◀）から上側に2枚分（シート分）の余白を取ってください。余白を取らない場合、用紙フィード不良の原因となります。

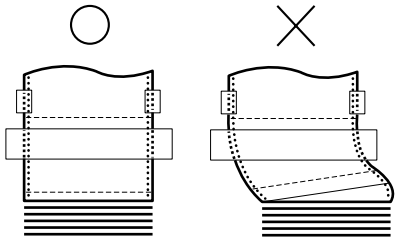
⓬ トップカバーを閉じる。

直後に用紙が引き込まれ、印刷したい行がプラテン上に送られます。



✔チェック

連続紙のストック分は、トラクタの用紙セット位置に対して鉛直線上になるように置いてください。



⓭ ［印刷可］スイッチを押して、セレクト状態（印刷可ランプ点灯）にする。

これでコンピュータから受信したデータを連続紙に印刷するための準備ができました。

印刷に関する注意

印刷を行う場合は、次の点について注意してください。

✔チェック

- 印刷中はトップカバーを開けないでください。もし、印刷中にトップカバーを開けると印刷が停止します。再びカバーを閉じれば印刷が再開されますが、印刷文字に白いすじが出ることがあります。

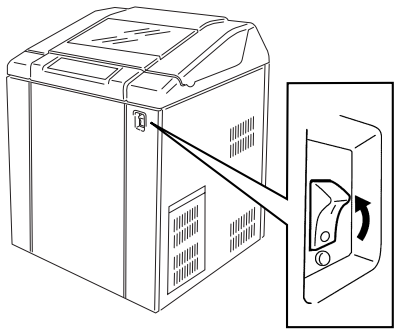
  印刷中にトップカバーを開けると印刷が停止し、用紙の一時排出動作を行います。このとき用紙ランプが点灯した場合は、トップカバーを閉じても用紙を元の位置に戻すことができないので、用紙を排出し、現在印刷中のページの残りのデータを捨ててしまいます。
- 操作パネル（またはリモートパネル）で設定する１ページの長さと印刷する用紙の長さが合っていない場合に用紙がなくなると、プラテンに空打ちして印刷ヘッドの故障の原因となりますので、必ず用紙長を正しく設定してください。また、用紙を再セットした後は印刷位置がずれますので、用紙の1ページの長さと操作パネル（またはリモートパネル）により設定する１ページの長さを合わせてください。用紙長が合っていないと、用紙切れ検出後のデータが失われます。
- 2ページにまたがる（設定されている用紙長以上の）逆改行はできません。
- 最終ページの用紙下端から8mm は印刷できませんので注意してください。最終ページの用紙下端から8mm以内に印刷するようにしている場合、プログラムどおり印刷できません。
- 最終ページの用紙下端から約30mm以内に印刷すると多少印刷が乱れることがあります。
- バーコードを印刷する時は、坪量81.4～104.7g/m^2（連量70～90kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。
- OCR-B近似フォントを印刷する時は、坪量104.7g/m^2（連量90kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。
- OCR-B近似フォントおよびバーコード／カスタマバーコードは高品位モードで印刷してください。それ以外のモードで印刷した場合は、読み取りは保証できません。
- エリートフォント、コンデンスフォントと2.47mm（7P）相当漢字、3.35mm（9.5P）相当漢字はエミュレーションして印刷しているため印刷品質が多少悪くなります。
- ドット列印字モードまたは修飾文字を印刷する場合、エミュレーションして印刷しているため印刷品質が多少悪くなります。
- 独自で作成したバーコードなど、プリンタ内蔵のバーコード以外のバーコードで印刷する場合、読み取れない場合がありますので事前にご確認ください。
- OCR-B 近似フォントおよびバーコード／カスタマバーコードは読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- インクリボンの寿命などにより印刷にかすれがある場合は、OCR-Bおよびバーコード読取装置でうまく読み取れない場合があります。
- 印刷中インクリボンの継ぎ目の影響による汚れが発生する場合があります。
- 印刷品質は、高品位印刷が最も良く、通常印刷や高速印刷の場合は多少悪くなります。
- 印刷範囲については、付録の「印刷範囲」（102ページ）を参照してください。
- 「用紙規格」（93ページ）、「用紙設計に関する注意事項」（94ページ）に合致した用紙を使用してください。
- 印刷開始後、用紙の先頭ページがミシン目の折り方向に折りたたまれ、正常にスタックされていることを確認してください。正常に折りたたまれていないと用紙ジャムなどが発生する場合があります。

10 テスト印刷を行う

テスト印刷は、プリンタ単体で正常な動作をすることを確かめるためのもので、プリンタ内蔵のフォントを繰り返して印刷します。テスト印刷には381mm（15インチ）幅の連続紙を使用してください。
印刷範囲がはみ出すような幅のせまい用紙は、印刷ヘッドやプラテンまたはインクリボンの損傷の原因となることがありますので使用しないでください。
このテスト印刷は、「5章 故障かな？と思ったら」（79ページ）の処理が済んだ後にも必要に応じて実行することをお勧めします。

❶［改頁］スイッチを押したまま、プリンタ正面右側にある電源スイッチをON（「｜」側）にする。

［改頁］スイッチは液晶ディスプレイに“インサツモード”が表示されるまで押し続けてください。

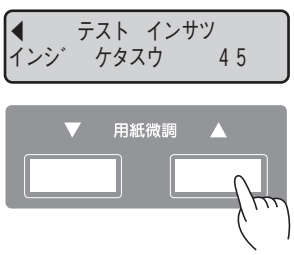


❷［機能選択］スイッチを押す。

液晶ディスプレイ下段に“インジケタスウ　45”が表示されます。

❸［用紙微調（▲）］または［用紙微調（▼）］スイッチを押して印刷文字数を設定する。

印刷文字数は10桁から45桁まで設定することができます。

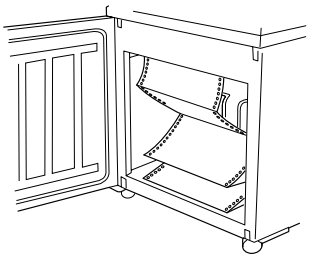


❹印刷文字数を設定したら、［印刷可］スイッチを押す。

液晶ディスプレイは“インジチュウ”を表示し、テスト印刷が始まります。テスト印刷中に［印刷可］スイッチを押すと停止します。もう1回押すとテスト印刷を再開します。

✔チェック

印刷が始まったら、リアドアを開けて、印刷直後の先頭ページがキャビネット内の用紙スタック部に正常に入っていることを確認してください。また、用紙がミシン目の折り方向に合って折りたたまれていることを確認してください。



途中で用紙がなくなり、用紙ランプが点灯したときは、新しい用紙をセットしてから［印刷可］スイッチを押してください。続きが印刷されます。

❺テスト印刷を終了する場合は、［設定］スイッチを押して印刷動作が停止してから電源スイッチをOFF（「○」側）にする。

11 コンピュータに接続する

MultiImpact 750/850Aには、プリンタケーブルが添付されておりません。プリンタとコンピュータとの接続には、3章の「オプション」（64ページ）をご覧になり、別途お買い求めください。MultiImpact 750/850Aをネットワークに接続してご利用になる場合は、「12　ネットワークに接続する」（37ページ）をご覧ください。

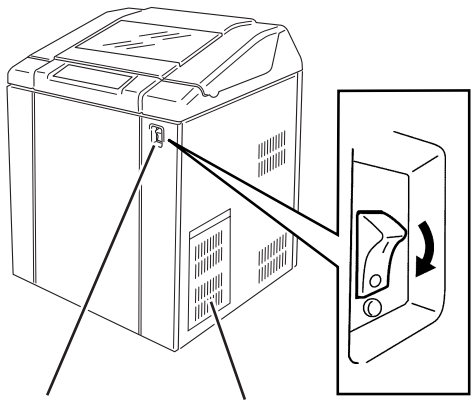
重要

コンピュータ本体とプリンタとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンタバッファ、プリンタ切り替え器、プリンタ共有器などを使用したりすると、MultiImpact 750/850Aの機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。

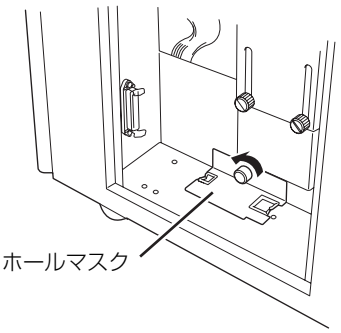
❶ プリンタおよびコンピュータの電源スイッチがOFF（「○」側）になっていることを確認後、プリンタ右側面にあるインタフェースカバーを取り外す。

チェック

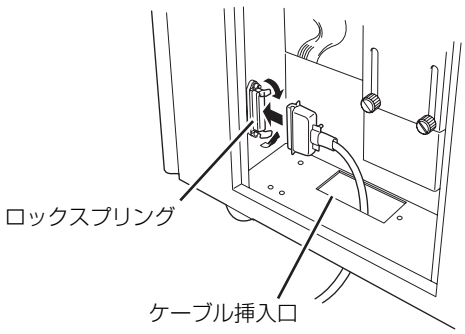
電源スイッチがONになっている状態で接続すると故障の原因になることがあります。必ずOFFになっていることを確認してください。



❷ ホールマスクを固定しているネジ1本を手で反時計方向に回して、ホールマスクを外す。



❸ プリンタケーブルのコネクタをケーブル挿入口から通し、プリンタのソケットに差し込む。次にコネクタ両端のロックスプリングで固定する。

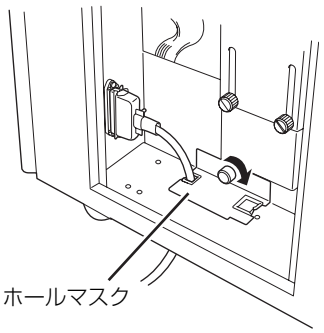


チェック

誤動作防止のため、プリンタケーブルのコネクタは必ずロックスプリングで固定してください。

❹ **ホールマスクのケーブル通し穴にプリンタケーブルを通した後、ホールマスクをケーブル挿入口に取り付ける。**

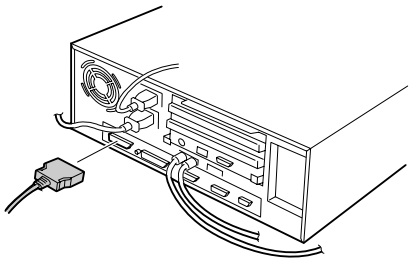
取り付けは取り外しの逆の手順で行ってください。



❺ **インタフェースカバーを取り付ける。**

❻ **プリンタケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータに接続する。**

コンピュータのインタフェース用ソケットの位置については、コンピュータのマニュアルを参照してください。

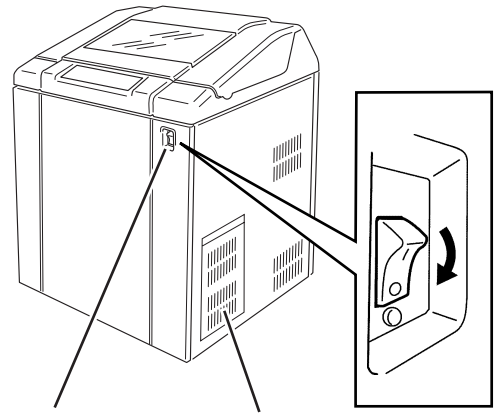


12 ネットワークに接続する

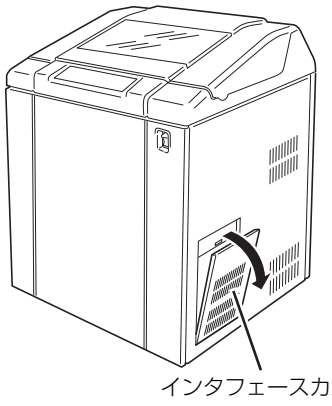
MultiImpact 750/850Aは標準でTCP/IPのネットワーク環境に接続することができます。
100BASE-TX、10BASE-Tに対応しています。

LANケーブルの取り付け

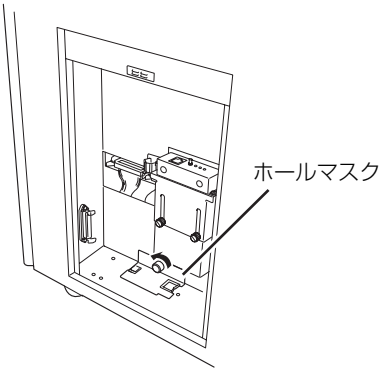
❶ **プリンタの正面右にある電源スイッチをOFF（「○」側）にする。**



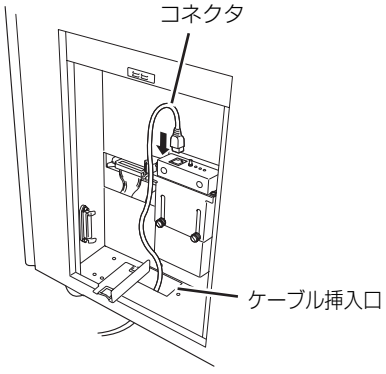
❷ **インタフェースカバーを取り外す。**



❸ **ホールマスクを固定しているネジ1本を手で反時計方向に回して、ホールマスクを外す。**

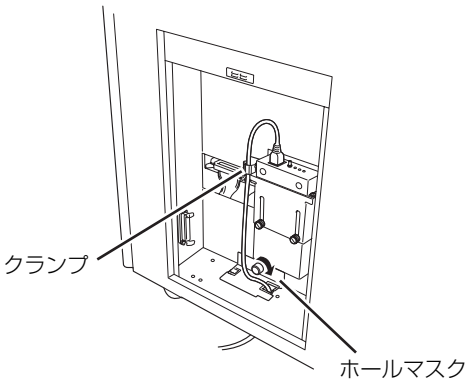


❹ **LANボードに接続するケーブルのコネクタをケーブル挿入口から通し、LANボードに接続する。**



❺ **ホールマスクのケーブル通し穴にLANボードの接続ケーブルを通した後、ホールマスクをケーブル挿入口に取り付ける。**

取り付けは取り外しの逆の手順で行ってください。



❻ **ケーブルをクランプに取り付ける。**

ケーブルをクランプに取り付けたら、「コンフィグレーション印刷による動作確認」（39ページ）へ進んでください。

コンフィグレーション印刷による動作確認

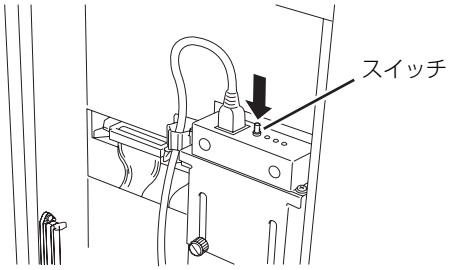
❶ プリンタの電源スイッチをON（「｜」側）にする。

正常に立ち上がり、印刷可状態（印刷可ランプ点灯）であることを確認してください。

❷ LANボードのブラケットにあるスイッチを1回（約5秒）押す。

✔チェック

NICプレートを固定しているネジ4本は取り外さないでください。



❸ 下記のような印刷結果が得られることを確認する。

モデルにより、一部下記印刷例と相違する場合があります。

```
NEC PR-NP-16      Version 1.0.0


***   Diagnostic report   ***
      ROM Check : Ok   stat:   CEF4 FFFF 0000 0000
      RAM Check : Ok   stat:   0000 0000 0000 0000
      NIC Check : Ok addr:   00:80:92:1D:30:DC   100BASE-TX
EEPROM Check : Ok stat: 9807 9807 0000 0000
```

✔チェック

MultiImpact 750/850Aは、LANボードを設置したままセントロおよびLANボードのいずれかを利用することができます。最初に受信した方のデータにより、セントロおよびLANボードのいずれかを自動選択します。以降は、選択された方のデータを処理します（解除は電源スイッチをOFFにしてください）。セントロまたは、LANボードを固定で使用する場合は、メモリスイッチMSW3-5、3-6の設定を変更してください（2章の「メモリスイッチ設定モード」（56ページ）参照）。

❹ インタフェースカバーを取り付ける。

13 ソフトウェアをインストールする

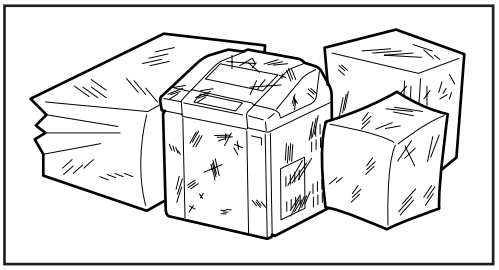
Windows OSをお使いの方へ

Windows OSをお使いの場合は、プリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているソフトウェアマニュアルをお読みになりながら、プリンタドライバのインストールを行ってください。

プリンタの廃棄とインクリボンの処理について

プリンタを廃棄する

プリンタおよびオプションの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。



インクリボンの処理について

使用済みのインクリボンを廃棄するときは各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。

- 使用済みインクリボンは、各自治体の条例等に従って処分してください。
  使用済みインクリボンを不法投棄すると、法律で罰せられます。

プリンタを運搬するときは

プリンタを運搬するときは、運搬時の衝撃からプリンタを守るために、お買い上げ時にプリンタを梱包していた包装材を使ってください。

❶ プリンタおよびコンピュータの電源スイッチをOFF（「○」側）にする。

❷ LANボードを使用していたときはLANケーブルを取り外す。

❸ プリンタケーブルを取り外す。

① コンピュータに接続しているコネクタ部を持って、プリンタケーブルをコンピュータから抜きます。

② プリンタに接続しているコネクタを固定しているロックスプリングを外し、コネクタ部を持ってプリンタケーブルをプリンタから抜きます。

❹ 電源コードをコンセントから抜く。抜くときは、プラグを持って電源コードを抜く。

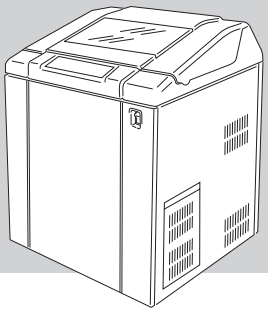
❺ キャビネット底部のレベルフット4か所を対辺24mm（M16）のレンチを使って元の位置まで上げる。

❻ 包装材を元のように取り付けて、付属品をビニールに入れ、キャビネットの中に入れる。最後にビニールをプリンタにかける。

✔チェック

プリンタは質量が約155kgありますので、移動するときは必ず2人以上で作業を行ってください。

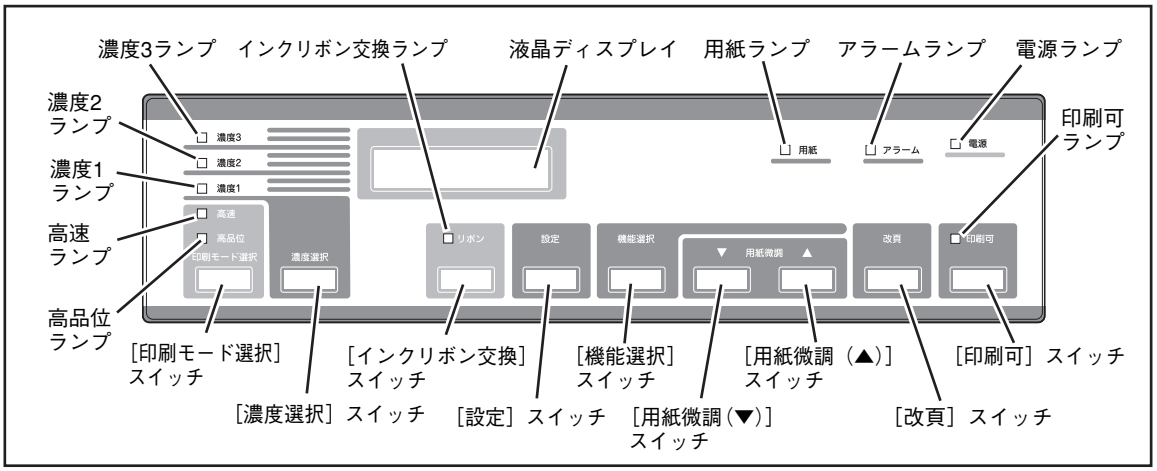
2章 MultiImpact 750/850Aを使いこなそう



ここではMultiImpact 750/850Aの基本的な操作の手順について説明します。

操作パネル

MultiImpact 750/850Aは、プリンタの操作に必要な表示類やスイッチ類をプリンタ前面の操作パネルにまとめています。
操作パネルには10個のランプ、9個のスイッチおよび液晶ディスプレイがあります。この章では、これらの基本的な機能について説明します。



ランプ

操作パネルにある10個のランプは、点灯あるいは消灯することによってプリンタの状態を知らせます。

電源ランプ（緑色）	点灯	電源スイッチがON（「｜」側）になっています。
	消灯	電源スイッチがOFF（「○」側）になっています。
用紙ランプ（赤色）	点灯	用紙が吸入されていません。またはセットされている用紙の印刷領域が少なくなっています。
	消灯	用紙が吸入済みです。
印刷可ランプ（緑色）	点灯	セレクト状態（コンピュータからのデータを受信できる印刷可能状態）になっています。
	消灯	ディセレクト状態（印刷ができない状態）になっています。
アラームランプ（赤色）	点灯	プリンタに異常が発生しています。
	点滅	プリンタ内部電源の交換時期です。
	消灯	プリンタが正常な状態です。
インクリボン交換ランプ	点灯	インクリボンの交換時期になっています。
	消灯	インクリボンが正常な状態です。
高品位ランプ（橙色）	点灯	印刷モードが高品位印刷（650LPM）になっています。
	消灯	高品位印刷が解除されています。
高速ランプ（橙色）	点灯	印刷モードが高速印刷（1000LPM）になっています。
	消灯	高速印刷が解除されています。
濃度１ランプ（橙色）	点灯	印刷濃度が濃度1印刷になっています。
	消灯	濃度1印刷が解除されています。
濃度２ランプ（橙色）	点灯	印刷濃度が濃度2印刷になっています。
	消灯	濃度2印刷が解除されています。
濃度３ランプ（橙色）	点灯	印刷濃度が濃度3印刷になっています。
	消灯	濃度3印刷が解除されています。

スイッチ

操作パネルには、9個のスイッチがあります。スイッチの中には複数の機能を持つものがありますが、ここでは各スイッチの名称が示している基本的な機能についてのみ説明します。その他の機能については、「プリンタの設定を変更する」(51ページ)で説明します。

［印刷可］スイッチ	押すごとにセレクト状態(印刷できる状態)とディセレクト状態(印刷できない)状態を切り替えます。セレクト状態(印刷可ランプ点灯)の場合は印刷ができ、ディセレクト状態(印刷可ランプ消灯)の場合は印刷できません。 印刷中にこのスイッチを押すと、データの受信と印刷を停止します。もう1回押すとデータの受信と印刷を再開します。
［改頁］スイッチ	設定されている用紙長に従い次ページの第1印刷位置へ用紙を送ります。このスイッチは、ディセレクト状態(印刷可ランプ消灯)で有効です。 未印刷データがある場合は未印刷データを印刷後、改ページ動作を行います。
［用紙微調(▲)］スイッチ	1度押すと印刷用紙を順方向に約0.15mm(1/168インチ)フィードします。押し続けると4.23mm(1/6インチ)連続フィードします。このスイッチはディセレクト状態(印刷可ランプ消灯)で有効です。プラテンオープンまたはペーパプレスホルダオープン状態の場合、本スイッチは無効となります。 ◇メニューモード機能、メモリスイッチ設定モード時◇ 押すごとに設定されたモードに対するパラメータ等を選択できます。
［用紙微調(▼)］スイッチ	押している間、印刷用紙を逆方向に約0.15mm(1/168インチ)単位でフィードします。このスイッチはディセレクト状態(印刷可ランプ消灯)で有効です。 用紙が残り少ない場合(用紙ランプ点灯状態)、プラテンオープンまたはペーパプレスホルダオープン状態の場合、本スイッチは無効となります。 ◇メニューモード機能、メモリスイッチ設定モード時◇ 押すごとに設定されたモードに対するパラメータ等を選択できます。

［機能選択］スイッチ	プリンタの各種状態を設定するメニューモード機能への切り替えに使用します。このスイッチはディセレクト状態（印刷可ランプ消灯）およびトップカバークローズ状態で有効です。

［設定］スイッチ	上記機能選択で設定したメニューモード機能および、メモリスイッチ設定モードの項目を記憶させるときに使用します。このスイッチは、ディセレクト状態（印刷可ランプ消灯）で有効です。

［インクリボン交換］スイッチ	インクリボンを交換したときに押します（インクリボン交換ランプ消灯）。

［濃度選択］スイッチ	押すごとに印刷濃度を濃度1→濃度2→濃度3→通常濃度と切り替えます。［印刷モード選択］スイッチとの組み合わせも可能です。

［印刷モード選択］スイッチ	押すごとに印刷速度を高品位印刷→高速印刷→通常印刷と切り替えます。［濃度選択］スイッチとの組み合わせも可能です。

※アラーム状態（アラームランプ点灯）の時はすべてのスイッチが無効になります。

［濃度選択］スイッチによる複写枚数の目安

濃度		通常→濃			
［濃度選択］スイッチ		通常 全ランプ消灯	濃度１ ランプ点灯	濃度２ ランプ点灯	濃度３ ランプ点灯
複写枚数	感圧紙	5	6	6	8
	裏カーボン紙	5	8	8	8
	ワンタイムカーボン紙	4	4	5	6

✔チェック

- 印刷条件によっては［濃度選択］スイッチで設定した複写枚数が多少異なる場合があります。あらかじめご確認の上、［濃度選択］スイッチで設定してください。またご利用になる用紙の複写枚数に応じて適切な用紙厚に用紙厚セットレバーで設定してください。
- 濃度選択で濃度2、濃度3を選択したときは、通常より印刷速度が遅くなります。濃度選択で濃度1を選択したときは、印刷データによっては通常より印刷速度が遅くなる場合があります。

液晶ディスプレイ

操作パネルには、16桁×2行の液晶ディスプレイがあります。液晶ディスプレイが表示する内容は次の3種類に分けられます。

- ■ ステータス表示：　プリンタの特定の状態を表示します。
- ■ エラー表示：　異常が発生したときに、その内容を表示します。
- ■ メニュー表示：　メニューモードのときはメニューおよび設定内容を、メモリスイッチ設定モードのときはメモリスイッチ設定内容を表示します。

ここでは、ステータス表示についてその意味を説明します。エラー表示については5章の「エラー表示」(81ページ)、メニュー表示については「メニューモード機能」(51ページ)と「メモリスイッチ設定モード」(56ページ)をご覧ください。

セレクト	プリンタがセレクト状態（印刷データを受信できる状態）のときに表示されます。
ﾃﾞｨｾﾚｸﾄ	プリンタがディセレクト状態（印刷データを受信できない）のときに表示されます。
ｲﾆｼｬﾗｲｽﾞﾁｭｳ	プリンタの初期化中に表示されます。
ﾃﾞｰﾀｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ	未印刷データがプリンタ内に残っている場合に表示されます。残りのデータを送信して印刷するか、[改頁]スイッチを押して残りのデータを印刷してください。未印刷データがなくなるとこの表示は消えます。
◀ ﾃｽﾄ ｲﾝｻﾂ ｲﾝｼﾞ ｹﾀｽｳ ##　　##	テスト印刷を行う前に印刷文字数を設定するときに表示されます。
HEXﾀﾞﾝﾌﾟ	HEXダンプモードのときに表示されます。
ﾃｽﾄ ｲﾝｻﾂ ｲﾝｼﾞ ﾁｭｳ	テスト印刷中のときに表示されます。
ｾｯﾃｲ ｸﾘｱ ｸﾘｱ ﾁｭｳ	メニューモード機能、メモリスイッチ設定内容を工場設定にリセット実行中に表示されます（「設定内容をリセットする」(61ページ)参照）。
ｼｮﾘﾁｭｳ	コンピュータからのデータを処理しているときに表示されます。
ｶﾊﾞｰ ｵｰﾌﾟﾝ	トップカバーが開いているときに表示されます。
ﾖｳｼﾖ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	用紙がプリンタにセットされていないときに表示されます。
ﾌﾟﾗﾃﾝ ｵｰﾌﾟﾝ	プラテン開閉レバーの操作により、プラテンが印刷ヘッドから退避しているときに表示されます。
ﾍﾟｰﾊﾟ ﾌﾟﾚｽｵｰﾌﾟﾝ	ペーパプレスホルダが開いているときに表示されます。

知っていると便利な機能

MultiImpact 750/850Aには「コンピュータからのデータを印刷する」、「用紙を送る」という基本的な機能のほかにも、いろいろな機能が用意されています。ここでは、用紙の取り扱いに関すること以外で知っていると便利な機能について説明します。これらの機能の実行は、すべて操作パネルから行うことができます。

なお、プリンタの様々な設定の変更も操作パネルから行うことができます。この後の「プリンタの設定を変更する」(51ページ) で説明します。

テスト印刷

テスト印刷では、すべての内蔵文字フォントを印刷し、プリンタの動作や印刷品質を確認することができます。テスト印刷には381mm（15インチ)幅の連続紙を使用してください。
このテスト印刷は、「5章 故障かな？と思ったら」(79ページ) の処置が済んだ後にも必要に応じて実行することをお勧めします。
印刷範囲がはみ出す用紙は、印刷ハンマやプラテンおよびインクリボンの損傷の原因となることがありますので使用しないでください。

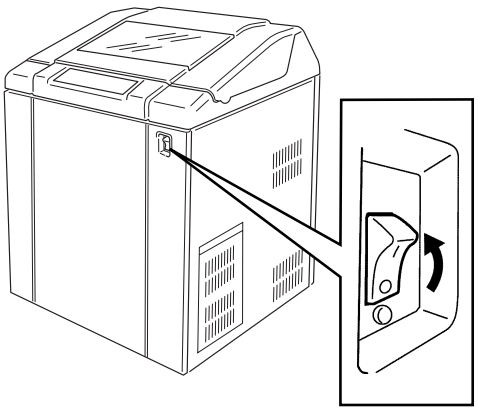
次の手順でテスト印刷を行ってください。

❶ 381mm（15インチ）幅の連続紙をセットする。

印刷が用紙からはみ出さないように、必ず381mm（15インチ）幅の連続紙をセットしてください。

❷ いったん電源スイッチをOFF（「○」側）にし、［改頁］スイッチを押したまま、プリンタ左横にある電源スイッチをON（「｜」側）にする。

［改頁］スイッチは液晶ディスプレイに“インサツモード”が表示されるまで押し続けてください。

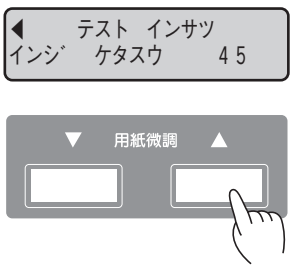


❸ ［機能選択］スイッチを押す。

液晶ディスプレイ下段に“インジケタスウ　45”が表示されます。

❹ ［用紙微調（▲)］または［用紙微調（▼)］スイッチを押して印刷文字数を設定する。

印刷文字数は10桁から45桁まで設定することができます。



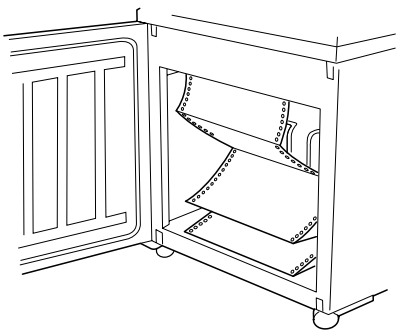
❺ 印刷文字数を設定したら、［印刷可］スイッチを押す。

液晶ディスプレイは“インジチュウ”を表示し、テスト印刷が始まります。

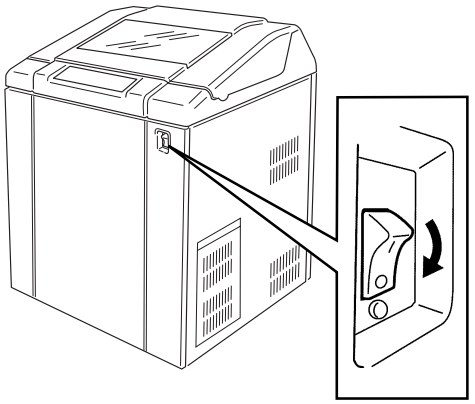
テスト印刷中に［印刷可］スイッチを押すと停止します。もう1回押すとテスト印刷を再開します。

✔チェック

印刷が始まったら、印刷直後の先頭ページがキャビネット内の用紙スタック部に正常に入っていることを確認してください。また、用紙がミシン目の折り方向に合って折りたたまれていることを確認してください。
途中で用紙がなくなり用紙ランプが点灯したときは、新しい用紙をセットしてから［印刷可］スイッチを押してください。印刷が始まります。



❻ テスト印刷を終了する場合は、［設定］スイッチを押して印刷動作が停止してから電源スイッチをOFF（「○」側）にする。



❼ テスト印刷が終わったら、オンラインマニュアルの「テスト印刷サンプル」を確認して印刷の状態を確認する。

文字の一部が欠けていたり文字の周囲が汚れていたりしたときは1章の「7 交換用インクリボン（黒）を取り付ける」（23ページ）に従ってインクリボン（黒）を取り付け直し、もう一度テスト印刷を行ってください。それでも印刷の状態が良くならない場合には、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に連絡してください。

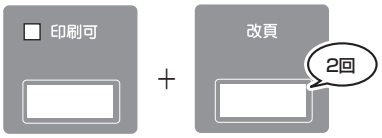
受信データのHEXダンプ

HEXダンプモードは、プリンタの受信データを16進コードで印刷する機能です。自作のプログラムで正しく印刷できないようなとき、その原因を見つけるためにHEXダンプ機能を使います。HEXダンプを行うときは、次の手順に従ってください。

❶ 381mm（15インチ）幅の連続紙をプリンタにセットする。

❷ ［印刷可］スイッチを押したまま、［改頁］スイッチを2回続けて押す。

液晶ディスプレイには“HEXダンプ”と表示されます（未印刷データがあれば、それを印刷した後に表示します）。



❸ ［印刷可］スイッチを押す。

❹ コンピュータからプリンタへ印刷データを送る。

HEXダンプ印刷が始まります。
HEXダンプを一時中断するときは、［印刷可］スイッチを押します。もう一回押すと再開します。

❺ HEX ダンプを終了させるときは、強制リセットを実行する。

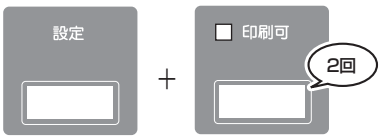
液晶ディスプレイに“イニシャライズチュウ”と表示され、強制リセットされたことがわかります。

また、途中で用紙がなくなり用紙ランプが点灯したときは、新しい用紙をセットしてから［印刷可］スイッチを押してください。続きが印刷されます。

強制リセット

プリンタを電源スイッチON（「｜」側）直後の状態（初期状態）に戻したいときは、［設定］スイッチを押したまま、［印刷可］スイッチを続けて2回押します。

液晶ディスプレイに“イニシャライズチュウ”と表示され、強制リセットされたことがわかります。



✔チェック

- 強制リセットを行うと、プリンタ内に残っている未印刷データはすべて消失します。
- 液晶ディスプレイに“プラテンオープン”が表示されている状態、またはアラームランプが点灯している状態（ペーパジャムまたはリボンジャムを除く）ではこの操作を行っても初期化は実行されません。
- 工場出荷時の設定にリセットするときとは異なりますので注意してください。初期状態については、付録の「初期状態」（103ページ）をご覧ください。

プリンタの設定を変更する

MultiImpact 750/850Aでは、操作パネルの液晶ディスプレイを見ながらスイッチを押していくことにより、プリンタの様々な設定を変更することができます。この機能をメニューモード機能、およびメモリスイッチ設定モードと呼びます。

通常はプリンタお買い上げ時の設定（工場出荷設定）のままで使用できますが、設定を変更した場合、その設定はプリンタ内部のメモリに記憶され、電源スイッチをON（「｜」側）にしたときや強制リセットしたときに呼び出される設定（初期設定）となります。

メニューモード機能

メニューモードでパラメータを表示・変更する

❶ **用紙をセットする。**

❷ **プリンタがディセレクト状態（印刷可ランプ消灯、液晶ディスプレイに“ディセレクト”と表示）になっていることを確認する。**

✔チェック

プリンタに用紙がセットされていないと液晶ディスプレイ上に“ディセレクト”と表示されません。用紙をセットしてから以下の操作を行ってください。

❸ **［機能選択］スイッチを押す。**

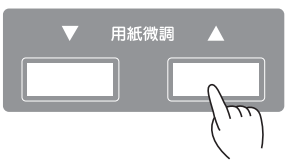
液晶ディスプレイに“オシラセ　ヒョウジ”と表示されます。

❹ **さらに［機能選択］スイッチを押して、目的の項目を表示させる。**

❺ **＜“オシラセ　ヒョウジ”の場合＞**

① **“オシラセ　ヒョウジ”と表示されている状態で［改頁］スイッチを1回押す。**

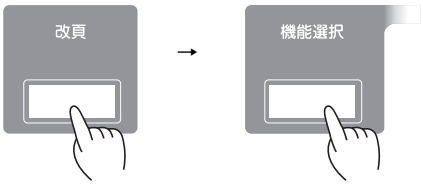
② **［用紙微調（▲）］あるいは［用紙微調（▼）］スイッチを押して、表示のON／OFFを切り替える。**



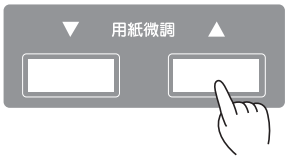
<“ホシュ　カウンタ”の場合>

① **“ホシュ　カウンタ”と表示されている状態で［改頁］スイッチを1回押す。**
はじめに推奨交換周期（交換の目安）に到達している部品の番号を表示する“オシラセ　タイショウブヒン”が表示されます。

② **［機能選択］スイッチを押す。**
押すたびに各部品と現在のカウンタ値、および推奨交換周期（交換の目安）に到達しているか、到達していないかを示す記号がディスプレイの2段目右端に表示されます（“**＊**”は推奨交換周期（交換の目安）に到達、空白は推奨交換周期（交換の目安）に未到達）。



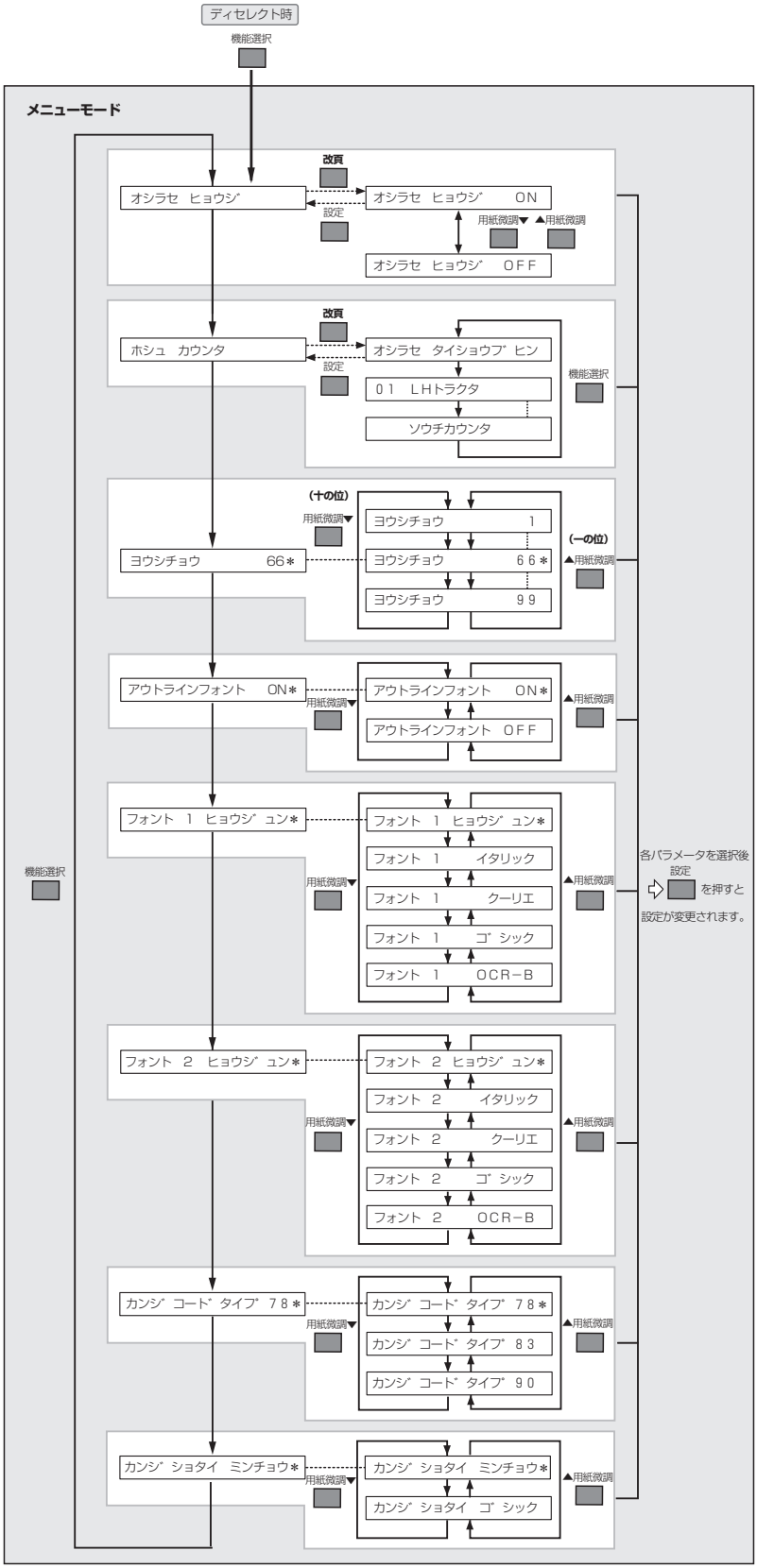
<その他の場合>
［用紙微調（▲）］あるいは［用紙微調（▼）］スイッチを押して、パラメータ項目のパラメータの設定変更を行う（それぞれの設定の説明を参照）。



❻ **パラメータの確認または変更が終了したら［設定］スイッチを押す。**

メニューモードを終了し、変更されたパラメータはプリンタ内に記憶されます。なお、変更したい項目が複数ある場合には、上記3～5の手順を繰り返してください。

メニューモードで設定を変更する操作の流れを次に示します。



各機能項目の説明

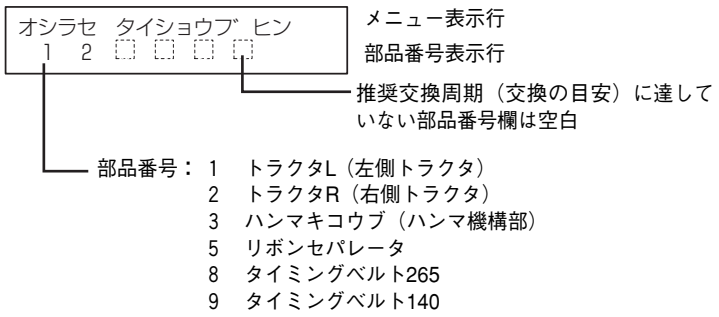
お知らせ表示の設定

有寿命部品表示を有効にするか、無効にするかを設定します。有効（出荷時の設定：ON）にすると、推奨交換周期(交換の目安)に達した有寿命部品の部品名を操作パネルのディスプレイに表示します。無効(OFF)にすると、ディスプレイに表示しません。
有寿命部品の推奨交換周期（交換の目安）を促す表示については「有寿命部品について」（12ページ）または「有寿命部品表示」（82ページ）を参照してください。

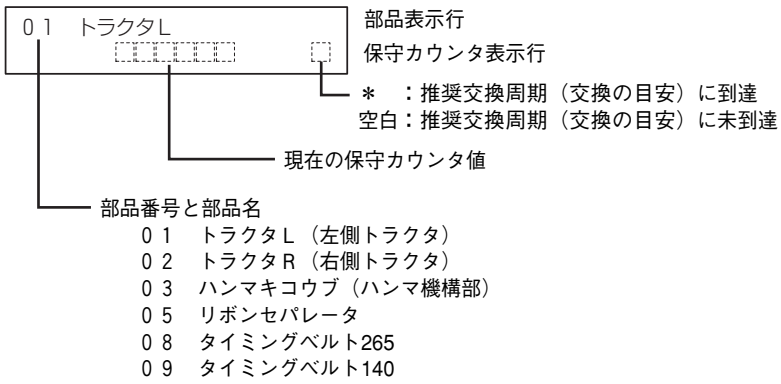
保守カウンタの表示

この項目は有寿命部品の状態を確認するためのものです。
“オシラセ　タイショウブヒン”には推奨交換周期（交換の目安）に達した有寿命部品の部品番号が表示されます。“オシラセ　タイショウブヒン”で［機能選択］スイッチを押すごとに各有寿命部品の部品番号、部品名、およびその保守カウンタ値が表示されます。

トラクタLおよびトラクタRが推奨交換周期（交換の目安）に達している場合の表示例



トラクタLの保守カウンタ表示例



用紙長の設定

改頁機能が正しく動作するように、使用する用紙の長さに応じた値を設定します。パラメータは、改行幅4.23mm（1/6インチ）を基準として、その行数を設定します。設定範囲は1行から99行までです。使用するソフトウェアまたはOSが用紙長を管理している場合、本設定は無効になることがあります。

アウトラインフォント設定

- 日本語モード（2バイト系文字）において、拡大印刷（2×2倍以上）を行う場合、アウトラインフォント（輪郭をなめらかにした字体）を使用するかどうかを選択します。本設定は、OS環境に関係なく機能します。また、ソフトウェアによる設定は行えません。
- アウトラインフォント使用を選択すると、印刷のための処理に時間がかかり、印刷速度が遅くなる場合があります。
- 次の場合にはアウトラインフォント印刷は無効となります。
  - 外字を印刷するとき
  - 拡大文字印刷にワープロソフト独自の文字を使うような一部のワープロソフトを使用しているとき
- アウトラインフォントの設定をOFFにした状態で電源スイッチをOFF→ONにすると、アウトラインフォント設定はONに戻ります。

フォント 1選択

ANKモード（1バイト系文字）において、印刷するANK文字フォントの選択を行います。

フォント 2選択

ANKモード（1バイト系文字）において、印刷するANK文字フォントの選択を行います。

漢字コード選択

1978年版のJIS漢字コード表、1983年版のJIS漢字コード表および1990年版JIS漢字コード表のいずれかを選択する場合に使用します。

漢字書体選択

明朝体、またはゴシック体のどちらかの書体を選択します。

メモリスイッチ設定モード

MultiImpact 750/850Aには、32個のメモリスイッチ（Memory Switch：MSW と略す。機械的なスイッチではなく、ソフトウェアスイッチ）が内蔵されていて、各メモリスイッチの状態（ON/OFF）を切り替えることによって様々な機能を設定することができます。
メモリスイッチとは、電源スイッチのように機械的なものではなく、ON/OFFの設定を電気的に切り替え、記憶するものです。

メモリスイッチの機能とON／OFFに対応する設定内容は次のとおりです。（【　】の設定が工場出荷設定です。）

MSW	内容	OFF	ON
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより、【日本】、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンが切り替わります。	
1-2			
1-3			
1-4	未使用		
1-5	DC1／DC3の有効／無効の切り替え	【有効】	無効
1-6	自動復帰改行の切り替え	【復帰改行】	復帰のみ
1-7	印刷指令コードの切り替え	【CR】	CR+その他
1-8	CR機能の切り替え	【復帰のみ】	復帰改行
2-1	1バイト系の数字ゼロの字体の切り替え	【0】	Ø
2-2	ドラフト解除コード受信時の印刷モードの切り替え	【通常】	高品位
2-3	ドット対応グラフィックのドット数の切り替え*1	【ネイティブモード】	コピーモード
2-4	コンピュータからの印刷モード切り替え	【有効】	無効
2-5	コンピュータからの濃度選択切り替え	【有効】	無効
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	【8ビット】	7ビット
2-7	用紙無し時の受信データ処理切り替え	【捨てる】	捨てない
2-8	ペーパジャム/リボンジャム時の復旧切り替え	【POW OFF/ON、強制リセット】	プラテン開閉レバーの開閉
3-1	（未使用）		
3-2	ビジブル動作の有効/無効の切り替え	【有効】	無効
3-3	バーコード／OCR印刷時の印刷モード自動切り替え	【無効】	有効
3-4	プリンタドライバの切り替え	【750/850A(168)】	750/850A(160)
3-5	ポート選択方法の切り替え	【先に受信したポート】	どちらか固定
3-6	ポートの選択	【LAN】	パラレル
3-7	2バイト系の数字ゼロの字体の切り替え	【0】	Ø
3-8	（未使用）		
4-1	（未使用）		
4-2～4-3	濃度選択	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより【標準】、濃度1、濃度2、濃度3に切り替わります。	
4-4	自動排出の切り替え	【自動排出なし】	自動排出あり
4-5 4-6	印刷モードの切り替え	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより高速モード、高品位モード、【標準モード】に切り替わります。	
4-7	EMコードの有効／無効の切り替え	【有効】	無効
4-8	バーコードパターンの切り替え	【幅広パターン】	新情処パターン

*1　制御コードを使って設定を変えることができます。（初期状態になるとメモリスイッチの設定内容に戻ります。）

MSW			各国文字
1-1	1-2	1-3	
OFF	ON	OFF	アメリカ
ON	ON	OFF	イギリス
OFF	OFF	ON	ドイツ
ON	OFF	ON	スウェーデン
OFF	OFF	OFF	【日本】

（表以外の組み合わせはすべてスウェーデンになります。）

MSW		濃度
4-2	4-3	
ON	ON	濃度3
OFF	ON	濃度2
ON	OFF	濃度1
OFF	OFF	【標準】

MSW		濃度
4-5	4-6	
OFF	ON	高速
ON	OFF	高品位
OFF	OFF	【標準】

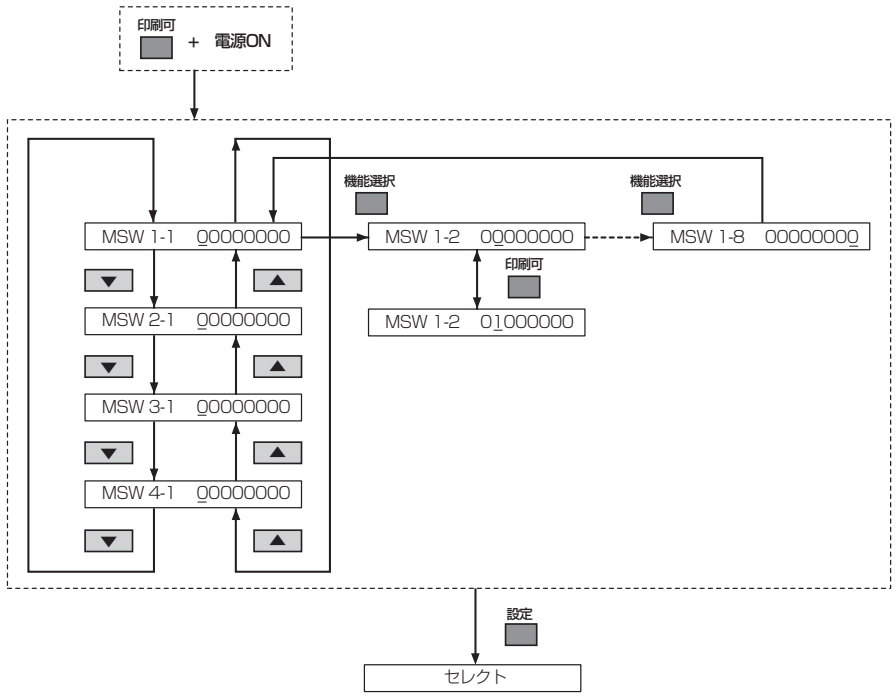
（表以外の組み合わせはすべて標準になります。）

チェック

未使用のメモリスイッチは工場出荷設定（OFF）のままにしておいてください。

メモリスイッチのON／OFFを切り替えるための操作の流れを次に示します。

- 0がOFF、1がONを示します。



メモリスイッチの変更方法

❶ ［印刷可］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをON（「｜」側）にする。

液晶ディスプレイに“MSW1-1 00000000”と表示されます。

❷ ［機能選択］スイッチまたは［用紙微調（▲ / ▼）］スイッチを押して、設定変更したいメモリスイッチを選択する。

❸ ［印刷可］スイッチを押してメモリスイッチの設定変更を行う。

それぞれの設定の説明を参照してください。

❹ メモリスイッチの設定変更が終了したら［設定］スイッチを押す。

イニシャライズ動作を行ってセレクト状態になります。
なお、変更したい設定が2項目以上ある場合には、上記の手順2、3を繰り返してください。

メモリスイッチの機能

MSW1-1～1-3　各国文字の切り替え
各国文字を日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンのいずれかに切り替えます。表以外の組み合わせのときは、すべてスウェーデン文字となります。

MSW1-5　DC1／DC3の有効／無効の切り替え
制御コードDC1とDC3の制御コードを有効にするか無効にするかを切り替えます。

MSW1-6　自動復帰改行の切り替え
データがライトマージンを越えたとき、復帰のみの動作を行うか復帰改行動作を行うかを切り替えます。

MSW1-7　印刷指令コードの切り替え
制御コードCRを受信したときのみ印刷を開始するか、CR、LF、VT、FFのいずれかを受信すれば印刷を開始するかを切り替えます。

MSW1-8　CR機能の切り替え
制御コードCRの機能を復帰のみにするか復帰改行にするかを切り替えます。

MSW2-1　1バイト系の数字「0」の字体の切り替え
8ビットコード表、7ビットコード表の数字ゼロを“0”と印刷するか“Ø”と印刷するかを切り替えます。

MSW2-2　ドラフト解除コード受信時の印刷モード切り替え
コンピュータからのドラフト解除コードを受信したとき、印刷モードを通常モードにするか高品位モードにするかを切り替えます。

MSW2-3　ドット対応グラフィックのドット数の切り替え
グラフィック（ドット列印刷）モードの横ドット数をネイティブモードにするかコピーモードにするかを切り替えます。コピーモードでの横ドット数はネイティブモードでの1/2になります。

MSW2-4　コンピュータからの印刷モードの切り替え
コンピュータからの印刷モード切り替えを有効にするか無効とするかを切り替えます。

MSW2-5　コンピュータからの濃度選択の切り替え
コンピュータからの濃度選択切り替えを有効にするか無効とするかを切り替えます。

MSW2-6　7ビット／8ビットデータの切り替え
インタフェースのデータが8ビット有効か7ビット有効かを切り替えます。
ドット列印刷モードでのデータ転送は、このメモリスイッチの設定によらず8ビット有効です。

MSW2-7　用紙無し時の受信データ処理の切り替え
印刷途中で用紙無しが発生した場合、用紙無し発生ページのデータを捨てるか、捨てないかを切り替えます。

MSW2-8　ペーパジャム/リボンジャム時の復旧方法の切り替え
ペーパジャム/ リボンジャムが発生した場合の復旧方法を電源OFF/ON または強制リセットのみとするか、プラテン開閉レバーの開閉動作とするかを切り替えます。

MSW3-2　ビジブル動作の有効/無効の切り替え
カバー開時のビジブル動作を有効にするか無効にするかを切り替えます。設定を有効にするには電源の再投入が必要です。

MSW3-3　バーコード／OCR-B相当印刷時の印刷モード自動切り替え
バーコードまたはOCR-B相当を印刷時、高品位モードへの自動切り替えを有効とするか無効とするかを切り替えます。

MSW3-4　プリンタドライバの切り替え
MultiImpact 750/850A（168）とMultiImpact 750/850A（160）とのどちらを使用するかを切り替えます。

MSW3-5　ポート選択方法の切り替え
パラレルポートとLANポートの選択を先にデータを受信したポートとするか、どちらか固定とするかを切り替えます。設定を有効にするには電源の再投入が必要です。

MSW3-6　ポートの選択
MSW3-5をONにした場合、ポートをパラレルにするかLANにするかを選択します。
設定を有効にするには電源の再投入が必要です。

MSW3-7　2バイト系の数字「0」の字体の切り替え
漢字コード表の半角および全角の数字ゼロを“0”と印刷するか“Ø”と印刷するかを切り替えます。

MSW4-2～4-3　濃度選択
印刷濃度の初期設定を標準、濃度1、濃度2、濃度3のいずれかに切り替えます。

MSW4-4　自動排出の切り替え
コンピュータからのデータ転送終了後、約15秒たっても再度データが転送されない場合、待機中のデータを自動排出するか、しないかを切り替えます。

MSW4-5～4-6　印刷モードの切り替え
印刷モードの初期設定を高品位モード、高速モード、標準モードのいずれかに切り替えます。表以外の組み合わせの時は、すべて標準モードとなります。

MSW4-7　EMコードの有効／無効の切り替え
EMコードを受信したとき、同期するか、しないかを切り替えます。

MSW4-8　バーコードパターンの切り替え
バーコードパターン初期設定を幅広にするか新情処パターンにするかを切り替えます。

設定内容をリセットする

変更した設定内容を一度にリセットすることができます。設定内容のリセットは、すべての設定内容（メニューモード、メモリスイッチ）を工場出荷設定に戻します。

チェック

強制リセット（50ページ）とは異なり、すべての設定を工場出荷時の状態にリセットしますので注意してください。

❶ プリンタの電源スイッチをOFF（「○」側）にする。

❷ ［改頁］スイッチと［機能選択］スイッチを押しながら電源スイッチをON（「｜」側）にする。

液晶ディスプレイに“セッテイクリア　Y／N?”と表示されます。

設定内容のリセットを中止したいときは［機能選択］スイッチを押し、“N”を選択して［設定］スイッチを押すと、リセットせずにセレクト状態に戻ります。

❸ ［設定］スイッチを押す。

これで設定内容はリセットされます。

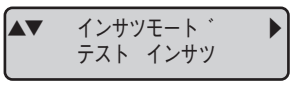
設定内容を印刷する

現在設定されている内容（メモリスイッチ、メニュー、印刷モード）を印刷します。

❶ プリンタの電源スイッチをOFF（「○」側）にする。

❷ ［改頁］スイッチを押しながら電源スイッチをON（「｜」側）にする。

液晶ディスプレイに“インサツモード”が表示されます。



❸ ［用紙微調（▼）］スイッチを押してディスプレイ下段に“セッテイチ　インジ”を表示させます。

❹ ［印刷可］スイッチを押す。

設定内容が印刷されます。

❺ 終了する場合は、印刷動作が停止してから［設定］スイッチを押す。

また、途中で用紙がなくなり用紙ランプが点灯したときは、新しい用紙をセットしてから［印刷可］スイッチを押してください。最初から印刷されます。

設定内容の印刷例

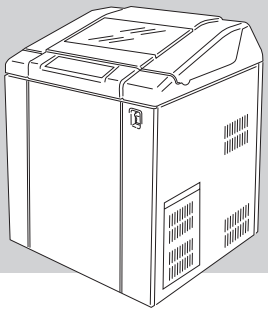
メニューモード

用紙長	：	66行
アウトラインフォント	：	ON
フォント1	：	標準
フォント2	：	標準
漢字コード	：	78年
漢字書体	：	明朝体

メモリスイッチ

MSW1-1	：	OFF
1-2	：	OFF
1-3	：	OFF
1-4	：	OFF
1-5	：	OFF
1-6	：	OFF
1-7	：	OFF
1-8	：	OFF
MSW2-1	：	OFF
2-2	：	OFF
2-3	：	OFF
2-4	：	OFF
2-5	：	OFF
2-6	：	OFF
2-7	：	OFF
2-8	：	OFF
MSW3-1	：	OFF
3-2	：	OFF
3-3	：	OFF
3-4	：	OFF
3-5	：	OFF
3-6	：	OFF
3-7	：	OFF
3-8	：	OFF
MSW4-1	：	OFF
4-2	：	OFF
4-3	：	OFF
4-4	：	OFF
4-5	：	OFF
4-6	：	OFF
4-7	：	OFF
4-8	：	OFF

3章
オプション

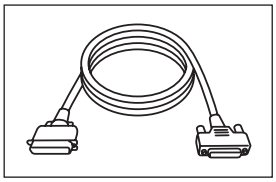


この章では、MultiImpact 750/850Aに取りそろえられているオプション品を紹介します。オプションの増設等は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口におたずねください。

オプション・消耗品の紹介

オプション品のご購入にあたりましては、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

オプション



プリンタケーブル　PC-CA205（4m）、PC-PRCA-01（1.5m）

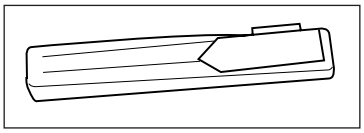
PC98-NXシリーズを含むIBM/AT互換機（DOS/V対応機）に対応したケーブルです。PC-PRCA-01はケーブル長が短いため、PC-CA205の使用をお勧めします。

チェック

- コンピュータ本体とプリンタの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンタバッファ、プリンタ切替器、プリンタ共有器などを使用すると、プリンタの機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。
- ネットワークに接続する場合は専用のネットワークケーブルが必要です。
- 対応コンピュータについての最新情報はカタログや情報サービスで提供しています。

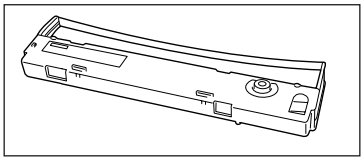
消耗品

本プリンタは、NEC純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンタ本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる仕様の消耗品を使用した場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合がありますので、NEC純正消耗品のご使用をお勧めします。



交換用インクリボン（黒）（型番PR750/850-02）

黒単色印刷のためのインクリボンです。印刷が薄くなったら交換します。プリンタお買い上げ時に本交換用インクリボン（黒）が1個添付されています。



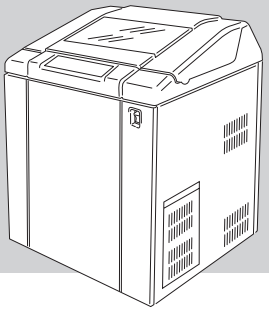
インクリボン（黒）（型番PR750/850-01）

交換用インクリボン（黒）を収納するカセットで、インクリボンが収納されています。交換用インクリボン（黒）を10回まで交換可能です。ただし、これ以上使用すると、ローラ回転不良などリボン走行の障害の原因となります。

チェック

- 1本あたり、漢字で約800万字印刷できます。
- 印刷品位を保つために、インクリボンは使用期限内にお使いください。

4章
日常の保守



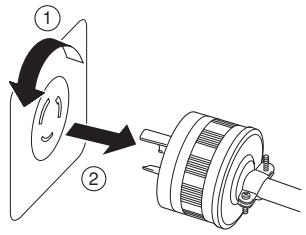
清掃

プリンタをいつも良好な状態でご使用していただくために、定期的にプリンタを清掃してください。清掃が終わりましたら、1章の「⑩ テスト印刷を行う」（34ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

⚠注意

- お手入れの際は安全のため、電源コードを必ず抜いてください。抜かないで行うと感電するおそれがあります。
- 長時間印刷した後は内部が熱くなっています。その場合は10分ほどおいて内部が冷えたことを確認してから作業を行ってください。

❶ プリンタ正面右にある電源スイッチをOFF（「○」側）にして電源コードをコンセントから抜く。

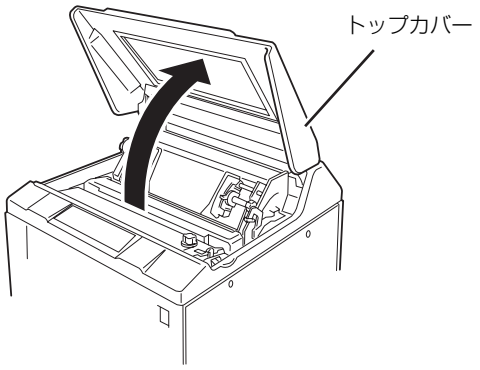


✔チェック

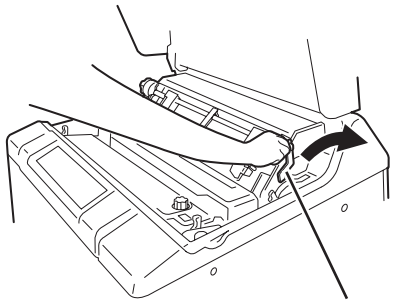
電源コードはプラグ部分を持って抜いてください。

❷ トップカバーを開ける。

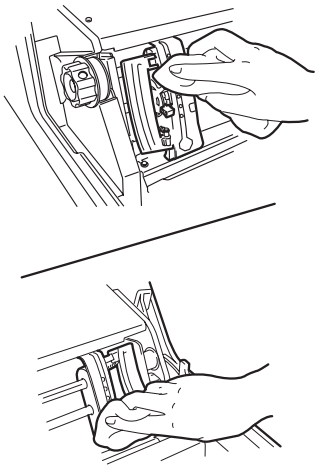
中性洗剤を水で薄めてから清潔な柔らかい布に含ませよく絞ってから、トップカバーの内側についたリボンかすの汚れをふき取ります。



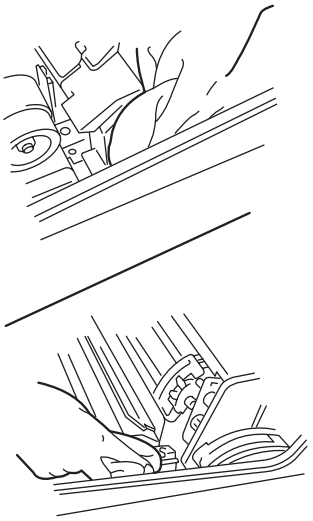
❸ プラテン開閉レバーを後ろへ押してプラテンを全開にする。



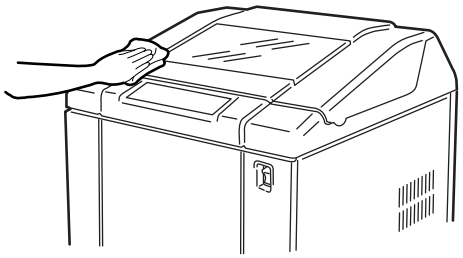
❹ 左右のトラクタ付近、用紙ジャムセンサ、紙送り部の周辺の紙紛、用紙の切れ端などを柔らかい布でふき取る。



❺ 左右のリボン走行部にたまっているリボンかす、紙紛等を柔らかい布でふき取る。



❻ 外部が汚れているときは、中性洗剤を水で薄めてから清潔な柔らかい布に含ませ、よく絞ってから汚れをふき取る。



❼ 十分に乾いたことを確かめてから、電源コードをコンセントに差し込む。

交換用インクリボン（黒）の交換

インクリボン交換 ランプが点灯しているとき、および印刷結果が薄くなったときは、次の手順でインクリボンを交換してください。

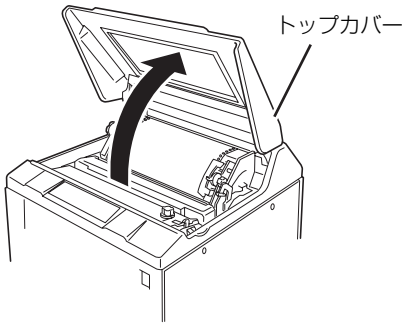
セレクト
ﾘﾎﾞﾝｺｳｶﾝｼﾞｷ

交換用インクリボン（黒）は販売店に連絡してお求めください。詳しくは3章の「オプション・消耗品の紹介」（64ページ）をご覧ください。交換が終わりましたら、1章の「10 テスト印刷を行う」（34ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

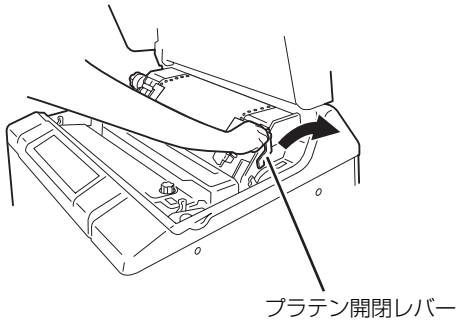
⚠ 注意

長時間印刷した後は印刷ヘッドが高温になっていますので、印刷ヘッドおよびリボンセパレータ部には手を触れないでください。その場合は、10分ほどおいて内部が冷えたことを確認してから作業を行ってください。

❶ トップカバーを開ける。



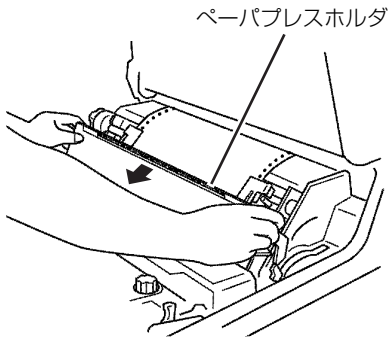
❷ プラテン開閉レバーを後ろへ押してプラテンを開ける。



❸ ペーパプレスホルダを開ける。

⚠ 注意

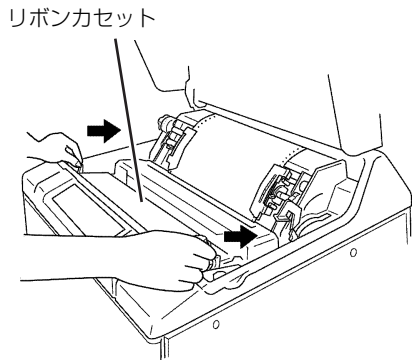
カバーの中にある機構部は、けがをするおそれがありますので取り外さないでください。



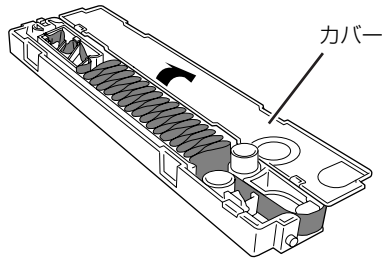
❹ **左右のセットアームを矢印の方向に押してリボンカセットを取り外す。**

チェック

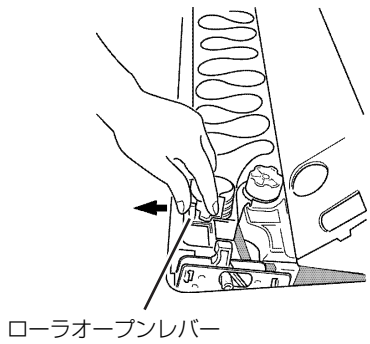
インクリボン（黒）はリボンカセットのことを示します。



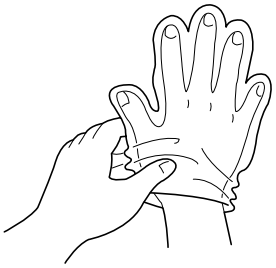
❺ **リボンカセットのカバーを開ける。**



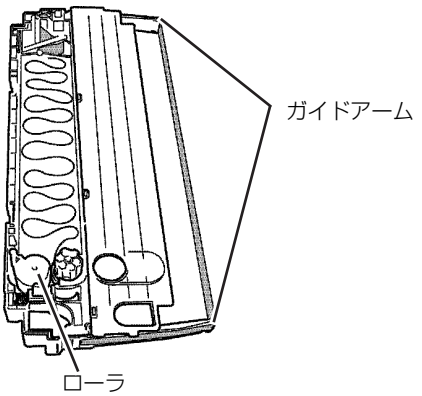
❻ **ローラオープンレバーを矢印の方向に「カチッ」とロックするまで手前に引いてローラを開いた状態にする。**



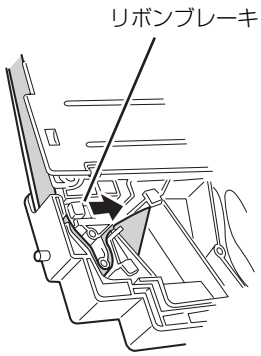
❼ **リボンに直接手を触れると手が汚れるので、交換用インクリボン（黒）に添付の手袋を着用する。**



❽ **リボンをローラと左右のガイドアームから取り外す。**



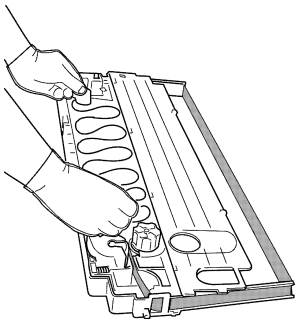
❾ **リボンブレーキを矢印の方向へ押しながらリボンを取り外す。**



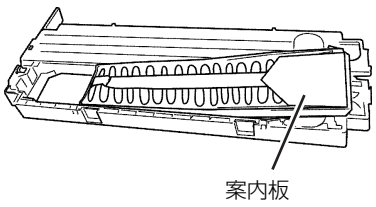
⑩ **新しい交換用インクリボン（黒）の上ぶたを外して、使用済みのリボンを取り出し、交換用インクリボン（黒）の上ぶたに移し入れる。**

✔チェック

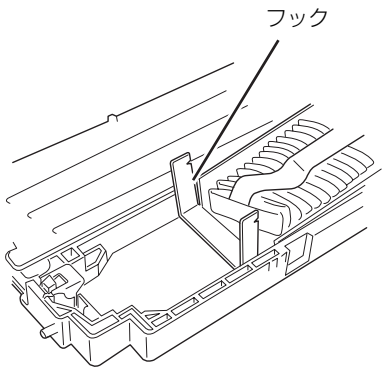
使用済みのインクリボンは、1章の「プリンタの廃棄とインクリボンの処理について」（41ページ）を参照してください。



⑪ **案内板が右側になるようにリボンカセット内に置く。**



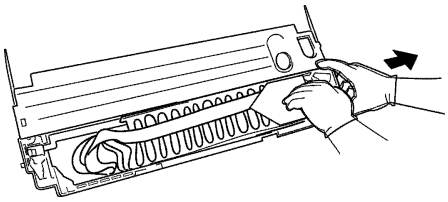
⑫ **内箱の左側にあるフックを外す。**



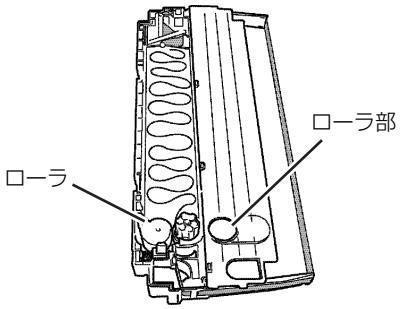
⑬ **交換用インクリボン（黒）の案内板を押さえながら、内箱を矢印方向に引き抜く。**

✔チェック

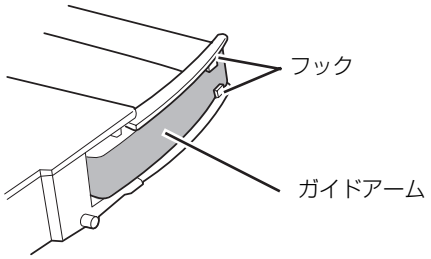
内箱を引き抜いたら、案内板を取り外してください。



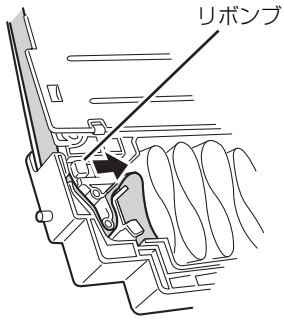
⑭ **ローラとローラ部にリボンを通す。**



⑮ **左右のガイドアームにリボンをかける。このときガイドアーム先端のフックに正しくかける。**

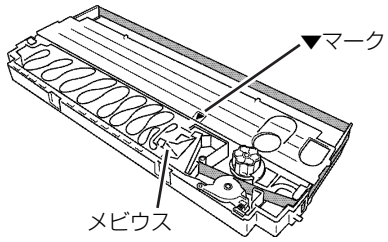


⑯ **リボンブレーキを矢印方向に押しながら、リボンを通す。**

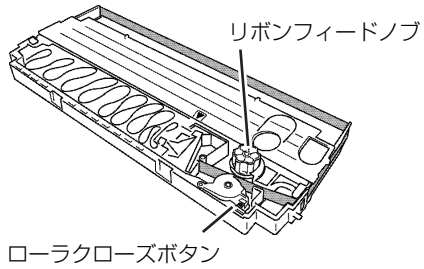


⑰ **メビウスをカバーにある▼マークまで移動する。**

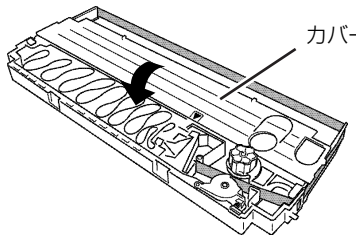
このとき倒れているリボンがあったら起こし、きちんとセットされていることを確認してください。



⑱ **ローラクローズボタンを押してローラを閉じ、リボンフィードノブを時計回りに回し、リボンのたるみを取る。**



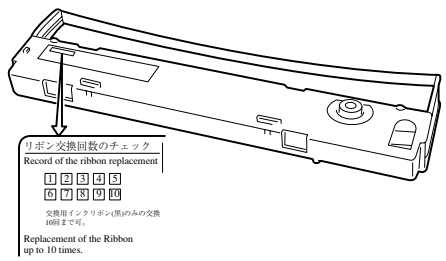
⑲ **カバーを閉じる。**



⑳ **リボン交換回数のチェックラベルの数字をひとつ消す。**

✔チェック

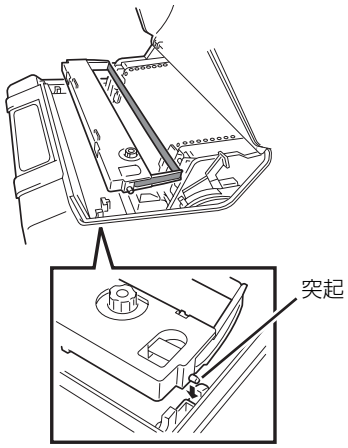
交換用インクリボン（黒）の交換は10回までです。これ以上使用するとローラ回転不良などのリボン走行の障害の原因となります。



㉑ **リボンカセットの左右両側にある突起を矢印のように溝に入れてセットする。**

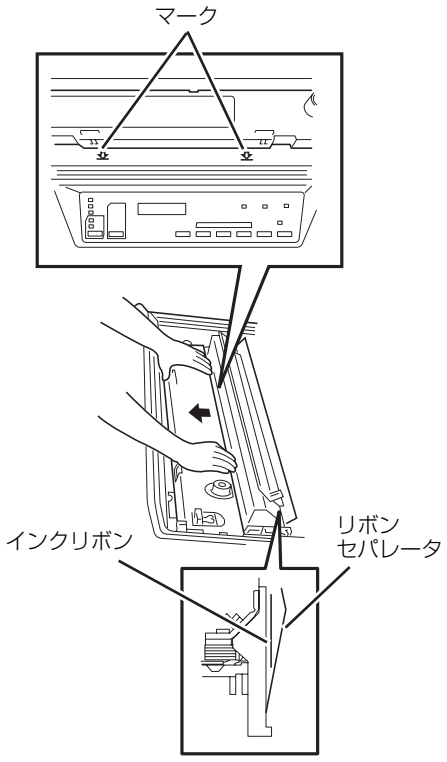
✔チェック

左右のガイドアームが内側に倒れて装置にセットしづらい場合は、ガイドアームを少し開いてからセットしてください。



㉒ **リボンカセットを「カチッ」とロックするまで手前に引く。**

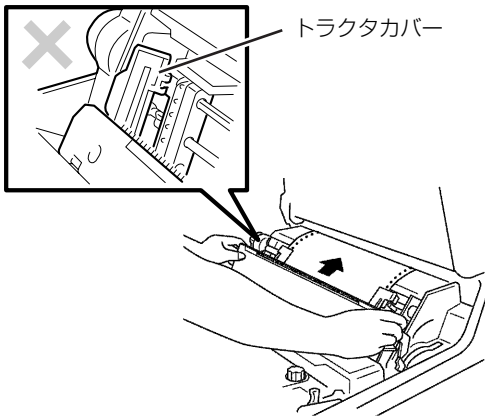
リボンがリボンセパレータの手前側に入っていること、およびマークが左右とも隠れていることを確認してください。



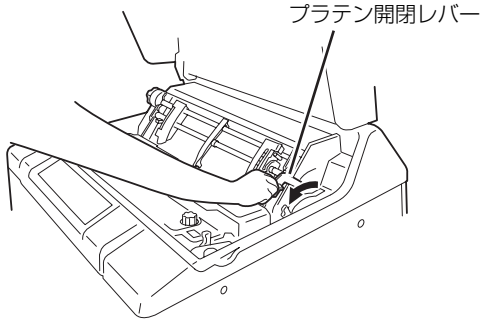
㉓ **ペーパプレスホルダを閉じる。**

✔チェック

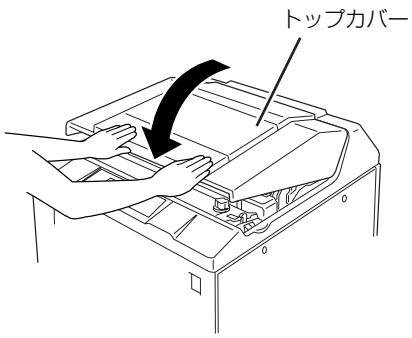
このとき、トラクタカバーが開いていると、ペーパプレスホルダは閉じません。必ずトラクタカバーを閉じてください。



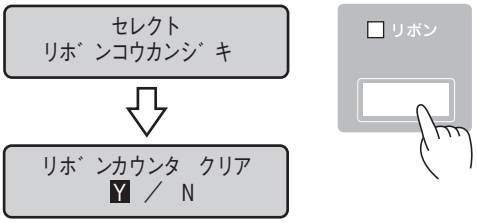
㉔ **プラテン開閉レバーを手前に引いて、プラテンを閉じる。**



㉕ **トップカバーを閉じる。**



㉖ **［インクリボン交換］スイッチを押す。**



㉗ **［インクリボン交換］スイッチを押す。**

プリンタはカウンタをクリアしてセレクト状態に戻ります。

㉘ **テスト印刷を実行する。**

1章の「10 テスト印刷を行う」（34ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

✔チェック

印刷品位を保つために、交換用インクリボン（黒）は使用期限内にお使いください。

インクリボン（黒）の交換

インクリボン（黒）の交換回数のチェックラベルをチェックし、交換回数が10回を超えた場合は、次の手順でインクリボン（黒）を交換してください。

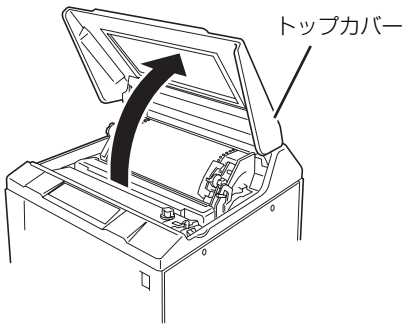
セレクト
ﾘﾎﾞﾝｺｳｶﾝｼﾞｷ

交換が終わったら、1章の「⑩ テスト印刷を行う」（34ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

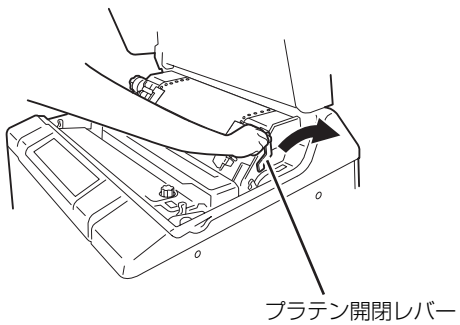
⚠注意

長時間印刷した後は印刷ヘッド部が高温になっていますので、印刷ヘッド部およびリボンセパレータ部には手を触れないでください。

❶ トップカバーを開ける。



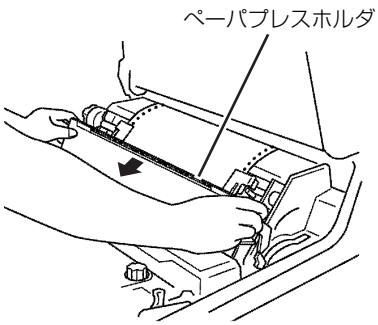
❷ プラテン開閉レバーを後ろへ押してプラテンを開ける。



❸ ペーパプレスホルダを開ける。

⚠注意

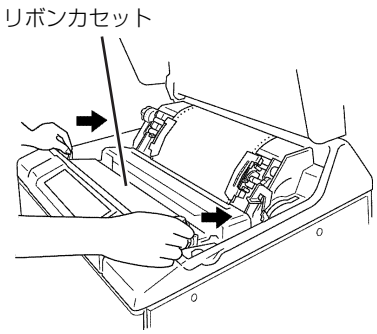
カバーの中にある機構部は、けがをするおそれがありますので取り外さないでください。



❹ **セットアームを押して使用済みのリボンカセットを取り外す。**

チェック

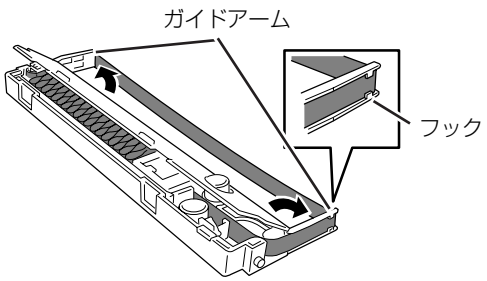
使用済みのインクリボン（黒）については、第1章の「プリンタの廃棄とインクリボンの処理について」（43ページ）を参照してください。



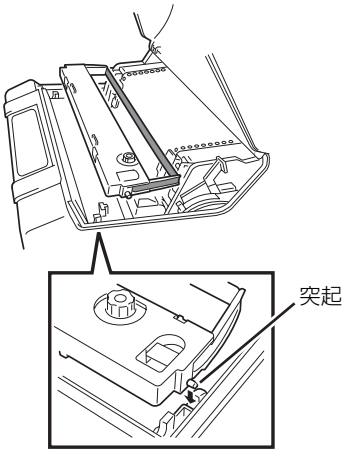
❺ **新しいリボンカセットの左右のガイドアームを広げる。このとき、リボンをガイドアーム先端のフックに正しくかける。**

チェック

リボンに直接手を触れると手が汚れますので、リボンカセットに添付の手袋を着用してください。



❻ **リボンカセットの左右両側にある突起を矢印のように溝に入れてセットする。**

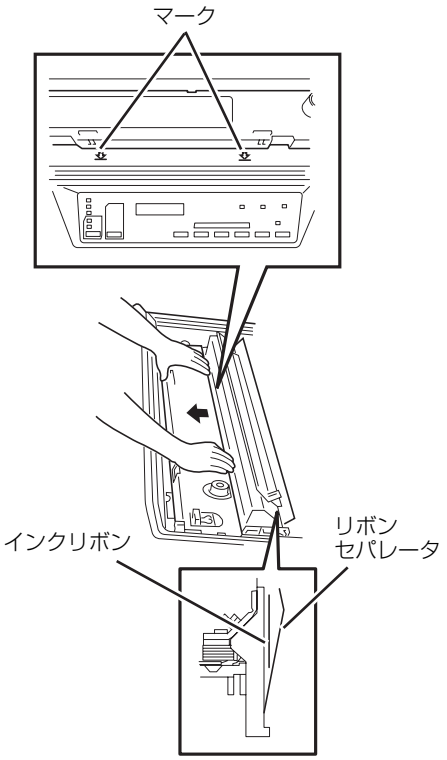


チェック

左右のガイドアームが内側に倒れて装置にセットしづらい場合は、ガイドアームを少し開いてからセットしてください。

❼ **リボンカセットを「カチッ」とロックするまで手前に引く。**

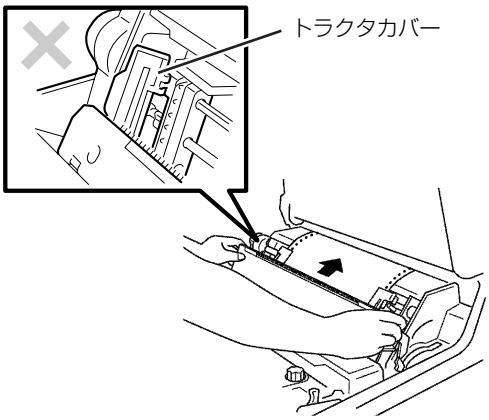
リボンがリボンセパレータの手前側に入っていること、およびマークが左右とも隠れていることを確認します。



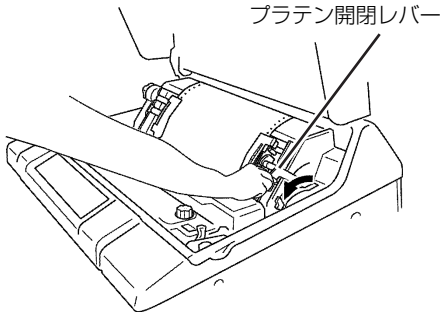
❽ **ペーパプレスホルダを閉じる。**

チェック

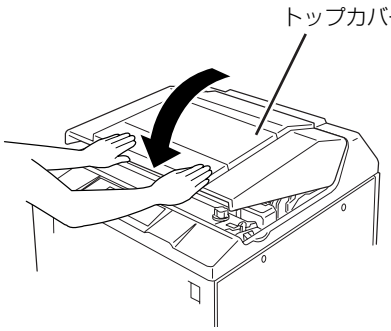
このとき、トラクタカバーが開いていると、ペーパプレスホルダは閉じません。必ずトラクタカバーを閉じてください。



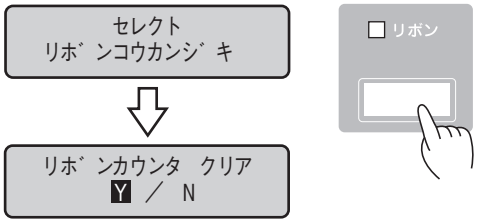
❾ **プラテン開閉レバーを手前に引いて、プラテンを閉じる。**



❿ **トップカバーを閉じる。**



⓫ **［インクリボン交換］スイッチを押す。**



⓬ **［インクリボン交換］スイッチを押す。**

プリンタはカウンタをクリアしてセレクト状態に戻ります。

⓭ **テスト印刷を実行する。**

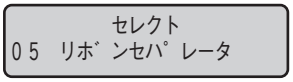
1章の「10　テスト印刷を行う」（34ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

チェック

印刷品位を保つために、インクリボン（黒）は使用期限内にお使いください。

リボンセパレータの点検

リボンセパレータが摩耗していると、印刷結果に悪影響が出ます。操作パネルの液晶ディスプレイに「05　リボンセパレータ」が表示されたらリボンセパレータの推奨交換周期（交換の目安）です。次の手順でリボンセパレータを点検し、摩耗していたらお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に連絡し、交換を依頼してください。

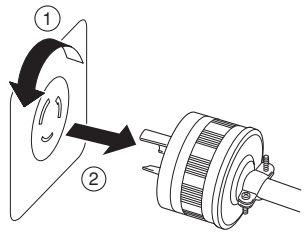


液晶ディスプレイに表示されない場合でも使用環境によっては摩耗している場合があります。

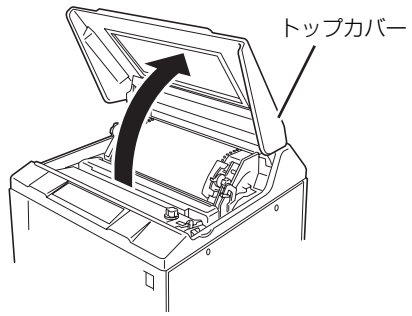
⚠注意

長時間印刷した後は印刷ハンマが高温になっていますので、印刷ヘッド部およびリボンセパレータ部には手を触れないでください。その場合は、10分ほどおいて内部が冷えたことを確認してから作業を行ってください。

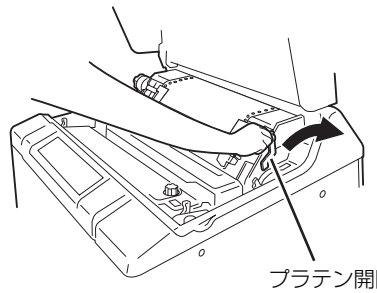
❶ プリンタ正面右の電源スイッチをOFF（「○側」）にし、電源コードをコンセントから抜く。



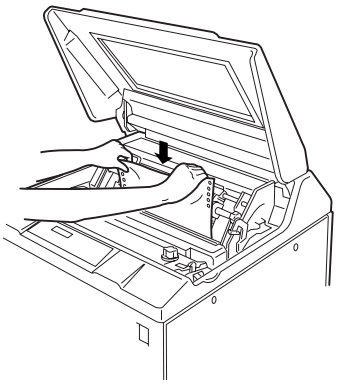
❷ トップカバーを開ける。



❸ プラテン開閉レバーを後へ押してプラテンを全開にする。

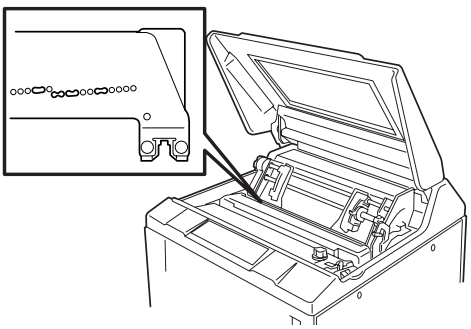


❹ 用紙を取り外す。



❺ リボンセパレータ（インクリボンをはさんでいる薄い鉄板）の穴が摩耗していないか目で確認する。

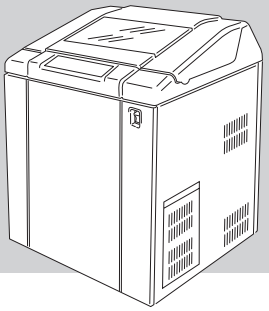
摩耗が見られたらお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に交換を依頼してください。



✔チェック

リボンセパレータの推奨交換周期（交換の目安）は、約12,000カウントが目安です。

5章
故障かな？と思ったら



ここでは「故障かな？」と思ったときの原因と処置方法を説明します。「故障かな？」と思わせる症状を「印刷がおかしい」、「アラーム表示が出ている」、「紙づまり」に分けて説明しています。ソフトウェアの不具合に関してはプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルを参照してください。

印刷がおかしいときは

プリンタが思うように動作しなかったり印刷の状態がよくなかったりしたときは、次の表でプリンタの症状にあてはまる項目を探し、確認、処置してください。
処置が終わりましたら必要に応じ、「⑩　テスト印刷を行う」(34ページ) に従ってプリンタが正しく動作することを確認してください。

症状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない。	**電源コードがコンセントから抜けていませんか。** →　電源スイッチをOFFにしてから、電源コードのプラグを確実に差し込んでください。
	電源スイッチがOFFになっていませんか。 →　電源スイッチをONにしてください。
	コンセントに電気がきていますか。 →　コンセントにスイッチがある場合は、そのスイッチをONにしてください。（スイッチで確認できない場合は、他の電気製品の電源プラグを差し込んで動作するかどうかを確認してください。）
印刷動作をしない。	**トップカバーが開いていませんか。** →　トップカバーを閉じてください。
	印刷可ランプが消えていませんか。 →　［印刷可］スイッチを押してセレクト状態（印刷可ランプ点灯）にしてください。
	用紙ランプが点灯していませんか。 →　用紙を正しくセット・吸入し、［印刷可］スイッチを押してください。

症状	原因と処理方法
印刷動作をしない。（続き）	**プリンタケーブルが外れていませんか。** →　プリンタとコンピュータをプリンタケーブルで正しく接続してください。
	アラームランプが点灯していませんか。 →　いったん電源をOFFにして再度電源をONにしてください。それでも復旧しない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口へ連絡してください。
印刷が薄い。	**インクリボンは正しくセットされていますか。** →　1章の「交換用インクリボン（黒）を取り付ける」（23ページ）を参照して、正しくセットし直してください。
	用紙厚セットレバーの位置は適切ですか。 →　用紙の厚さに合わせて、用紙厚セットレバーを適切な位置に動かしてください（1章の「用紙厚設定の目安」（21ページ）参照）。
	インクリボンの寿命ではありませんか。 →　4章の「交換用インクリボン（黒）の交換」（69ページ）を参照して、新しいインクリボンと交換してください。
	ローラが確実に閉じていますか。 →　ローラクローズボタンを押してローラを確実に閉じてください。
印刷文字の横一列のある部分だけ欠ける。	**インクリボンは正しくセットされていますか。** →　正しくセットし直してください。それでも直らないときは、印刷ハンマが損傷している可能性がありますのでお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口へ連絡してください。
正しく印刷されない。	**OSまたはアプリケーションソフトウェアのプリンタ設定は正しく行われていますか。** →　ソフトウェアマニュアルおよびオンラインマニュアルを参照して、プリンタ設定を正しく設定し直してください。
	メニューモード内の用紙長を変更しましたか。 →　2章の「メニューモード機能」（51ページ）を参照して、メニューモード内の用紙長設定を元に戻してください。
	トラクタの位置を変えていませんか。 →　トラクタを元の位置に戻してください。
印刷動作が一瞬停止する。	**これは故障ではありません。印刷密度および印刷パターンにより印刷動作が一瞬停止することがあります。**
インクリボンが外れる。	**インクリボンは正しくセットされていますか。** →　1章の「交換用インクリボン（黒）を取り付ける」（23ページ）を参照して、正しくセットし直してください。
用紙がプリンタ内でつまってしまう。	**用紙厚、サイズ等が規格内ですか。** →　付録の「用紙規格」（93ページ）を参照して、用紙規格を確認してください。
	印刷された用紙が正しく折りたたまれていますか。 →　正しく折りたたまれるように用紙の位置と、ミシン目の折り方向を直してください。
	用紙厚セットレバーが正しい位置にセットされていますか。 →　用紙厚セットレバーを正しい位置にセットしてください（1章の「用紙厚設定の目安」（21ページ）参照）。
	用紙の切れ端等が印刷機構部内に残っていませんか。 →　「紙づまりのときは」（83ページ）を参照して、紙づまりの処置を行ってください。

症状	原因と処理方法
用紙がまっすぐに入っていかない。	**用紙厚、サイズ等が規格内ですか。** →　付録の「用紙規格」(93ページ) を参照して、用紙規格を確認してください。
	トラクタのトラクタピンに用紙の穴が正しくかみ合っていますか。 →　連続紙の穴をトラクタピンに正しくかみ合わせてください。
	連続紙が水平にセットされていますか。 →　連続紙を水平にセットし直してください。

リボン交換表示

インクリボンの交換時期になると、インクリボン交換ランプが点灯します。処置方法は次のとおりです。

液晶ディスプレイ	インクリボン交換ランプ	内容と処置方法
セレクト リボンコウカンジキ	点灯	**インクリボンの交換時期です。** →　インクリボンの交換を行ってください。(4章の「交換用インクリボン（黒）の交換」(69ページ))

エラー表示

プリンタに何らかのエラーが発生して印刷できない状態になると、アラームランプが点灯すると同時に液晶ディスプレイにエラーの内容が表示されます。本プリンタのエラー表示とその意味、および処置方法は次のとおりです。

液晶ディスプレイ	内　容	処置方法
ペーパージャム	用紙がつまっています。	つまった用紙をプリンタから取り除いてから強制リセットを行ってください（「紙づまりのときは」(83ページ)。）
リボンジャム	リボンが巻き取られていません。	リボン収納部でリボンがつまっていないか、用紙厚セットレバーの設定が用紙に対して狭すぎないか確認してください（1章の「用紙厚設定の目安」(21ページ) 参照)。もしリボンがつまっていればセットし直し、用紙厚セットレバーの位置が狭すぎれば適切な値に合わせてください。 ローラが開いていたら、正しくセットしてから強制リセット (2章の「強制リセット」(50ページ)) または用紙厚セットレバー／プラテン開閉レバーの開閉（MSW2-8設定による）を行ってください。

上記以外のメッセージが表示され、アラームランプが点灯したときは、一度電源スイッチをOFFにしてからもう一度電源スイッチをON（「｜」側）にしてください。それでも回復しないときは、本体の故障が考えられますので、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

有寿命部品表示

有寿命部品の推奨交換周期（交換の目安）になると、液晶ディスプレイに有寿命部品が表示されます。処置方法は次のとおりです。有寿命部品が原因で故障した場合の交換費用は有償となります。

液晶ディスプレイ	内　容	処置方法
01　トラクタL	トラクタの推奨交換周期（交換の目安）です。	この表示が現れても、印刷を続けることはできます。 ただし、プリンタ内部の部品劣化により装置故障を起こすおそれがあります。 予防保全のために交換を希望される場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に依頼してください。
02　トラクタR		
03　ハンマキコウブ	ハンマキコウブの推奨交換周期（交換の目安）です。	
05　リボンセパレータ	リボンセパレータの推奨交換周期（交換の目安）です。	
08　タイミングベルト265	タイミングベルトの推奨交換周期（交換の目安）です。	
09　タイミングベルト140		

紙づまりのときは

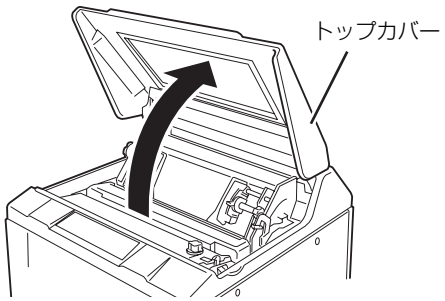
印刷機構部で用紙がつまった場合、以下のような作業で用紙を取り除いてください。印刷機構部または用紙挿入部にラベル紙が貼り付いた場合はお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に連絡してください。

ペ゛ーパ゛ージ゛ャム

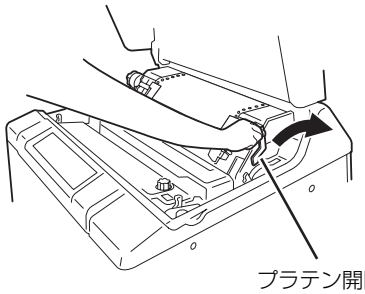
⚠注意

- ペーパプレスホルダの中には機構部があります。危険ですから取り外さないでください。
- 長時間印刷した後は内部が熱くなっています。その場合は10分ほどおいてから作業を行ってください。

❶ トップカバーを開ける。



❷ プラテン開閉レバーを後ろへ押してプラテンを全開にする。



✔チェック

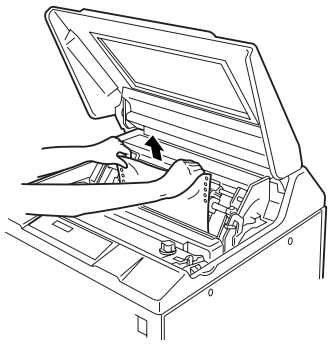
次の項目について点検してください。

- 用紙厚セットレバーの設定値は適切ですか？（1章の「用紙厚設定の目安」（21ページ）参照）
- 用紙の張力は適切ですか？（1章の「ペーパスタッカ部の設定をする」（18ページ）参照）
- 用紙は正しく置かれていますか？（1章の「用紙のセット方法」（29ページ）参照）
- 用紙は規格どおりのものを使用していますか？（付録の「用紙規格」（93ページ）参照）
  規格外の用紙は用紙ジャムの原因となります。
- 用紙に湿気がありませんか？
  湿度の高い場所に保管された用紙をそのまま使用すると、用紙ジャムが起きやすくなります。
- 直射日光などの強い光がセンサーにあたると、誤って用紙ジャムを検出しますので、ブラインドなどで直射日光をさえぎるようにしてください。

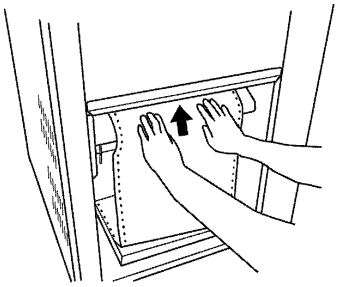
❸ **印刷機構部および用紙走行路につまった用紙を取り出す。**

✔チェック

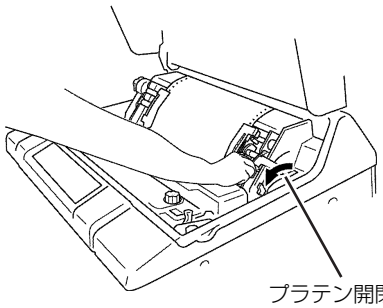
用紙ジャムセンサ（左側トラクタ下側）の検出面が汚れているときは、ガーゼで汚れを拭きとってください。



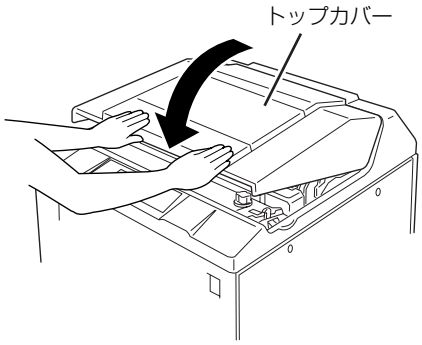
❹ **プリンタに用紙をセットし、用紙の位置を調整する（「用紙のセット方法」（29ページ）参照）。**



❺ **プラテン開閉レバーを手前に引いてプラテンを閉じる。**



❻ **トップカバーを閉じる。**



❼ **強制リセットを行う（2章の「強制リセット」（50ページ）参照）。**

液晶ディスプレイに“セレクト”が表示されたことを確認してください。

インクリボンづまりのときは

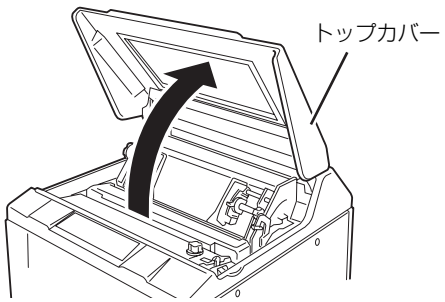
インクリボンがつまった場合、以下のような作業でインクリボンづまりを修復してください。

リボ゛ンジ゛ャム

チェック

インクリボンのインクで手が汚れることがあります。作業の際は手が汚れないように手袋を着用してください。

❶ トップカバーを開け、リボンカセットのカバーを開ける。

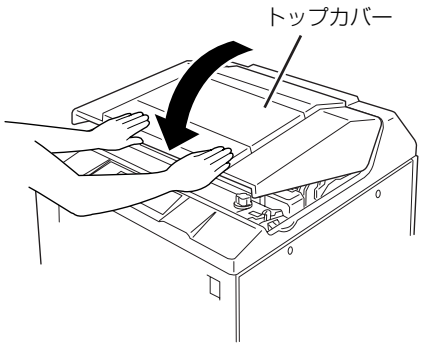


チェック

次の項目について点検してください。

- リボンカセットの中のローラが閉じていることを確認してください。
- インクリボンが正しくセットされていることを確認してください。
  （4章の「交換用インクリボン（黒）の交換」（69ページ）参照）
- インクリボンが折れたり、たるんだり、ローラに巻き付いたりしている場合は正しくセットし直してください。
  （4章の「交換用インクリボン（黒）の交換」（69ページ）参照）
- インクリボンが破れていたり、古くなっていたら、インクリボンを交換してください。
  （4章の「交換用インクリボン（黒）の交換」（69ページ）参照）
- リボンセパレータの点検を行ってください。
  （4章の「リボンセパレータの点検」（77ページ）参照）

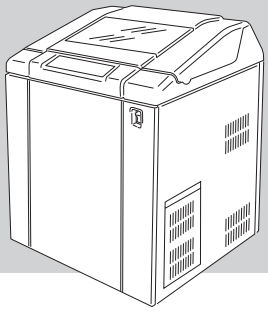
❷ リボンカセットのカバーを閉じ、トップカバーを閉じる。



❸ 強制リセットを行う（2章の「強制リセット」（50ページ）参照）。

液晶ディスプレイに“セレクト”が表示されたことを確認してください。

付録



ここでは、MultiImpact 750/850Aの仕様、印刷範囲、制御コード、文字コードその他の技術情報について説明します。

仕様

印刷方式　　ドットインパクトシャトルライン方式

印刷ヘッドピン数　　288ピン

印刷ヘッドピン径　　φ0.2mm

解像度　　縦　6.6ドット／mm（168ドット／インチ）
横　6.3ドット／mm（160ドット／インチ）*

*　高品位印刷の場合。印刷モード選択により、標準印刷の場合は4.2ドット／mm（107ドット／インチ）、高速印刷の場合は3.1ドット／mm（80ドット／インチ）となります。

印刷桁数と印刷速度

文字種			印刷桁数／行	標準印刷速度／分				高品位印刷速度／分				高速印刷速度／分			
				通常濃度	濃度１	濃度２	濃度３	通常濃度	濃度１	濃度２	濃度３	通常濃度	濃度１	濃度２	濃度３
ANK 英数カナ		バイカHD	136字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
		コンデンス*1	233字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
		エリート*1	163字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
		プロポーショナル*2	最大362字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
CG グラフィック		バイカHD	136字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
		コンデンス*1	233字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
		エリート*1	163字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
		プロポーショナル	136字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
漢字*3 （全角）		3.81mm (10.8P相当)、3.81mm (3/20インチ)幅	90字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
		3.81mm (10.8P相当)、5.08mm (1/5インチ)幅	68字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
		3.35mm (9.5P相当)、4.23mm (1/6インチ)幅	81字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
		3.35mm (9.5P相当)、3.38mm (2/15インチ) 幅*4	102字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
		2.47mm (7P相当)、2.54mm (1/10インチ)幅*4	136字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
		4.23mm (12P相当)、4.23mm (1/6インチ)幅	81字	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
グラフィック	8ビット*5	コピーモード	1088ドット	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
		ネイティブモード	2176ドット	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
	16ビット*6		2176ドット	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行
	24ビット*7		2176ドット	850行	850行	680行	340行	650行	650行	520行	260行	1000行	1000行	800行	400行

*1　136 文字／行のときの印刷速度です。

*2　文字によって変わります。

*3　半角文字の印刷桁数／行と印刷速度／分は、それぞれ全角文字の 2 倍の数値となります。

*4　90 文字／行のときの印刷速度です。印刷密度および印刷パターンにより、印刷速度が遅くなる場合があります。

*5　縦ドット数が 8 ピット／字のとき。

*6　縦ドット数が 16 ピット／字のとき。

*7　縦ドット数が 24 ピット／字のとき。

混在印刷	すべて可能
改行幅	4.23mm（1/6インチ）、3.18mm（1/8インチ）および 25.4n/120mm（n/120インチ）（ただしn ＝ 0～99）
改行時間	約15ms（4.23 mm（28/168インチ）改行時）
改行方向	順方向および逆方向
最小改行量	0.151mm（1/168インチ）
用紙送り方式	トラクタフィーダ（プルトラクタ）
ペーパスタッカ容量	約2000枚（坪量64g/m^2（連量55kg）用紙）
用紙厚調整	手動15段（用紙厚セットレバーによる）
インタフェース	IEEE1284準拠双方向パラレル イーサネット（100BASE-TX/10BASE-T）
使用コード	◇8ビットコード ◇7ビットコード ◇漢字コード（JIS C6226-1978） ◇漢字コード（JIS X0208-1983） ◇漢字コード（JIS X0208-1990）
環境条件＊1	動作温度：5～38℃　　動作湿度：10～85%（結露しないこと） 保管温度：-25～60℃　　保管湿度：0～90%（結露しないこと） 塵埃量、ガス成分：一般事務室程度
電源	100V±10%、50/60Hz
定格電流	22A
消費電力	動作時最大：　2115W（2200VA） 動作時平均：　1130W（1190VA） 待機時：　195W（200VA）以下 電源スイッチOFF時：0W（電源スイッチはメカニカルスイッチを使用しています）
騒音	動作時：約58dB以下（A補正）（測定はISO7779による） 待機時：約50dB以下
冷却方式	ファン強制空冷方式
接地方式	D種接地（旧第三種）

＊1　温湿度条件は、使用する用紙によって若干異なる場合があります。

所要コンセント　　定格250V、30A
接地形三極引っ掛け型接続器（NEMA L6-30 準拠）

寸法　　横幅750mm×奥行815mm×高さ1070mm

質量　　約155kg

有寿命部品（有償）*1

部品名	推奨交換周期（交換の目安） ラインカウント数
トラクタL	24,000
トラクタR	24,000
ハンマキコウブ	36,000
リボンセパレータ	12,000
タイミングベルト265	24,000
タイミングベルト140	24,000

リボン寿命　　漢字　約800万字

電源寿命　　5年間（条件：通電時間480h/月）または約30,000hで到達の早い方

装置寿命　　5年間またはラインカウンタ値で約468,000カウントで到達の早い方

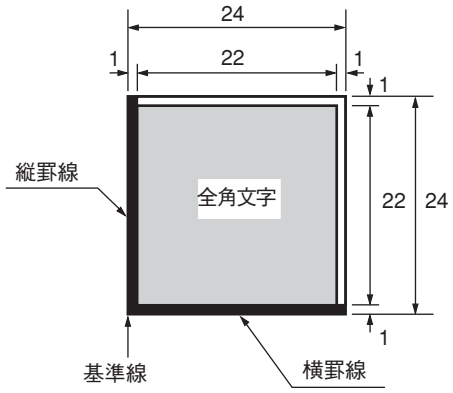
対応OS　　「ソフトウェアマニュアル」参照

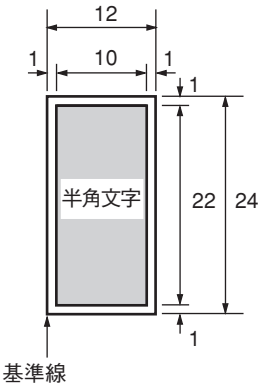
*1　有寿命部品の推奨交換周期（交換の目安）は、使用環境や使用状況により、多少異なる場合があります。

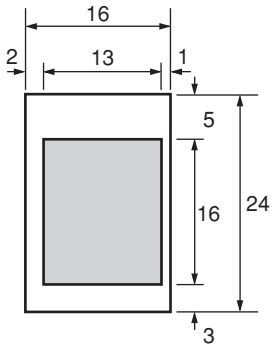
文字構造（基本ドット構成）

備考：網部分は印刷文字領域を示します。

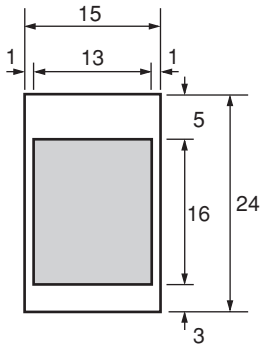
標　準



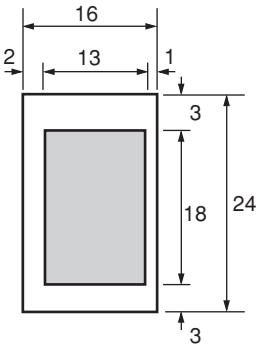




パイカ HD フォント

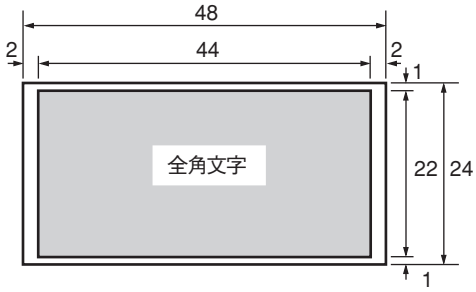


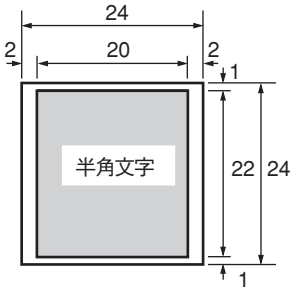
エリートフォント

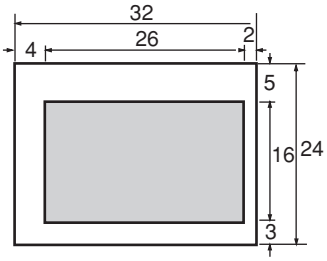


OCR-B 相当フォント

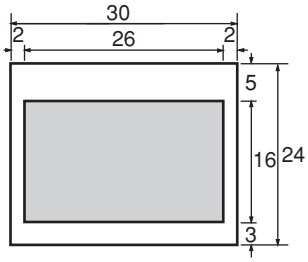
横 2 倍



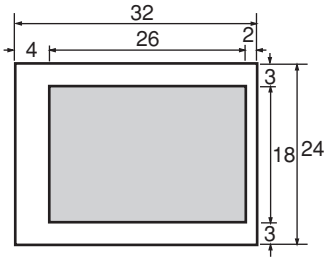




パイカHDフォント

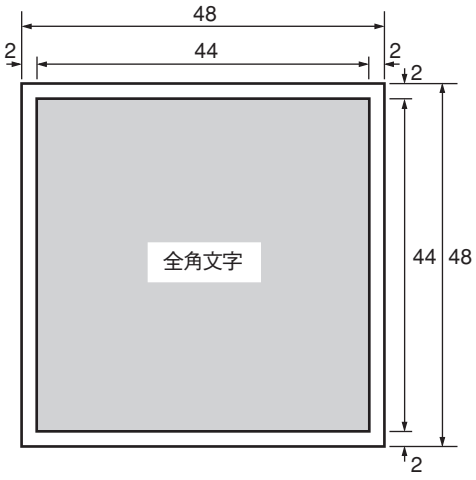


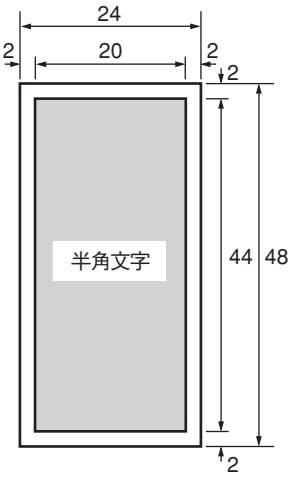
エリートフォント



OCR-B 相当フォント

縦横 2 倍





備考：網部分は印刷文字領域を示します。

用紙規格

用紙サイズ

用紙幅：88.9～406.4mm（3.5～16インチ）
折りたたみ長さ：101.6～355.6mm（4～14インチ）

用紙の種類と複写枚数

使用できる連続紙の種類および最大の複写枚数を次に示します。

用紙の種類	坪量 g/m^2（連量 kg）	複写枚数（オリジナルを含む）
一般用紙	64～127.9（55～110）	1
感圧紙	34.9～39.5（30～34）	8
	52（45）	3
裏カーボン紙	34.9～39.5（30～34）	8
	52（45）	3
ワンタイムカーボン紙	34.9（30）	4
	39.5（34）	4
	52（45）	3

✔チェック

- 最上層紙（1枚目）はインクリボンのインクを吸収し、かつインクのにじみの少ないものを使用してください。
- 段差用紙、最上下端用紙を除く、中間層紙で、0.1mm以下にしてください。
- 同一ページ内で用紙厚が違うところを印刷すると、印刷品質が悪くなるときがあります。
- 用紙上にしわや折り目、破れなどがある用紙は使用しないでください。印刷障害が発生する場合があります。

単位：g/m^2　／下段カッコ内（kg）

複写枚数	1	2	3	4	5	6	7	8
1枚目	64～127.9 (55～110)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
2枚目		50.0～81.4 (43～70)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
3枚目			39.5～50 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
4枚目				39.5～50 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
5枚目					39.5～50 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
6枚目						39.5～50 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
7枚目							39.5～50 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)
8枚目								39.5～50 (34～43)

* 下段のカッコ内の数値は連量であり、参考データです（「連量」とは、一般的に四六判（788 x 1091mm）の用紙 1000 枚あたりの質量（kg）です）。

✔チェック

- 複写紙の坪量は、製紙メーカーによって異なる場合がありますが、その場合は上の数値に近いものを選んでください。
- 複写用紙の途中に厚紙を挿入した場合は、それより下層の用紙への印刷濃度は薄くなりますので注意してください。
- 2枚複写用紙は用紙ジャムが発生する場合があるので、2枚目は1枚目より厚い用紙をお使いください。

用紙設計に関する注意事項

連続紙に関する注意

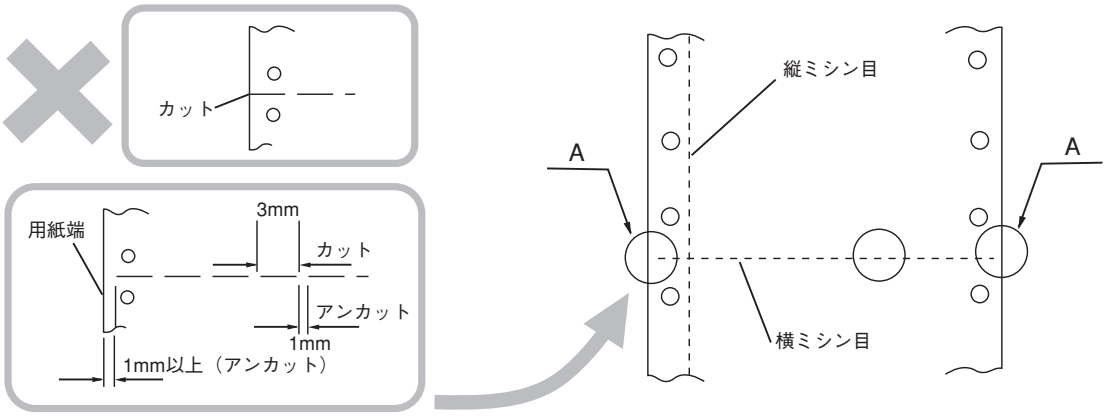
普通紙について

ミシン目の入れ方によって、用紙走行経路に悪影響を与える場合がありますので、次の事項に注意してください。

チェック

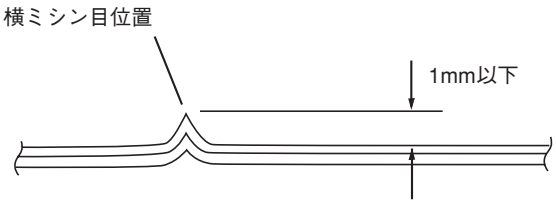
- ミシン目を強く入れすぎたり、ミシン目のアンカットとカットの比が大きすぎると用紙取り扱い時および用紙走行時に、ミシン目から破れて用紙走行障害が発生することがあります。
- 縦、横ミシン目の寸法は、1部紙および複写用紙ともにアンカットとカットの比を約 1:3にしてください。

注：ミシン目の両端部については、下の寸法を守ってください。



複写式の連続紙について

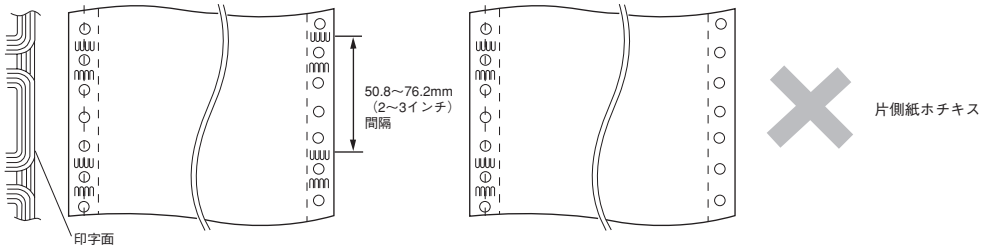
複写式の連続紙はフィードホール付近で必ずとじてください。また、とじられた複写用紙の横ミシン目部に盛り上がりがあると、用紙づまりや故障の原因となりますので、用紙を平らな場所に広げたときに横ミシン目部の盛り上がり量が1mm以下になるように加工してください。



用紙のとじ方について

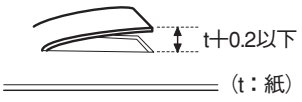
用紙のとじ方はいろいろありますが、次の3種類をお勧めします。

1 両側紙ホチキス

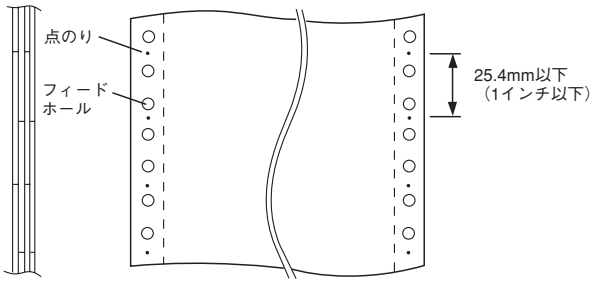


チェック

- 片側紙ホチキスや片側とじは使用できません。
- ミシン目の後 12.7mm（1/2 インチ）以内の紙ホチキスは避けてください。
- 紙ホチキスの加工部は右の図のようにしてください。
- 印刷面には紙ホチキスは出ないようにしてください。



2 両側点のり（千鳥）



チェック

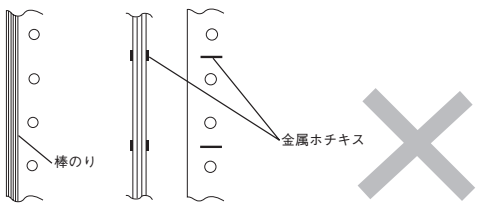
両側点のり方式は、保管状態にもよりますが、経時変化が激しく、のりの硬化による凸凹状のしわが発生することがあります。この状態で使用すると、用紙走行不良が発生することがありますので、用紙の加工方法および保管方法に十分ご注意ください。

3 紙ホチキスと点のりの併用

一方を紙ホチキス、他方を点のりを用いる。用紙のとじ方には、上記のほかに次の方法がありますが、それぞれの理由により使用はできません。

① 棒のり
用紙のしなやかさが失われ、固くなって用紙づまりの原因になり、動作を保証できません。

② 金属ホチキス
用紙走行経路にひっかかり、用紙づまりおよび故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

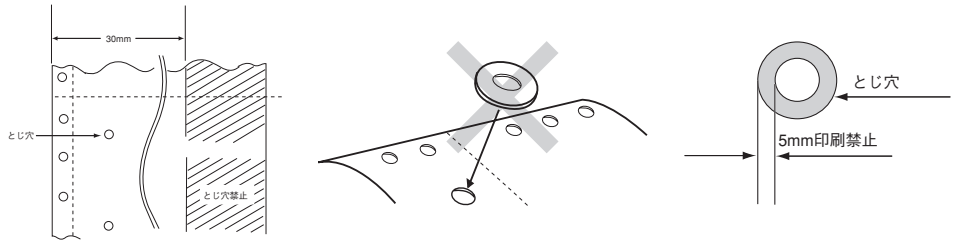


用紙のとじ穴について

用紙のとじ穴については、次の事項に注意してください。

チェック

- 用紙の左側から30mm（1.2インチ）を越える位置にとじ穴を配置しないでください。用紙左側から30mmを越える位置にとじ穴加工をした用紙を使用した場合、とじ穴を用紙切れと誤検出するおそれがあります。
- とじ穴を補強した用紙は使用しないでください。
- とじ穴の周囲5mm 以内には、印刷しないでください。リボンフィード障害、印刷ヘッドおよびその周辺に障害が発生する場合があります。

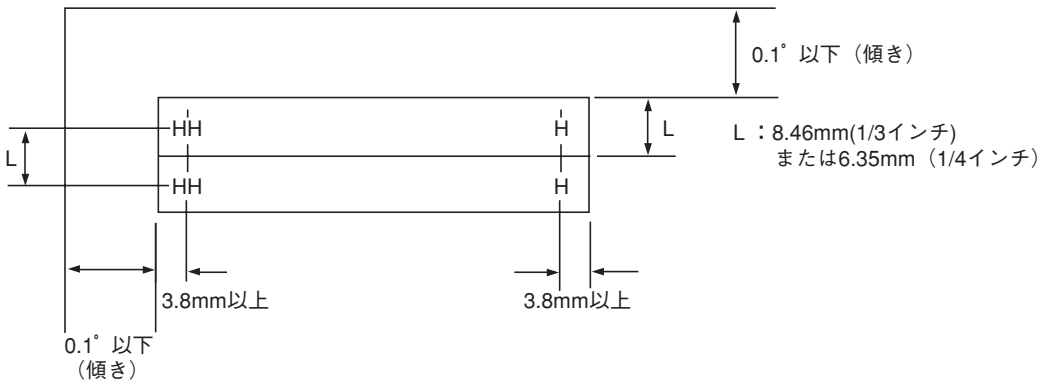


縦、横罫線の印刷（プレ印刷）

プリンタには改行時の誤差と、湿度による用紙の伸縮がありますので、以下の条件に合うように縦、横罫線の印刷（プレ印刷）を行ってください。

チェック

- 横罫線の印刷は原則として8.46mm（1/3インチ）または6.35mm（1/4インチ）間隔とし、文字は行間の中心に印刷するようにしてください。
- 横罫線の傾きは、用紙の上端を基準として0.1°以下、縦罫線の傾きは用紙の左端を基準として0.1°以下とします。
- 縦罫線は文字の中心から3.8mm（0.15インチ）以上離してください。
- 行間を4.23mm（1/6インチ）にした場合は、文字が横罫線にかかる場合があります。



タック紙（ラベルシール）に関する注意

このプリンタに使用できるタック紙の寸法は、一般の連続紙と同じです。タック紙を使用する場合は、次の注意事項を守ってください。これらの条件を満たさない用紙を使用すると、装置の用紙走行経路に貼り付いて、用紙が送れなくなることがあります。

タック紙の紙質と紙厚

名称	紙質	紙厚	
ラベル	上質紙	0.1mm以下	坪量81.4g/m^2（連量70kg）以下に相当する。
台紙	グラシン紙またはクラフト紙	0.1mm以下	

チェック

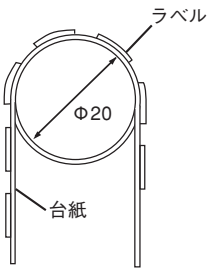
- ラベルと台紙の厚さの合計を0.2mm以下にしてください。
- ラベルと台紙の紙厚の組み合わせは、ラベル≦台紙となるようにしてください。

タック紙の寸法

使用できるタック紙の寸法は、一般用紙と同じです。

ラベルの貼り付け強度

直径20mmの円筒にラベルを表にして、180°巻き付けたとき、ラベルが台紙からはがれないタック紙を使用してください。この条件を満たさないタック紙を使用した場合は、装置の用紙走行経路に貼り付いて、用紙走行不能となることがあります。

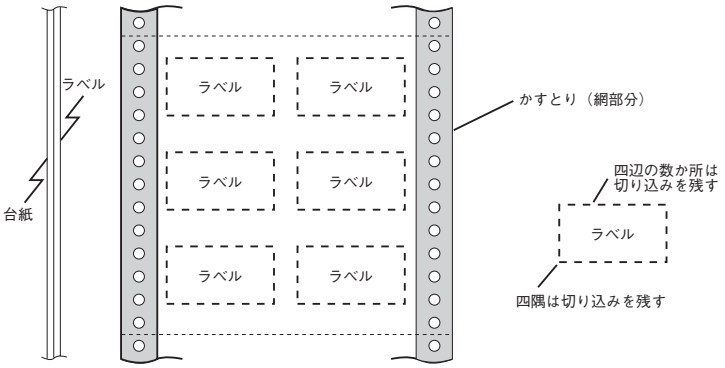


再剥離ラベルはラベルが台紙からめくれたりはがれる場合がありますので、お使いになる前に確認してください。

タック紙の形態

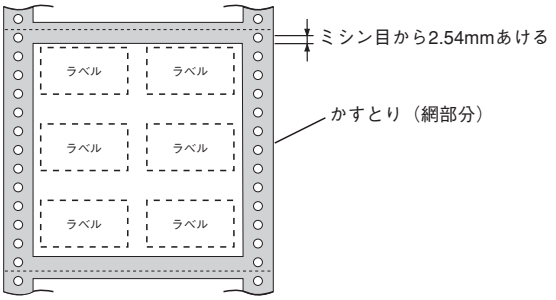
“かすとり”加工をしていないタック紙は使用できません。
“かすとり”とは、台紙全体に貼り付けられたラベルを必要な部分だけを残してはぎ取ることをいいます。

1 用紙フィードホール付近のみ“かすとり”したタック紙
ラベルの四隅は、下図のように切り込みを残してください（切り込みはラベルのみとします）。
このようなタック紙は、横ミシン目部にもラベルが貼られているため、盛り上がりおよびしわが発生しやすいので、フォーム加工の際は注意する必要があります。

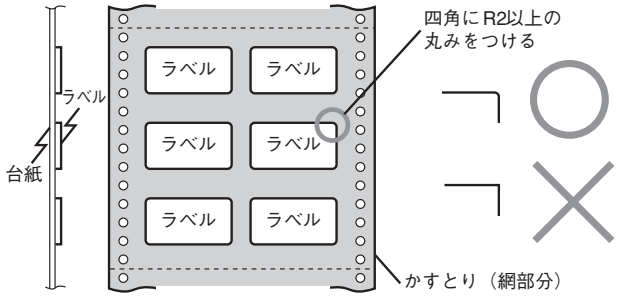


チェック

横ミシン目部の盛り上がりおよびしわの防止対策として、横ミシン目部の“かすとり”加工したタック紙をお勧めします。

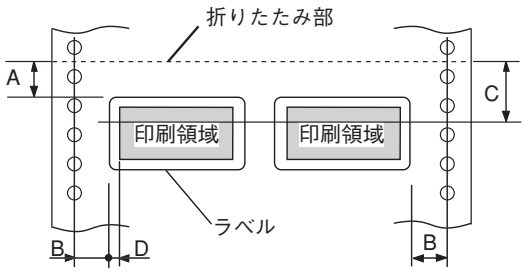


2 アイランド（島）状に貼られたタック紙
四辺の交わる四隅には丸みを付けてください。



印刷範囲

印刷はラベルの貼ってある箇所のみとし、ラベルからはみ出して印刷しないように注意してください。
ラベルからはみ出した所に印刷しますと、印刷ヘッドのヘッドピンが折れてしまうことがあります。



記号	寸法（mm）
A	2.54以上（1/10インチ）
B	6.35以上（1/4インチ）
C	23.6以上（文字中心）
D	3.18以上（1/8インチ）

縦、横罫線の印刷（プレ印刷）

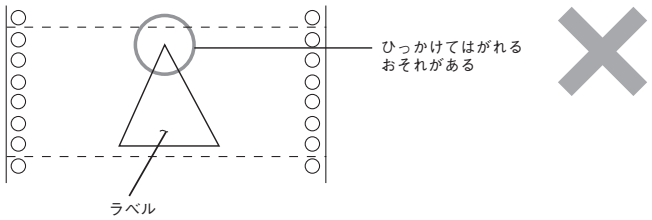
一般用紙と同じです（96ページ参照）。

タック紙の設計上の留意点

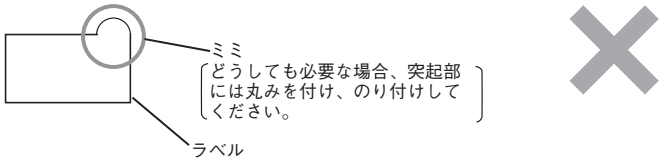
タック紙を設計するときは、以下のことに注意してください。

✔チェック

- ラベルの角には、必ず丸み（R2 以上）を付けてください。エッジになっていると、用紙取り扱い時にコーナーを引っ掛けたり、用紙走行経路中においてラベルの角がぶつかってはがれたりするおそれがあります。
- 用紙走行方向に、三角形の頂点のようなエッジのある形状のラベルは、設計しないでください。



- 縦コーナや端面にのり付けをしないなど、ラベルをはぎ取りやすくする設計はしないでください。ミミは原則として禁止します。

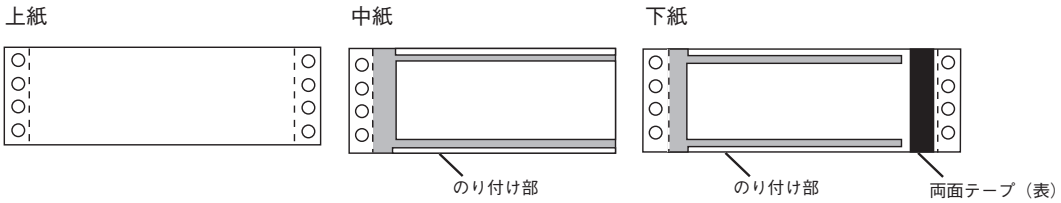


- のりがラベルの端部よりはみ出さないように加工してください。
- ミシン目での盛り上がりやしわが発生しないように加工してください。

封筒用紙の規格

紙質と連量

項目	上紙	中紙	下紙
紙質	一般紙	感圧紙	一般紙
坪量：g/m^2 （連量：kg）	34.9～39.5 （30～34）	81.4 （70）	81.4 （70）

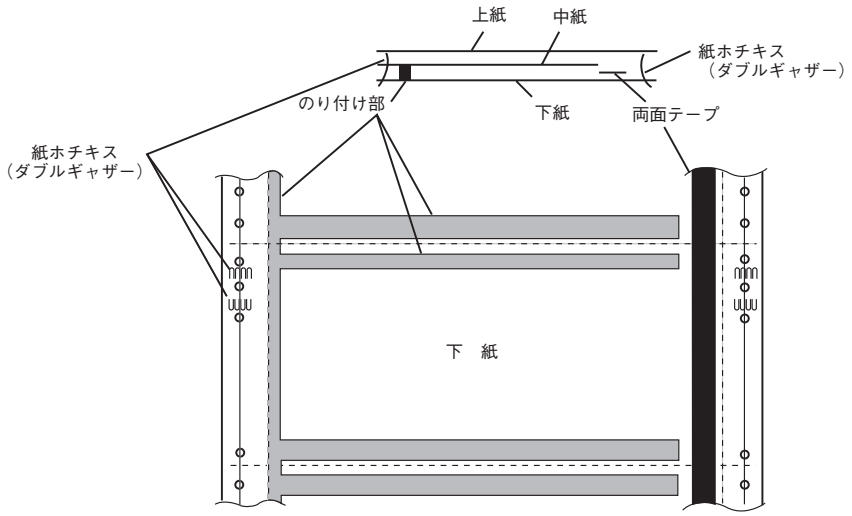


用紙の寸法

使用できる封筒用紙の寸法は、一般用紙と同じです。

用紙のとじ方

項目	上紙／下紙	中紙／下紙
とじ方の種類	両側紙ホチキス	棒のり
位置左右両端	左右両端	下図グレーの部分



縦、横罫線の印刷（プレ印刷）

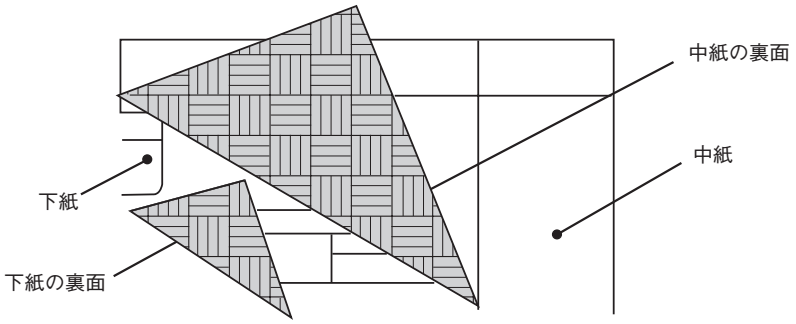
一般用紙と同じです（96ページ参照）。

設計上の留意点

封筒用紙を設計するときは、以下のことに注意してください。

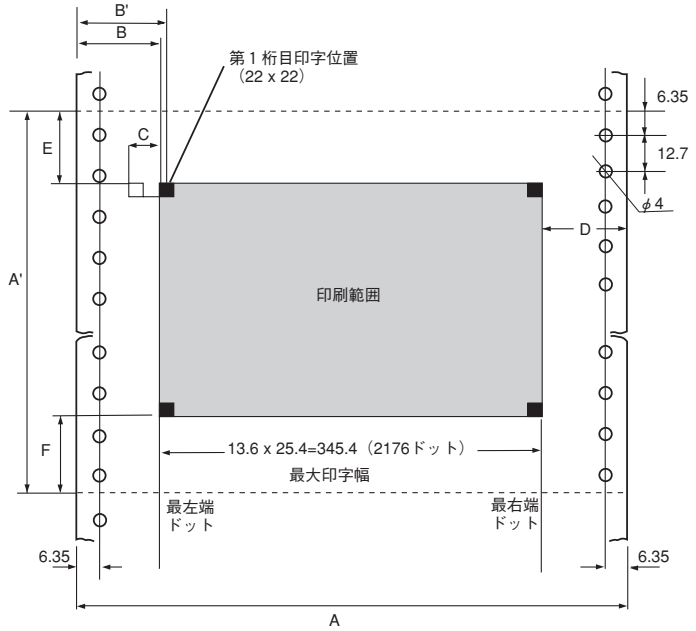
チェック

- のり付けの幅は、4.23mm（1/6インチ）以下とします。横ミシン目部には、のり付けをしないようにしてください。のりの影響で、横ミシン目部での折りたたみに盛り上がりやしわが発生し、用紙走行障害の原因となります。また、のり付けによる厚み増加は、0.1mm以下にしてください。
- フィードホールのずれは、0.2mm以下にしてください。
- 両面テープは、印刷中にはがれないような接着強度が十分なものにしてください。
- のり付け部および両面テープ貼り付け部には、印刷をしないように用紙設計をしてください。
- 給与明細書などの場合は、外部から印刷内容がわからないように、下図のような中紙、下紙の裏面加工を配慮することをお勧めします。



印刷範囲

このプリンタで使用できる用紙のサイズと印刷範囲について説明します。



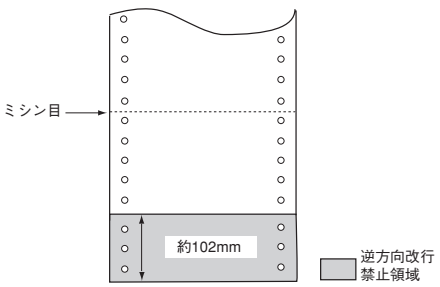
（単位：mm）

符号	項目	寸法（mm）
A	用紙幅	88.9～406.4（3.5～16インチ）
B	トラクタを最左端に寄せた場合の第1印刷位置	58
B'	トラクタを最左端に寄せた場合の第1印刷位置の中心	60
C	381mm（15インチ）幅用紙を使用した場合に第1印刷位置の動かせる距離	42
	406.4mm（16インチ）幅用紙を使用した場合に第1印刷位置の動かせる距離	42
D	トラクタを最右端に寄せた場合の最終印刷位置	68
E	ミシン目の影響による汚れを避けるためおよび良好な印刷を得るために印刷しないことが望ましい範囲	25.4
F	用紙折りたたみ不良に起因する用紙づまりを防止するため印刷してはならない範囲	8.5
A'*1	縦寸法	101.6～355.6（4～14インチ）

*1　縦寸法が 177.8mm（7 インチ）以下の用紙は、折りたたみ性を向上させるため 2 ページ分を折りたたみ長さとしてください。

チェック

- 用紙幅両端から 12.7mm の範囲は通常印刷しないでください。
- 連続伝票用紙規格は、JISC6283によります。
- 用紙最終ページの右図にグレーの部分で示す領域での逆改行はできません。
- 最終ページの用紙下端から 8mm は印刷できません。
- 最終ページの用紙下端から約30mm の間で印刷すると、多少印刷が乱れますので注意してください。



初期状態

電源をONにしたとき、ソフトウェアリセットしたとき、およびインタフェース信号$\overline{\text{INPUT - PRIME}}$を受信したときの初期状態を次に示します。$\overline{\text{INPUT - PRIME}}$では〈　〉内の項目だけは初期状態になりません。

項目	初期状態	備考
〈用紙長〉	66行（279.4mm（11インチ））*1 または設定値	パラメータ設定による
〈ボトム領域〉	なし	
〈垂直タブセット位置〉	チャンネル2：第7、13、19、25、31、43、49、55、61行目	
	チャンネル3～6：なし	
用紙行位置	現在行をTOF位置とする	
レフトマージン値	000	
ライトマージン値	136*1	
水平タブセット値	なし	
行メモリ	クリア	
行メモリアドレス	最左端相当位置	
改行幅	4.23mm（1/6インチ）	
キャラクタモード	カタカナモード（8ビットコード）*1または英数モード（7ビットコード）	メモリスイッチ2-6による
グラフィックモード	ネイティブモードまたはコピーモード	メモリスイッチ2-3による
印刷モード	HDパイカ*1	
〈セレクト／ディセレクト〉	セレクト	ただしPE信号がHIGHのときはディセレクトになる
改行方向	順方向改行	
拡大印刷	解除	
強調印刷	解除	
ラインの指定	アンダライン	
ラインの太さの指定	細線	
ライン印刷モード	解除	
外字登録	登録エリアすべてにわたり未登録状態	
ダウンロード文字登録	プリンタ内蔵文字印刷モード、登録エリアはすべて未登録状態	
半角縦印刷	解除	
半角組文字縦印刷	解除	
漢字文字幅	3.81mm（3/20インチ）	
漢字文字サイズ	3.7mm（10.5ポイント）	
スクリプト文字	解除	
1バイト系文字フォント	標準*1、イタリック、クーリエ、ゴシック、OCR-B	パラメータ設定による
固定ドットスペース	解除	
倍率設定	解除	
縮小組文字縦印刷	解除	
文字修飾	解除	

*1　工場設定

索引

英数字

HEXダンプ 50
LANインタフェース 20
LANケーブルの取り付け 37
OS 90
PC-CA205 64
PC-PRCA-01 64
PR750/850-01 65
PR750/850-02 65
PrinterSignalStation vi

ア

アウトラインフォント 55
アラームランプ 44
安全上のご注意 3
安全にかかわる表示 ii
イーサネット 89
インクリボン 41
　交換表示 81
インクリボン（黒） 65
　交換 74
［インクリボン交換］スイッチ 46
インクリボン交換ランプ 44
インクリボンづまり 85
［印刷可］スイッチ 45
印刷可ランプ 44
印刷桁数 88
印刷速度 88
印刷範囲 99, 102
印刷不良 79
印刷ヘッドピン 88
印刷方式 88
［印刷モード選択］スイッチ 46
インストール 40
インタフェース 89
インタフェースカバー 20
運搬 42
液晶ディスプレイ 47
エラー表示 81
お知らせ表示 54
オプション 63

カ

カールコレクタ 14, 18, 20
改行時間 89
改行幅 89
改行方向 89
解像度 88
［改頁］スイッチ 45
各部の名称 20
紙づまり 83
カラムアジャストノブ 21
カラムスケール 21
環境条件 89
漢字コード選択 55
漢字書体選択 55
［機能選択］スイッチ 46
キャスタ 19
キャビネット 20
強制リセット 50
警告ラベル 2
罫線の印刷 96, 99, 101
交換用インクリボン（黒） 14, 65
　交換 69
　取り付け 23
高速ランプ 44
高品位ランプ 44
故障 79
混在印刷 89
コンピュータに接続する 35
コンフィグレーション印刷 39

サ

最小改行量 89
三極引っ掛け型電源プラグ 17
質量 90
修理 11
寿命 11, 90
仕様 88
使用コード 89
消費電力 89
情報サービス 12
消耗品 65
初期状態 103
所要コンセント 90
スイッチ 45
ステータス表示 47
寸法 90
清掃 67
設置 13, 19
　スペース 15
接地方式 89
［設定］スイッチ 46
設定内容を印刷する 62
セットアーム 21
騒音 89
操作パネル 20, 43
装置銘板 20
ソフトウェア 40
ソフトウェアのご使用条件 14

タ

タック紙 28, 97
定格電流 89
定期交換部品表示 82
テスト印刷 34, 48
電源 89
電源コードを接続する 27
電源スイッチ 20
電源ランプ 44
特長 vi
トップカバー 20
トラクタ 21, 29
トラクタカバー 29
トラクタピン 29
トラクタロックレバー 29

ナ

ネットワーク 37
［濃度選択］スイッチ 46
濃度ランプ 44

ハ

廃棄 41
パラレル 89
パラレルインタフェース 20
封筒用紙 28, 100
フォント選択 55
複写式連続紙 28, 94
付属品 14
普通紙 94
プラテン開閉レバー 21
プリンタケーブル 35, 64
プリンタソフトウェアCD-ROM 14
プリンタの設定を変更する 51
プレ印刷 96, 99, 101
ペーパスタッカ部 18
ペーパスタッカ容量 89
ペーパプレスホルダ 21
補修用部品 12
保守カウンタ 54
保証 10
保証書 14

マ

マニュアルフィードノブ 22
メニューモード 51
メモリスイッチ 56
文字構造 91

ヤ

ユーザーズマニュアル （本書） 14
有寿命部品 12, 90
用紙
　サイズ 93
　種類 93
　セット 28
　とじ穴 96
　とじ方 95, 100
用紙厚セットレバー 21
用紙厚調整 89
用紙送り方式 89
用紙規格 93
用紙長 54
［用紙微調］スイッチ 45
用紙ランプ 44

ラ

ラインカウンタ 22
ラインマーク 29
ラベルシール 28, 97
ランプ 44
リアフェンス 14, 18, 20
リセット 61
リボンカセット 22
リボンセパレータ 77
リボンフィードノブ 22
リモートパネル vi
冷却方式 89
レベルフット 19
連続紙 28, 94

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

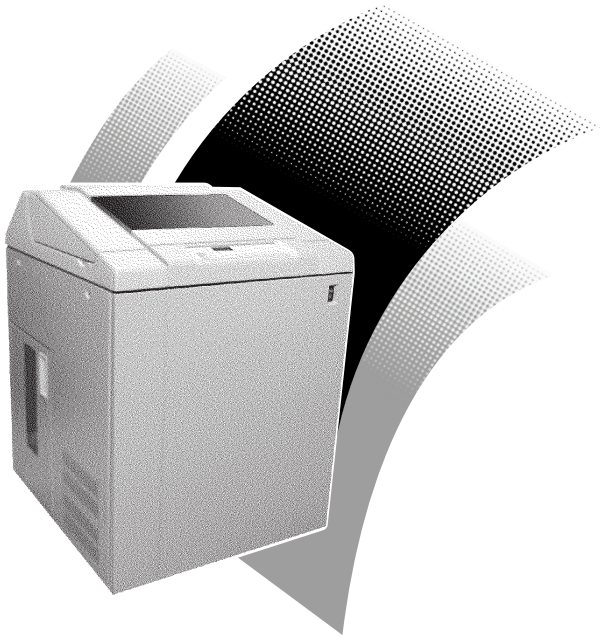
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示）

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

電気通信事業法について

LANインターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。



このマニュアルは、再生紙、大豆油インキを使用しています。
リサイクルに配慮して製本されていますので、廃棄の際は回収・リサイクルに出しましょう。

NEC